令和６年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

第１　基本方針	１
第２　主要事業	４
第３　実施事業	１８
基本目標１　　地域福祉を支える仕組みづくり	１９
実施目標１　住民主体による地域力の強化を推進します	１９
実施目標２　多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します	２１
実施目標３　地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します	２８
基本目標２　地域福祉を支える組織・人づくり	３０
実施目標１　社会福祉事業者等を支援します	３０
実施目標２　福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します	３２
基本目標３　災害福祉支援体制づくり	４３
実施目標１　災害に備えた支援体制を構築します	４３
実施目標２　災害時の市町社協を支援します	４６
基本目標４　地域福祉を支える県社協の基盤づくり	４７
実施目標１　組織・経営強化を図ります	４７
実施目標２　「人財」育成を図ります	５２
事業報告の附属明細書	５４

本計画書は別途作成した「第五次活動推進計画」の理念・体系に基づいて作成しています。

基　本　方　針

第１　基 本 方 針

１　第五次活動推進計画　基本理念

｜本県における地域福祉を取り巻く現状と課題

最も大きな課題は人口減少への対応	現在 364 万人 →2025 年　推計 348 万人（約 16 万人減少）
超高齢社会への対応	一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加 ⇒日常生活を支える仕組みづくり
価値観の多様化や地域のつながりの希薄化	社会的孤立、地域の福祉力が脆弱化 ⇒福祉教育、地域づくり（多分野連携）
課題の複合化・複雑化、制度の狭間	各分野の関係機関の連携が必要（包括的な支援体制の整備、協働の中核機能）
福祉・介護人材の安定的な確保 （2025 年の介護職員 8 千人不足）	イメージアップ、高齢者・外国人の介護人材確保等
誰一人取り残さない社会の形成と高齢者、女性、外国人など、これまで以上に多様な人材の活躍が不可欠	

めざす社会の姿「地域共生社会の実現」

制度・分野の『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、世代や分野を超えて『丸ごと』つながり、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会の実現

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

※基本理念とは、組織の姿勢や進むべき方向性を明確化するものである。（組織の存続原点、使命）

｜地域福祉の推進を目的とする県社協の役割（機能）

１　広域機能

社会全体として取り組んでいくべき重要な課題や、市町段階では容易に取り組めないような困難性の高い課題への対応

２　専門機能

地域における利害調整等を行う「第三者機関」の役割や、単独の事業体では完結できないような専門的な課題への対応（経営支援、人材確保・育成）

３　政策提言・連絡調整機能

地域間格差を解消していくような情報提供と調整、情報共有の場づくり、政策提言

４　情報提供機能

全国各地の情報や新たな課題への対応事例、そのノウハウなどを収集し、提供

計画推進機関：令和２年（2020 年）４月～令和７年（2025 年）３月の５年間

２　第五次活動推進計画　推進体系

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

基本目標１ **地域福祉を支える仕組みづくり** 地域共生に資する住民主体の地域力強化及び包括的な支援体制の構築を、広域的な見地から推進します	**実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します** 地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みる体制づくりを推進します **実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します** 総合相談体制を構築するとともに、問題を解消するための伴走型支援の拡充や官民協働による支援活動を推進します **実施目標3 地域共生の基盤となる市町社協を支援します** 地域の最前線で地域福祉の推進をリードする、市町社協の経営基盤の強化及び総合力を活かした活動の活性化を支援します
基本目標２ **地域福祉を支える組織・人づくり** 地域共生に資する福祉サービスの質の向上及び福祉・介護人材の確保・育成支援を推進します	**実施目標1 社会福祉事業者等を支援します** 社会福祉事業者等の経営基盤の強化とともに、複数の社会福祉法人等が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図ります **実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します** 福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成の支援に努めます
基本目標３ **災害福祉支援体制づくり** 地域共生に資する総合的な福祉救援活動の体制整備を平時から推進します	**実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します** 県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制を構築します **実施目標2 災害時の市町社協を支援します** 市町社協が災害支援活動に専念できるよう、社協ネットワークを活かした重層的な支援体制を構築します
基本目標４ **地域福祉を支える県社協の基盤づくり** 地域共生に資する県域の地域福祉推進の中核として、基盤づくりを推進します	**実施目標1 組織・経営強化を図ります** 多様な主体の参画による組織体制、ガバナンス、安定的な経営基盤の強化とともに、様々な媒体を活用した情報収集と広報力の強化を図ります **実施目標2 「人財」育成を図ります** 職員を「人財」として大切にし、目指す職員像・行動目標を作成し、職員のキャリアアップを支援する計画的な人材育成を図ります

大切にする視点

・「ＳＤＧｓ（持続可能な１７の開発目標）」（貧困、保健、教育、ジェンダーなど）
・５つの特徴：普遍性、包摂性（誰一人取り残されない）、参画型（全てに役割を）、統合性、透明性

３　ＳＤＧｓ（持続可能な開発指標）と第五次活動推進計画の関係

1　持続可能な社会の実現を目指し、2015 年 9 月の国連サミットで全会一致で採択された「SDGs」では、2030 年に向けて、すべての国々に普遍的に適用される 17 の目標に基づき、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への統合的な取組が求められています。

2　第五次活動推進計画に掲げる基本目標に基づく取組の推進が、SDGs の目標につながります。

普遍性	先進国を含め、全ての国が行動
包摂性	人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」
参画型	全てのステークホルダーが役割を
統合性	社会・経済・環境に統合的に取り組む
透明性	定期的にフォローアップ

｜ＳＤＧｓの目標（一部）

①貧困（あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ）
②保健（あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する）
③教育（すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する）
④ジェンダー（ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る）
⑤成長・雇用（生産的な完全雇用及び働きがいのある人間らしい仕事を推進する）
⑥平和（持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進）
⑦実施手段（持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する）

第五次活動推進計画基本目標	①貧困	②保健	③教育	④ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	⑤成長･雇用	⑥平和	⑦実施手段
①地域福祉を支える仕組みづくり	○	○	○	○	○	○	○
②地域福祉を支える組織・人づくり		○	○	○	○	○	○
③災害福祉支援体制づくり		○		○		○	○
④地域福祉を支える県社協の基盤づくり		○		○	○		○

主　要　事　業

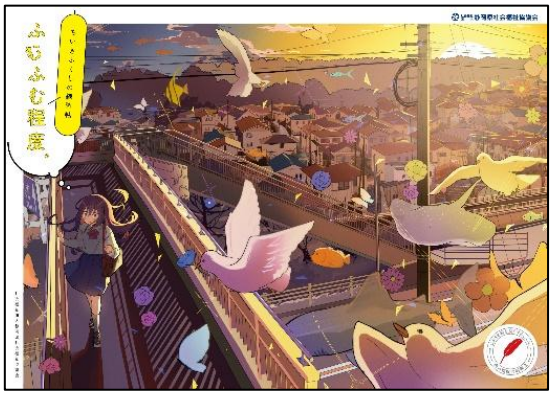
第２　主 要 事 業

基 本 目 標 １　地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標１　住民主体による地域力の強化を推進します

重点事項　福祉以外の分野との協働促進及び地域福祉教育の推進

「地域共生社会」の実現を目指し、全ての世代の人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合う地域共生社会の実現と教育、農林水産、多文化共生など福祉以外の分野との協働促進を図るとともに、“社会的包摂”に向けた地域を基盤とした福祉教育を推進した。

	事　業　内　容
1	ふじのくに地域共生大賞の実施 (1) 県社協地域づくり推進委員会の開催 第１回 5/9　ふじのくに地域づくり共生大賞、ふじのくに地域共生塾について 応募数：28 団体 第２回 1/7　ふじのくに地域づくり共生大賞プレゼンテーション 決定件数：最優秀賞１団体、優秀賞３団体 (2) ふじのくに地域共生塾（第２期）の開催 10/7、11/6、1/14、3/18　13 人
2	(1) 生活支援体制整備の構築 ア 生活支援コーディネーター養成研修の開催（県委託）8/2　72 人 イ 生活支援コーディネータースキルアップ研修の開催（県委託） 中部 10/29、西部 11/21、東部 12/20　計 94 人 (2) 生活支援体制整備事業に関する意見交換会（県委託事業）【新規】9/19　51 人
3	単発的な疑似体験学習で終わらない地域福祉教育の実施 (1) 福祉教育副読本「みんなちがってもおなじ『いのち』の活用促進 (2) 地域福祉教育副読本「ちいきふくしの練習帖『ふむふむ程度。』」の増刷及び動画版の作成、活用促進【赤い羽根助成金事業】 (3) 地域福祉教育推進セミナー 8/22　52 人 (4) 市町社協地域福祉教育担当者会議の開催 11/12　20 人 (5) 静岡県地域福祉教育推進委員会の開催 4 回(10/3、12/25、1/22、3/17) ふじのくに地域共生塾 （第二期募集チラシ抜粋）  地域福祉教育副読本 「ちいきふくしの練習帖『ふむふむ程度。』」 （赤い羽根共同募金助成事業）

【進捗状況及び成果】

地域に根差して活動する団体・グループの情報を収集し、積極的に情報発信することにより、参加機会と多様な主体・分野の連携の促進を目的としてふじのくに地域共生大賞の募集を行い、28 団体からの応募を受け付けた。また、新たに地域の人材育成、実践者同士の交流を目的とした「ふじのくに地域共生塾」を実施し、13 名が受講した。

赤い羽根共同募金助成金を活用して、中学２年生を対象とした新たな地域福祉教育副読本「ちいきふくしの練習帖『ふむふむ程度。』」の動画版を作成し、タブレットによる教育が普及している学校現場での更なる活用促進につなげた。

実施目標２　多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

重点事項　市町における包括的な支援体制の構築の推進

住民が抱える生活課題の内容は様々で複雑化・複合化しているため、高齢、障がい、児童、生活困窮者などの属性に関わらず、住民が抱える生活課題の解決と繋がり続ける支援活動に向け、支援機関がチームとなり包括的な支援体制を構築する取組を支援した。

	事　業　内　容
1	多機関協働による包括的支援体制の構築支援　※県委託 (1) 市町へのアドバイザー派遣 ７市町(伊豆市・伊豆の国市・島田市・牧之原市・湖西市・東伊豆町・森町、各２回程度) (2) 包括的相談支援体制構築推進部会の開催 5/13 (3) 包括的相談支援構築市町会議の開催 7/9 (4) 中核機関担当職員人材養成講座（前期 Youtube 配信、後期集合３日間）
2	市町社協における総合相談体制づくりの推進 (1) 相談事業部会の開催（１回） (2) 相談事業担当者研修会の開催（２回 4/14 基礎研修・8/3 中堅職員研修） (3) 市町社協重層的支援体制整備事業に係る情報交換会 1/21

【進捗状況及び成果】

包括的相談支援体制を構築するための重層的支援体制整備事業は、13 市町が令和７年度から実施予定。また、その前段となる移行準備事業については６市町が実施予定となっており、包括的支援体制構築の取組が進みつつある。

実施目標３　地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

重点事項　市町社協の基盤強化と活動支援

地域共生社会づくりにむけて、「社協・生活支援活動強化方針」に基づく事業展開を進めるために、市町社協連絡協議会の部会運営や市町社協経営基盤強化検討員会、階層別研修会の開催により市町社協の組織・事業基盤の強化を図った。

	事　業　内　容
1	市町社協連絡協議会及び部会の開催 (1) 幹事会の開催 6/17 (2) 介護保険部会：幹事会 8/6、全体会 12/9、広報啓発部会：幹事会 9/17、全体会 12/19

2	市町社協個別ヒアリングの実施 　市町社協支援事業及び県社協第六次活動推進計画の策定につなげるため、県内 35 市町社協の個別ヒアリングを実施 5/16～6/27
3	市町社協役職員研修・会議の開催 (1) 市町社協監事研修会 動画配信 4/10～7/31 　監査体制や監事の役割を確認し、監査による組織基盤の強化を支援 (2) 市町社協新任職員研修会 6/3、7/29　59 名 (3) 市町社協事務局長会議 5/30　26 名 　社会福祉を取り巻く環境変化に迅速かつ適切に対応するため、社協の重点事業の推進方策について確認 (4) 市町社協中間管理職(ミドルマネジメント)研修会 8/1 (5) 市町社協会計実務研修会 動画配信 8/1～11/30 　基礎的な会計実務など全般的な知識と会計処理事務の習得 (6) 市町社協会長セミナー 1/27　57 人 　現状や課題の共有と地域情勢を踏まえた今後の社協活動の方向性の確認 (7) 市町社協経営基盤強化検討委員会 8/19、11/18、2/27 　市町社協の経営改善に向けた支援手引きの作成 (8) 市町社協決算実務研修会 動画配信 2/26～6/30 　決算実務を習得することによる経理事務の適正化
4	コミュニティソーシャルワーク（地域福祉コーディネーター）実践者養成研修会及びコミュニティソーシャルワークスキルアップ研修の開催 　実践者養成　　Step1（7/5、6）・Step2（2/7/、8）23 人 　スキルアップ　東部 7/21、西部 7/23、中部 7/24　計 52 人
5	コミュニティワーク研修会の開催 (1) 住民主体の地域づくりセミナー～社会福祉協議会基本要項 2025～ 10/11 31 人 (2) 地域アセスメント研修会 12/17 34 人 (3) ロジカルシンキング研修 2/21 16 人
6	社会福祉法人等と協働した地域公益活動の推進 (1) 社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施 　清水町における取組の支援　清水町社会福祉法人連絡会（２年目） 　福祉のお仕事発信プロジェクト、福祉なんでも相談、共生の場づくり (2) ネットワーク構築済み市町社協への支援と情報提供 　施設経営法人・社会福祉協議会合同研修会 　　～法人間連携による福祉の課題解決の事例から～ 9/30 61 人

【進捗状況及び成果】

市町社協新任職員研修会は、社協の法的位置づけや使命など、社協の基本的な説明や実施する各種事業を理解し、接遇やファシリテーションに関するグループワークを行うことで、必要なスキルを身につけた。

令和６年度市町社協新任職員研修会

基 本 目 標 ２　地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標１　社会福祉事業者等を支援します

重点事項　自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人等が常に利用者の立場に立って、良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令順守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

	事　業　内　容
1	民間社会福祉施設運営基金助成事業の実施 社会福祉事業振興のための助成金 ・第三者評価事業受審助成、職場内 OJT 助成事業、法人間連携推進事業等　９区分 実績　87 件 14,291,000 円
2	福祉施設経営指導事業の実施 社会福祉法人等が行う運営の取組に対する専門相談員（公認会計士、社会保険労務士、社会福祉士、弁護士）による助言、指導及び支援。 実績 236 件（会計 176 件、法律 3 件、施設サービス 4 件、労務 53 件）
3	経営に関する研修会・セミナー等の開催 社会福祉法人・施設の経営基盤の強化と利用者へのより質の高いサービスの提供 会計・経理、人事労務等 12 研修を設定 (1) 社会福祉法人監事監査研修会　4 月 254 施設 (2) 社会福祉法人簿記入門講座　6 月　71 施設 (3) 社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座　7 月　78 施設 (4) 社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座　8 月 114 施設 (5) 社会福祉施設人事・労務管理研修会　9 月 119 施設 (6) 社会福祉法人予算管理基礎講座　9 月 102 施設 (7) 社会福祉法人・施設事務職員会計実務専門講座 10 月 98 施設 (8) 社会福祉施設運営管理研修会　12/23 89 人 (9) 社会福祉法人・施設職員税務実務講座　11 月 55 施設 (10)社会福祉法人財務管理講座　12 月 93 施設

	(11)社会福祉法人決算実務講座	2 月 152 施設
	(12)新設社会福祉法人等運営管理説明会	6 年度対象法人なし

【進捗状況及び成果】

民間社会福祉施設運営基金助成事業では 77 事業所から 87 件の申請を受理し、助成金を交付した。令和５年度から新規申請区分として「人材確保・定着促進事業」を加え、県内法人・事業所における採用ツールの開発支援や、職員のモチベーション向上・定着につながる人事管理制度の整備の取組に対する助成を実施した。

予算管理講座【動画配信】

実施目標２　福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

重点事項　福祉サービスの担い手の確保の推進

福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成を支援した。

	事　業　内　容
1	社会福祉人材センターの運営及び利用促進 (1) 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） 就職者数 497 人　目標就職者数 全県 1,000 人） ア　福祉・介護求人者や求職者からの相談、就労・就職あっせん等 イ　無期雇用者の離職状況の確認 (2)　福祉人材マッチング機能強化事業の推進 ア　キャリア支援専門員の設置　5 人 施設訪問実績:207 か所　マッチング就職者数:268 件、マッチング支援者数:804 件 イ　専門アドバイザーの設置（公認会計士、社会保険労務士に委嘱） ウ　社会福祉人材センター情報発信事業の実施 伊豆の国市 6/22　20 人、御殿場市 7/6　180 人、小山町　7/20 100 人、 御殿場市　9/26　25 人、富士宮市 10/29　51 人、清水町 11/16 561 人、 御殿場市　3/1　255 人、裾野市　3/8　198 人 エ　ミニ就職相談会の開催　対面式 14 回 オ　求職者向けの施設見学（オンライン）の実施 12 回 カ　県主催移住フェアや小規模就活イベントへの参加 ソーシャルワーカーデー　7/15 177 人 静岡県知的障害者福祉協会 1/11　10 人 静岡まるごと移住フェア　2/2　248 人 (3)　福祉の就職相談会及び説明会等の開催

	【他業種からの転職者や学生等、幅広いターゲット向け】 ア　就職相談会(対面式８回) 対面・大規模　・夏期 3 地区(246 人　内新規登録者 102 人) 東部 7/27　62 人、中部 7/6 125 人、西部 7/20 59 人 ・冬期 3 地区(223 人　内新規登録者 84 人) 東部 3/15 101 人、中部 3/9　97 人、西部 3/2　25 人 養成校連携　志太榛原地区 63 人 介護の日関連　東部地区　33 人(内新規登録者 3 人) イ　求人ＰＲサイトの運営(通年) ウ　合同企業説明会　３回 【福祉系大学向け】 大学等での出前説明会 13 回
2	事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施 (1) 事業所の採用担当者等との会議の開催 ・静岡福祉大学と福祉施設等の意見交換会　8/7 ・静岡県立大学短期大学部と福祉施設等の意見交換会 8/23 ・静岡英和学院大学と福祉施設等の意見交換会　12/20 (2) 課題解決に向けた実践 ア　調査研究の実施　養成校進路調査を実施 イ　福祉人材確保・定着事例集の作成 ウ　静岡県社会福祉人材センターのランディングページの作成 「静岡県社協が人材センターを担う意義・価値」をブランディングしつつ構築 (3) 福祉人材確保実践セミナーの開催 人材確保 6/6 、人材定着 7/23 、研修活用 10/11 の３研修を開催
3	他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援 ・静岡県国際介護人材サポートセンター事業**【拡大】** ア　静岡県国際介護人材サポートセンター開所 7/24 イ　事業所個別訪問・専門アドバイザーの派遣　受入 21、定着 21 ウ　受入準備セミナーの開催　対面 3 回、オンライン 1 回 エ　研修交流会の開催 9 月 7 回、2 月 8 回 オ　支援・教育担当者会議の開催 9 月 3 回、2 月 3 回 カ　センター運営定例会議（毎月）
4	保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進 (1) 保育士・保育所支援センターの運営（就職支援コーディネーターの配置　3 人） 保育所就職者数 126 人　目標就職者数　100 人 (2) 保育士就職説明会の開催 対面式４回、ＷＥＢ１回　（対面式の会場：保育士養成施設等） (3) 潜在保育士現場復帰研修の開催 対面式就職説明会と同時開催（2 回）（１回目 静岡市 7/6 、２回目 沼津市 1/18） (4) 出張相談会の開催（16 回）　静岡県委託分 8 回、静岡市委託分 8 回 (5) 保育所等見学・現場体験の実施　（静岡市委託分の対象は高校生以上に拡大） 静岡県委託分　体験 48 人（延べ 53 人日） 静岡市委託分　体験 61 人（延べ 96 人日）うち高校生 31 人（延べ 66 人日） 見学　1 人（延べ 2 人日）

	(6) 離職保育士届出制度の促進 保育人材確保につなげるため、潜在保育士や離職予定の保育士に対して、「保育士・保育所支援センター」への届出勧奨を実施 周知用カバー付き付箋作成・配布　500 部　（令和 7 年 3 月末登録者　294 人） (7) 放課後児童支援員の人材確保支援 保育資格を有する放課後児童支援員の人材確保について、求職者と求人者からの相談対応や勤務条件等のマッチングを実施　求職相談件数 26 件　就職者数 7 人 (8) 保育士養成施設連絡会の開催 保育士を取り巻く状況の共有、早期離職の解消に向けた仕組みの検討や保育士の職場定着を目的とした情報共有を実施 3/17
5	福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透 (1) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施 ア 県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事への興味・関心、理解を深める出前講座を実施 186 回開催　小学校：94 回　中学校：63 回　高校：29 回 イ セミナーの資質向上のための講師による意見交換会を開催 2/25 (2) 保護者向け啓発資料の作成・配布 10,000 部
6	福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施 ・福祉のしごと学び体験ツアー(バスツアー型) 福祉施設の見学や職員による講話（福祉業界を志した契機や現在の思い等)、利用者との交流を通じて福祉の仕事の魅力、やりがい等を発信(中高生とその保護者、教員を対象) 沼津会場：8/ 2(金)14 人（福)あしたか太陽の丘、(福)駿河厚生会 静岡会場：7/31(水)21 人（医)博恵会、(福)まごころ 浜松会場：8/ 7(水)15 人（福)ほなみ会、(福)七恵会
7	障害福祉サービス事業所等における人材確保対策や事務体制等のきめ細かなサポート ・静岡県障害福祉人材サポートセンターの設置（10/10)【新規】 (1) 処遇改善加算取得推進事業及び事業所サポート事業 ア　専門アドバイザーによる無料相談会の実施（年 10 回） 処遇改善加算に関すること（全 6 日間） 報酬改定を含めた制度改正に関すること（全 4 日間） イ　研修会（年 2 回）の実施 報酬改定を含めた制度改正に関する研修会 12/4 68 人 処遇改善セミナー 2/5 64 人 ウ　就職ガイダンス、相談会、大学等への障害福祉ナビゲーター派遣 大学等への出前講座(全 4 回　8 人派遣) 就職相談会等の各種イベント(全 10 回　20 人派遣) エ　新人職員職場定着促進のための研修会の実施（年 3 回） 中部会場 12/13 12 人、西部会場 12/16 14 人、東部会場 12/19 10 人

【進捗状況及び成果】

全国的に福祉人材の確保に苦戦が続く中、就職人数は前年度比 44 人増となる 497 人の実績をあげた。浜松市福祉人材バンクと合わせた県全体の就職人数は 589 人となり、全国 1 位を維持した。

従来からの事業に留まらず、外国人介護人材や障害福祉分野に重点を置いたサポートセンターを新たに設置し、福祉現場が直面している課題に対し、専門家派遣による助言や制度改正に対応する研修会など現場のニーズに対応した事業を実施した。

静岡県国際介護人材サポートセンター
開所式(7/24)

保育のお仕事フェア(7/6)
(常葉大学草薙キャンパス)

静岡県障害福祉人材サポートセンター
開所式(10/10)

静岡県障害福祉ナビゲーター活動風景
新春就活イベント(1/6)

基 本 目 標 3　災害福祉支援体制づくり

実施目標１　災害に備えた支援体制を構築します

重点事項　静岡県災害ボランティア本部・情報センター及び静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化

県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制を構築した。

	事　業　内　容
1	静岡県災害ボランティア本部・情報センターの機能強化 (1) 活動資機材・機器のストックヤード設置と保守点検 ・社会福祉法人慶成会　特養グリーンヒルズ東山(浜松市中央区)敷地内に設置 (県内８か所目、覚書締結式：7/8)【赤い羽根助成金事業】 (2) 県本部・情報センターの体制整備 ア　県、県ボランティア協会との運営に関する検討会の実施（通年） イ　災害支援活動を行う県域団体との情報交換会の開催 2/18 ウ　県災害ボランティア本部・情報センターの機能を考える会議の開催 12/26

	(3) ＩＴ支援協定に基づく平時の取組の実施 市町社協災害ボランティアセンター開設訓練等でのキントーン導入支援 (4) 災害ＶＣ運営効率化のためのアプリ開発、ＷＥＢサイトの充実及び情報発信の強化 ニーズ受付アプリの作成（東遠地区）
2	静岡県災害派遣福祉チーム（静岡ＤＷＡＴ）の体制強化 (1) 静岡県災害福祉広域支援ネットワークの運営 ア　ネットワーク構成団体による会議の開催 3/17 20 人 イ　静岡 DWAT 登録員養成研修の開催 8/27、9/13 53 名修了 ウ　スキルアップ研修の開催 12/17 68 人 エ　支部別勉強会の開催 東部 1/9 23 人、中部 1/10 17 人、西部 1/20 21 人 オ　能登半島地震における静岡ＤＷＡＴ派遣者振り返りの会　6/17　19 人、6/24　18 人 カ　医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会等の開催 ・連絡会の開催 10/11 14 人 ・県総合防災訓練における福祉避難所開設・移送支援訓練 9/1 台風接近に伴い延期 ⇒ 11/2 ８人 キ　県内３地域における支援活動(外部団体訓練参加等)の推進 ・西部支部(西部圏域)　浜松防災フェアへの出展　6/16 ・東部支部(富士圏域)　段ボールベッド組み立て訓練の実施　7/29 ・中部支部(静岡圏域)　机上訓練(派遣要請対応 他)　8/22 ・西部支部(中東遠圏域)　福祉避難所開設訓練、呼吸器電源確保 等　10/29 ・東部支部(富士圏域)　ふじ bousai への出展　11/16 ・中部支部(静岡圏域)　福祉避難スペース設営、アセスメント訓練　12/14 ク　広域相互支援ネットワークの構築(全国会議への参加)　11/13 ケ　平常時の支援活動展開(出前講座の開催等 46 回

【進捗状況及び成果】

災害ボランティア活動資機材整備事業は県内８ヶ所目のストックヤードを浜松市中央区に設置し、災害発生時の活動資機材供給体制の強化につながった。県本部と協定締結している団体との意見交換会の開催や訓練に相互が参加し、災害時に協定が活かされるよう顔の見える関係づくりの強化を図った。

今年度開催した第９静岡 DWAT 登録員養成研修を含め登録員数は 351 名となった。能登半島地震の影響もあり、DWAT 出前講座を 46 回実施した。(R5 年度 30 回)

また、支部活動勉強会やスキルアップ研修等の機会で登録員の士気を高める働きかけを行い、体制強化を図った。

災害ボランティア活動用資機材
覚書締結式（7/8）

DWAT 出前講座
福祉施設内防災訓練（7/29）

実施目標２　災害時の市町社協を支援します

重点事項　市町社協と被災者支援

市町社協が災害支援活動に専念できるよう支援活動を展開し、大規模災害発生時に支援が必要な被災者に対する支援体制の整備を図った。

	事　業　内　容
1	(1)　災害時相互支援協定に基づく職員派遣の円滑化 ア　６月 18 日の大雨による沼津市災害ボランティアセンターへの職員派遣 派遣人員 県社協 4 人(5 人日)、市町社協(4 社協)8 人(11 人日)【赤い羽根助成金事業】 イ　令和６年能登半島地震における石川県内市町災害ボランティアセンターへの職員派遣 派 遣 地 域 ：七尾市、能登町、珠洲市 派遣実人員：県社協 11 人、65 人日、市町社協 23 社協 67 人、467 人日 (2) 県災害ボランティア本部・情報センターの体制整備（再掲） (3) 県下社会福祉協議会被災者中心の支援力強化研修【新規】 第１回 7/10　72 人、第２回 1/14　31 人 【赤い羽根助成金事業】
2	円滑な生活福祉資金（特例貸付）の実施 生活福祉資金特例貸付の実施を想定した体制整備の構築 被災者への生活支援
3	災害時における日常生活自立支援事業の利用者支援 利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備の構築 災害時運営マニュアルの検証
4	災害時における介護保険事業の利用者支援 サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備 災害時対応マニュアルの策定支援

【進捗状況及び成果】

災害発生直後、速やかに情報共有会議を行い、本会職員の被災地社協への派遣と市町社協の応援派遣を行う体制を整え、迅速に県内外の被災地社協支援を行った。

基 本 目 標 4　地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標１　組織・経営強化を図ります

重点事項　安定的な法人運営の実施

会員向けセミナーを開催するとともに、県社協ホームページや広報誌等により会員募集の広報を行い、加入促進を図った。

決算分析をもとに職員が経営課題を共有するとともに、債券及び大口定期預金の効果的な運用による収益の確保に努め、経営基盤の安定化を図るともに、職員による電子取引データ保存システム構築、AI ツールの活用などによる経費削減・業務効率化の推進を図った。

静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)の管理・運営については、静岡県から、静岡ビル保善株式会社との共同事業体として、令和６年度から５年間の指定管理を受け、入居団体や利用者の安心と満足を提供できる管理と運営に努めた。

	事　業　内　容
1	会員サービスの充実 (1) 会員向け研修の開催 ・「新時代の働き方改革応援セミナー」(10/23)開催　当日参加者 39 人及び後日配信 社会保険労務士による働き方改革や育児・介護休業法改正への対応についての講義 (2) 会員サービスの充実に向けた取組の検討、実施 会費収納金融機関の拡大による会費納付利便性の向上
2	未加入事業所、賛助会員の加入促進 ・県社協 HP トップページに会員募集のバナーを設置しての募集、広報誌への掲載 ・企画戦略会議（組織経営強化委員会）における検討
3	連絡協議会、部会、委員会活動の充実 総務部会幹事会(10/16 5 人、総務部会全体会(11/20 43 人)を開催 ・総務部門が抱える課題と対応状況をグループワーク形式で協議・検討 ・外部講師による「電子帳簿保存法への対応」に係る講義を実施し、各市町社協へ情報提供し、対応の徹底を依頼
4	事務組織体制、ガバナンスの強化 (1) 企画戦略会議 地域福祉を取り巻く情勢変化に的確に対応するため、プロパー職員が県社協の経営課題及び改善策を検討し企画・提案を行う場として、２か月に１回開催 決算分析をもとに職員間で経営課題を共有したほか、業務内容見直し、業務効率化策を検討。加えて、今後の組織体制について職員アンケートを実施。 (2) 電子帳簿保存法への対応 職員が電子取引書類保存システムを構築。同システムを活用し対応。
5	経営基盤の強化 (1) 新たな自主財源の検討・獲得 債券及び大口定期預金の効果的な運用による収益の確保 (2) 各種基金の運用方法の継続的な見直し (3) 事業の検証及び決算分析の実施 決算を基に財務分析指標を用いた分析を実施。財務状況の可視化の推進 (4) 支出削減・事業効率化の取組 事務改善活動(エコジョブ運動)を通年実施し、支出削減や事業効率化の意識付けを徹底 〈改善取組例〉 ・養成校と連携し「就職フェア」を養成校で実施した結果、学生参加者が増加 ・ＡＩ議事録作成サービスを導入による議事録作成作業の効率化 ・県社協・市町社協間で生活福祉資金の借受人情報や支援記録を共有できるよう、クラウドシステムを構築。リアルタイムの情報共有及び県社協・市町社協双方の業務効率化 (5) 業務システムの構築及び運用改善の取組 ・会計、謝金、給与等各業務システム提供事業者との協議を通じた運用改善 ・７年４月稼働を目標とした旅費システムの構築
6	理事会・評議員会等の運営 理事・評議員の選任・欠員補充、補正予算等に対応するため、定例開催のほか書面により開催し、迅速な意思決定を実施 (1) 理事会　年４回：6/7、10/22、12/9(書面)、3/11

	(2) 評議員会　年４回：6/24、11/7、12/23(書面)、3/26 (3) 監事監査　年１回：5/22 (4) 評議員選定委員会　年１回：6/14
7	任意監査の実施 公認会計士による年３回の外部監査を実施 ・決算書類等 5/15､16　出納業務等 12/16､17　予算執行等 2/12､13
8	政策提言の実施 (1) 県知事との面談 9/2 出席者　知事、康福祉部長他　　会長及び副会長 内　容　地域福祉に関する提案［地域共生社会実現、福祉人材確保、災害対策支援強化］ (2) 県健康福祉部長と福祉団体との懇談 8/20 出席者　県健康福祉部長、部理事、各局長　会長、各県域福祉団体(33 団体) 内　容　県内各社会福祉団体から取組や課題を説明
9	総合社会福祉会館防災訓練、県社協災害対策本部立ち上げ訓練 ・県社協災害対策本部の立ち上げ、会館入居団体職員も含む実働避難を伴う訓練を実施 第 1 回 8/29 参加者 149 人、第 2 回 2/17 参加者 147 人
10	県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理運営 (1) 会館指定管理者(令和６年度から５年間)［静岡ビル保善株式会社との共同事業体］として会館管理運営を適切に執行 (2) フェスタシズウエル 2024 開催 8/24､来館者 708 人
11	広報力の強化 (1) 福祉情報を届けるべき客体を意識し、広報戦略ビジョン・ガイドラインを策定 (2) 実用性の高い情報発信の研修実施

【進捗状況及び成果】

会員サービスの取組については、働き方改革や育児・介護休業法改正への対応をテーマとした会員向けセミナーを実施したほか、会費収納金融機関の拡大による会費納付利便性の向上を図った。

決算分析をもとに経営課題を共有し、債券等の効果的な運用による収益確保に努めたほか、福祉フォロークラウドの導入、ＡＩツールの活用などによる業務効率化の推進を図った。旅費システムについても、７年４月稼働に向け、構築作業を行った。

静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)の管理・運営については、指定管理者として、入居団体や利用者の安心と満足を提供できる管理と運営に努めた。８月 24 日に開催した「フェスタシズウエル 2024」には親子連れを中心に 708 人の来館があり、当会館・団体の認知度向上に寄与した。

実施目標２　「人財」育成を図ります

重点事項　安心して働ける職場づくり

本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合わせた働き方ができるよう環境を整備するとともに、計画的な職員の人材育成を図った。

	事　業　内　容
1	働きやすい職場環境の整備 (1) 多様な働き方の推進 ・長時間労働是正、年次有給休暇・夏季休暇等の取得促進 ・育児短時間勤務や時差出勤等育児・介護等のライフスタイルに合わせた働き方の推進 (2) ハラスメント相談員の配置 (3) 職員健康診断、人間ドックへの費用助成、ストレスチェックの実施 (4) 衛生委員会開催 3/14
2	人材育成の仕組みづくり (1) 職員の研修体系の構築と階層別研修への参加(新採、中堅、管理職員等) ・新規採用職員向け研修の実施(4/2､5) 6 人 ・生涯研修課程の計画的な受講(初任者コース 2 名、中堅コース 2 人) ・スキルアップ研修制度の継続実施(３分野 12 コース　延 32 人) 本会研修課で実施する研修のうちから、社協職員として受講を推奨する研修を指定しひとり１研修の受講を推奨 (2) 専門研修（テーマ別）への参加 ・全国社会福祉協議会会計実務講座受講(入門・初級コース２人、中級コース１人) (3) 外部からの依頼による講師の派遣 職員の説明力向上、人的ネットワーク構築の観点から、ＤＷＡＴ、災害ボランティアセンター運営等、他県社協や県内外市町社協から職員の講師派遣要請に積極的に対応 〔派遣例〕 ・全社協 都道府県･指定都市社会福祉協議会 部課長・所長会議 ・全社協 都道府県･指定都市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター担当者連絡会議 ・北海道災害派遣福祉チーム(ＤＷＡＴ)リーダー研修 ・あいち災害ボランティアセンター運営システム研修 ・岩手県社会福祉協議会地域福祉推進トップセミナー ・安城市社会福祉協議会地域福祉活動者勉強会　　等

【進捗状況及び成果】

各種健康診断・人間ドックへの費用助成、ストレスチェック実施を通じ、職員の心身の健康保持をすることができた。

職員研修については、階層別研修、専門研修(テーマ別)、自発的な資格取得支援を組み合わせて体系的な人材育成を進めるとともに、本会研修課で実施する研修のうち、社協職員として特に受講して欲しい研修を推奨研修として指定し、ひとり１研修の受講を推奨した。

さらに、積極的に職員を講師として派遣することにより、外部団体の人材育成支援だけでなく、職員の説明力の向上と人的ネットワークの充実が図られた。

実　施　事　業

第３　実 施 計 画

基本目標１　地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標１　住民主体による地域力の強化を推進します

推進事項１　地域住民が支え合う地域づくりの推進

市町において地域力強化や生活支援体制を整備するにあたり、市町間の情報共有の場づくりや人材育成などの市町への支援、及び広域で推進してく必要がある取組を関係機関と協働して推進した。

事業の実績	効果・評価
１　地域共生社会づくりのための広報啓発 (1) 地域づくり推進委員会の開催（第１回 5/9、第２回 1/7） (2) ふじのくに地域共生大賞の募集（7/1 募集開始） (3) ふじのくに地域共生塾の開催 第二期　10/7、11/6、1/14、3/18　13 人	・多分野連携の取組を情報発信し、全ての世代の参画による地域づくりに寄与した。
２　生活支援体制整備の構築 (1) 生活支援コーディネーター養成研修の開催(県委託) 8/2　72 人 (2) 生活支援コーディネータースキルアップ研修の開催(県委託) 10/29、11/21、12/20　94 人 (3) 生活支援体制整備事業に関する意見交換会（県委託）【新規】 9/19　51 人	・市町社協の主体的な参画を促すとともに、介護予防を中心とした生活支援体制整備事業による地域づくりの展開を促進した。
３　ふじのくに型福祉サービスの推進 (1) 実践者派遣事業の実施（13 回） (2) 共生型福祉施設運営者交流会の開催（2/19　53 人） (3) アンケート調査の実施【新規】 対　象：短期入所施設を併設する特別養護老人ホーム 314 か所 期　間：令和６年 12 月 20 日～令和７年２月６日 方　法：オンライン 回答率：43.6％	・市町域における「居場所」、「共生型施設」運営者支援を行い、課題解決に寄与した。
４　こどもの居場所づくりへの支援 (1) こどもの居場所応援基金事業の実施 申請 91 件（決定 79 件、不交付・辞退等 12 件）	・こどもの居場所実施団体の安定的な運営確保を促進した。

推進事項２　地域福祉教育及びボランティア・市民活動の推進

全県的な福祉啓発活動の推進とともに、市町社協と協働して、地域を基盤とした地域福祉教育を推進した。

また、ボランティア・市民活動を推進するため、中間支援組織との関係づくりとともに、広域の中間支援組織として、新たな担い手や社会資源の確保・マッチング、情報提供、人材育成に対する支援を行った。

事業の実績	効果・評価
1　地域福祉教育の推進 静岡県地域福祉教育推進計画の推進 (1)　静岡県地域福祉教育推進委員会の開催 第１回：10/3、第２回：12/25、第３回：1/22、第４回：3/17 (2)　地域福祉教育推進セミナーの開催 8/22　52 人 (3)　市町社協地域福祉教育担当者会議の実施 11/12 20 人 (4)　ちいきふくしの練習帖『ふむふむ程度。』の増刷、動画版の作成【赤い羽根助成金事業】	・学校、地域などの幅広い関係者に向け、『ふむふむ程度。』を活用し、疑似体験学習で終わらない地域福祉教育の啓発に寄与した。
2　全県的な福祉啓発の推進 (1) 暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施(主に 9～10 月)県民福祉の日に関する広報啓発事業 ・「県民福祉の日」啓発用チラシ、ポスター作成、配布 ・他団体が実施する行事等への協賛依頼 ・県庁玄関に啓発用立て看板の設置 (2) 福祉のまちづくり絵画コンクールの開催 ・福祉に関する絵画作品の募集、最優秀賞等の選定 ・表彰式(健康福祉大会) ・展示会(入選作品の展示) ※東、中、西部各１か所 (3) 福祉カレンダーの作成・配布 上記コンクール入賞作品を使用したカレンダーを作成、配布 ※カレンダーには福祉に関する日（県民福祉の日や介護の日等）を書き入れ、その周知と福祉教育等に活用 (4) マスコミを活用した広報・啓発活動の実施 (5) 静岡県健康福祉大会の開催 ・10/28　グランシップ会議ホール風式典(表彰、大会宣言)、好事例発表 (6) 各福祉週間等啓発事業 ア　児童福祉週間(５月) イ　老人週間(９月) ウ　児童虐待防止月間(11 月) エ　障害者週間(12 月)	・地域住民の気づきや地域活動への参加機運の醸成に寄与した。 ・福祉の諸問題に対する社会的関心を喚起し理解を促進した。 令和７年版 福祉カレンダー
3　ボランティア・市民活動の推進 (1) 地域づくり推進委員会の開催　２回【再掲】 (2) 市町社協ボランティア担当者会議の実施 2/28 25 人 (3) 市町社協ボランティアセンターあり方検討委員会の実施 6/6、9/9、12/10、2/28 (4) 静岡県ボランティアセンターあり方検討委員会報告書の作成 (5) ボランティア・福祉教育担当新任職員研修の実施 5/24　34 人	・県内ボランティアコーディネーター、ボランティア団体等の資質向上に寄与した。 ・社協ボランティアセンターの設置意義について再確認、機能向上に寄与した。

4　ふれあい基金による活動支援の実施 (1) ふれあい基金運営委員会の開催 第１回開催　6/4 シズウエル 104 会議室 別記助成先決定の承認 第２回開催　2/28 シズウエル 3 階 相談室 令和 6 年度実績見込み及び令和 7 年度予定 (2) 県ボランティア協会への助成 ア　ボランティア研究集会事業 イ　市民活動推進事業 ウ　「ケアする人のケア」事業 エ　ＴＯＭＯＳＨＩＢＩツアー事業 (3) 助成事業 ア　区分 （ア）地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業 （イ）セルフヘルプグループ活動支援事業 （ウ）しずおかの居場所助成事業 （エ）広域的な防災推進助成事業 （オ）ふじのくに「地域共生」大賞【再掲】 イ　手続き （ア）～（エ） a 募集開始　市町社協、NPO 等への周知 6 年 4 月～ 県内 56 団体から申込 b 助成先審議 c 第１回ふれあい基金運営委員会　35 団体決定 ・地域福祉・ボランティア活動等 10(先駆的 1) ・セルフヘルプグループ活動　7 ・しずおかの居場所　14 ・広域的な防災推進　4 d 助成総額　5,683 千円 (4) 県社会福祉協議会実施事業 ア　災害ボランティア本部体制整備事業 【基本目標 3 の実施目標 1 参照】 イ　福祉文化作品展奨励事業 （ア）児童養護施設協議会 5/1～5/20　作品展　20 日間 （イ）身体障害者福祉会　11/6～11/12 作品展　7 日間 （ウ）肢体不自由児協会　1/17～2/7　作品展 22 日間 ウ　市民後見人活動紹介映像作成事業 静岡県社会福祉協議会権利擁護課 youtube チャンネルで配信 （ア）成年後見制度と市民後見人（制度概要説明） （イ）市民後見人＋社協監督人(社協法人後見からのリレー) （ウ）市民後見人（単独選任）＋三島市成年後見支援センターのサポート （エ）市民後見人＋司法書士（複数選任）＋島田市社協成年後見支援センター	・在宅福祉・ボランティア活動等民間社会福祉団体が行う地域福祉活動を促進した。

5　ＡＢＣしあわせ基金車両贈呈事業の実施 募集期間 1/23～2/29　54 件（決定 3 事業所） 贈呈式 11/26	福祉事業所の運営に寄与した。
6　教員免許取得に係る介護等体験事業の実施 (1) 介護等体験システムの開発 (2) 介護等体験の実施	・受入調整業務の効率的実施に効果があった。 ・教員免許取得に寄与した。

令和 6 年度静岡県地域福祉教育セミナー

R6 福祉のまちづくり
絵画コンクール募集チラシ

実施目標２　多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

推進事項１　包括的支援体制の構築に向けた相談支援事業の実施支援

多様化・複合化した生活課題を抱える人や家族に対し、分野を超えて総合的に相談に応じ、関係機関との調整を行う体制を構築できるよう、アドバイザーの派遣や地域別の研究会を行い、市町の包括的相談支援体制の構築を支援した。

事業の実績	効果・評価
1　多機関協働による包括的支援体制構築事業の実施推進 (1) 市町へのアドバイザー派遣 ７市町(伊豆市・伊豆の国市・島田市・牧之原市・湖西市・東伊豆町・森町)、各２回程度 (2) 包括的相談支援体制構築推進部会 5/13 (3) 包括的相談支援構築市町会議 7/9 多機関連携事業担当者会議 6/3 (4) 中核機関担当職員人材養成講座（前期 Youtube 配信、後期集合３日間）	・住民からの相談について分野を超えて総合的に応じる体制づくりを促進した。
2　ひきこもり支援強化事業の推進 ひきこもり相談体制の整備に取り組み、市町としてアドバイザーを派遣 (1) 市町ひきこもり相談体制整備支援 派遣調整実施 19 自治体 26 回派遣 (2) 静岡県ひきこもり支援体制構築のための市町会議の開催 6/4　受講者 98 人	・支援者同士の連携体制づくりや地域資源や支援体制について、各市町による検討に寄与した。 ・連携と支援の必要性の認識を高め、市町圏域での取組を促進した。
3　市町社協における総合相談体制の構築 (1) 相談事業部会の開催 11/25	・相談援助技術の向上に寄与した。

<table>
<tr><td>(2) 相談事業担当者研修会の開催 3 回
4/12　初任者研修
5/30　新任事務局長会議での講義
6/28　中堅職員研修
(3) 市町社協重層的支援体制整備事業に係る情報交換会 1/21</td><td></td></tr>
<tr><td>4　生活困窮者自立支援事業の実施支援
(1) ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム
県社協、12 町社協、ＮＰＯ及び株式会社 15 法人によるコンソーシアム方式での郡部における生活困窮者自立支援事業の受託(令和６年度１社新規参画)
・ 自立相談支援、家計改善支援、一時生活支援の各事業
ア　各町社協による相談受付、プラン作成、支援実施
イ　定期的な支援調整会議（79 回（各町 1～3 回））
法テラス弁護士や社会保険労務士等の専門職を招聘
ウ　運営委員会（1/22）
エ　ブロック会議（8/6 中部・東部、8/19 賀茂）
オ　コンソーシアム内での定期的な勉強会（８回）
(2) 居住支援法人の指定
居住支援法人の指定を受けノウハウを蓄積し、住まいの支援ニーズに対応
(3) 生活困窮者自立支援事業従事者養成研修（５回）
4/19、5/17、6/21、8/23、1/31
(4) 生活困窮者自立相談支援事業市町担当者会議 7/10
(5) 主任相談支援員連絡会(研修企画委員会)5/21、10/9、3/6
(6) ふじのくに生活困窮者自立支援基金事業
対象：12 町
実績：22 件（就労支度金 21 件、ひとり親世帯支援１件）</td><td>・支援を必要とする人の早期把握と支援体制の検討に寄与

・住まいに関する課題分析と支援方法の検討に寄与した。

・相談員の交流や情報交換の契機となった。</td></tr>
<tr><td>5　孤独・孤立対策関連推進事業
(1) 孤独孤立対策アドバイザーの配置
(2) ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォームの運営
参画団体数（令和７年３月 31 日時点）　153 団体
<table><tr><td>社会福祉協議会</td><td>32</td></tr><tr><td>ＮＰＯ法人</td><td>46</td></tr><tr><td>社会福祉法人</td><td>24</td></tr><tr><td>行政</td><td>10</td></tr><tr><td>企業</td><td>11</td></tr><tr><td>民生委員・児童委員協議会</td><td>7</td></tr><tr><td>その他</td><td>23</td></tr></table>(3) 孤独・孤立対策推進シンポジウムの開催（7/23）
(4) ワークショップの開催（３か所）
東部会場 2/10　43 人
中部会場 2/17　32 人
西部会場 2/18　25 人</td><td>・孤独・孤立対策推進法の理解と取組の推進に寄与した。

・地域課題や特性を理解した上での取組を促進した。</td></tr>
</table>

6　医療的ケア児家族のつながりづくり 未就学児世帯を対象とした実態調査の実施	・当事者が抱える課題が明確になった。
7　生活福祉資金貸付事業の実施 (1) 生活福祉資金貸付事業 ア　総合支援資金　(0 件) 生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費 イ　福祉資金(福祉費、緊急小口資金)(148 件 18,084 千円) ウ　教育支援資金(教育支援費、就学支度費) (110 件 34,365 千円) エ　不動産担保型生活資金　(2 件 25,312 千円) オ　要保護世帯向け不動産担保型生活資金 (4 件 26,663 千円) (2) 臨時特例つなぎ資金貸付事業　(0 件) 住居を失った離職者が公的給付又は公的貸付の交付を受けるまでの生活費の貸付 (3) 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付 ア　借受人への支援 （ア）　福祉フォロークラウドにより、借受人の情報及び支援記録を市町社協とリアルタイムに共有 （イ）　生活状況調査 12 か月以上滞納者　9 月 6,986 件 住民税非課税免除者　2 月 7,159 件 （ウ）　個々の状況に配慮した償還免除、償還猶予、少額返済の案内及び生活再建に向けた支援 ・市町社協及び生活困窮者自立相談支援機関と連携 イ　債権管理 （ア）　償還開始から7回以上滞納している借受人に対し督促状の送付　6 月：9,634 件、2 月：9,608 件 （イ）　「最終償還期限のお知らせ」の送付 9 月：9,466 件 （ウ）　「償還残額のお知らせ」の送付 11 月:22,009 件 （エ）　所在不明者の住民票調査 2,844 件 (4)　生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催 11/26 (5)　生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会及び不動産担保型生活資金審査委員会の開催 6/12、1/31 (6)　市町社協新任担当職員研修会の開催 5/31 (7)　市町社協担当職員会議 の開催 4/25、5/31、11/29、3/19 (8)　生活福祉資金の実務的課題に関する作業委員会（中止） (9)　利用促進のための広報の実施 ＨＰでの制度周知、業務ハンドブックの更新 (10) 債権管理・償還相談(本則) ア　滞納者等含めた借受者に対する残額のお知らせの送付 7 月 6,242 件、1 月 6,189 件 イ　滞納者への訪問調査（随時）	・低所得世帯等の経済的自立及び生活意欲を促進した。 ・在宅福祉及び社会参加の促進に寄与した。 ・住居を失った離職者の一時的な生計維持に寄与した。 ・福祉事務所やハローワーク等関係機関・団体との連携強化が図られた。 ・借受世帯の自立促進、不良債権の発生防止に寄与した。

ウ　所在不明者の調査(住民票調査) 1,083 件 エ　滞納債権整理推進等事業 （ア）　滞納者への償還・生活相談（随時） （イ）　民事訴訟・調停、支払督促等 21 件 （ウ）　債務整理への対応 232 件	
8　児童や障がい者等の自立支援 (1) 神谷基金障がい者自立支援事業の実施 障害者福祉施設への助成事業 ア　選考委員会の開催 9/5 イ　助成先　16 団体 （特非）掛川障がい者支援センター　きらら上内田 （ 福 ）春風会　もくせい苑 （ Ｎ ）フリースペース・うぇるびー　りんご （ 福 ）Mネット東遠　ひまわり工房 （特非）浜松地区精神保健福祉会明生会　つばめ創社 （特非）スマイルベリー　スマイルベリーB 型 （一社）0548 プロジェクト　一如 （ 福 ）こころ　りなむ （ 福 ）函南町社会福祉協議会　わかくさ共同作業所 （特非）トマト会　トマト工房 （特非）冀北の杜　きほくのもり★ペンタス （一般）マンパワー　クローバー （特非）けるん　けるん就労移行支援事業所 （ 福 ）復泉会　ＫｕＲｕＭｉｘ （ 福 ）明光会　多機能型事業所明光学館大學 （ 福 ）掛川芙蓉会　掛川工房つつじ	・障がい者の地域生活移行や就労・社会参加等を促進した。 ・就労継続支援 B 型事業所が行う事業の充実強化に寄与した。
(2) 県里親連合会の事務受託 里親研修会や里親月間記念講演会の開催、ショート・ルフラン里親事業(県委託)の実施 里親研修会「涙活(るいかつ)」でこの時代を生き抜く～涙と笑顔の素敵な関係(6/8)	・里親制度の普及発展、里親の資質向上、会員相互の親睦に寄与した。
(3) 県肢体不自由児協会の事務受託 絵画･写真展や療育指導者講習の開催、療育読本の作成、療育相談や手足の不自由な子どもを育てる運動の実施	・肢体不自由児に対する理解促進に寄与した。 療育指導者講習会 7/26, 27、 8/9, 10、 9/27, 28 65 名
(4) 【静岡県共同募金会 課題解決プロジェクト募金助成事業】 児童養護施設等退所者への就学等支援事業（「夢みらい応援資金」交付事業） ア　対象者 （ア）措置解除後、大学等に進学し、自立生活している方 （イ）措置延長で大学等に進学して在学中の方 （ウ)施設への入所措置及び里親委託等を受けながら生	・制度の隙間にあり手薄になっている学生への支援となった。

活されいている中学校３年生及び高校３年生 イ　事業内容 ・応援資金 10 万円支給　　7 人 ・応援資金　３万円支給　　20 人 ・図書カード１万円支給 132 人	
9　民生委員・児童委員活動の支援 (1) 相談技法に関する研修会 東部 8/21、中・西部 8/23 (2) 法定地区民児協会長研修会 9/25 (3) 主任児童委員研修会 東部 1/21、中･西部 1/22 (4) 専門部会 2/20 (5) 県社協全国大会等参加経費助成事業による経費支援 (6) 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会 7/18、19　沼津市(当番県) (7) 市町法定地区民生委員児童委員協議会への訪問指導 駿東田方民児協連絡会 4/17、伊豆市民児協総会 4/23、焼津市民児協全体研修会 4/24、森町民児協定例会 5/27、磐田市豊田南地区民児協定例会 6/18、藤枝市民児協生活援護部会 7/9、富士市民児協障害児者部会 8/27、河津町民児協部会 10/8、焼津市民児協生活支援部 1/27、湖西市民児協定例会 2/13、菊川市民児協菊川西地区定例会 3/7 (8)　県民生委員児童委員協議会の事務受託	・民生委員・児童委員の資質向上、住民の地域活動の活性化及び民生委員児童委員活動の負担感の軽減に寄与した。 法定地区会長研修会 9/25 ホテルアソシア静岡

推進事項２　意思決定支援を主体とした権利擁護の推進

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方々が、地域において自立した生活を安心して送ることができるよう、福祉サービスの利用支援を市町社協と協働して行った。

事業の実績	効果・評価
1　日常生活自立支援事業の実施 判断能力が不十分な方が、自らの意思に基づいて地域で安心して暮らしていけるよう支援を実施 (1) 事業利用の可否決定 ア　事務局内審査会（毎月） イ　契約締結審査会 4/11、5/16、6/13、7/11、8/8、11/14、12/12、2/13、3/13 (2) 事業利用者への支援 市町社協による定期・臨時支援の実施（随時）	・権利や財産の侵害を未然に防止につながっている。
(3) 支援者の育成支援の実施 ア　新任専門員研修 5/1 28 人 対象　33 市町社会福祉協議会専門員 内容　日常生活自立支援事業の概要説明 相談受付から審査依頼までの流れ	・支援者の専門性の向上とネットワーク形成につながった。

イ　KAERUBiz 導入社会福祉協議会情報交換会 8/1 8 人 ・KAERUBiz 権利擁護の導入状況、効果と課題 ウ　専門員・生活支援員合同研修会 東部 11/15 75 人、中西部 11/22 104 人 講師　駒澤大学文学部社会学科教授 川上富雄 氏 内容　・地域住民参画の重要性 ・専門員と生活支援の連携、情報交換 ・報告　伊豆の国市社協及び島田市社協 エ　専門員担当者連絡会 2/5 29 人 講師　西尾智美法律事務所　弁護士　西尾智美 氏 内容　・日常生活自立支援事業における業務範囲 ・利用者死亡後の手続きについて ・利用者死亡後の手続きで経験したこと ・業務効率化のために取り組んでいること (4) 権利擁護事業あり方検討委員会 11/25､1/21 (5) 市町社協による事業体制に係る自己点検の実施 期間　４～５月 対象　33 市町社協 内容　・預かり物品の保管管理 ・支援方法 ・内部けん制の体制について　等 市町社協事務局長会議で概要を説明し情報共有 (6) 市町社協の運営状況の確認、成年後見制度への移行、困難事例協議のための訪問調査の実施 期間　7～1 月 対象　12 市町（３年に１回） 御殿場市、御前崎市、清水町、小山町、裾野市、長泉町、東伊豆町、河津町、下田市、南伊豆町、吉田町、牧之原市 内容　・事業実施状況、内部体制の確認 ・契約書等の保管状況、支援口座残高確認 ・困難事例、後見移行に関する協議　等 (7) 業務の適正化・効率化を図るための業務システム改修の実施（適宜）	・KAERUBiz 権利擁護の導入状況やケースについての情報共有により、さらなる活用へとつなげられた。 ・現場の実情を踏まえた新たな方策の検討や今後の協議・連携の促進につなげられた。 専門員・生活支援員合同研修 ・課題や対応事例を共有し、業務の理解を深めることができた。 専門員担当者連絡会 ・書類整備体制、決裁状況は 96%問題なし。 ・利用者の 36%が専門員対応となっており、困難事例を抱えていることが明確となった。 ・訪問調査の場で協議を実施したことで、各市町が抱えている課題の把握につながった。
２　成年後見制度利用促進の実施 (1) 中核機関設置・運営等支援 ア　成年後見制度実施機関運営力強化研修（基礎・応用） 基礎編 5/15　当日視聴 84 人、後日視聴 70 回 実務編 6/5　当日視聴 86 人、後日視聴 56 回 イ　後見人等への意思決定支援研修 基礎編 6/25　当日視聴 89 人、後日視聴 75 回 活用編 9/27　当日視聴 60 人、後日視聴 40 回 ウ　市町体制整備相談支援の実施 相談回数　35 回	・制度を必要とする人が適切に制度に繋がる体制構築に寄与した。

エ　中核機関総合相談支援事業 ⇒総合的な相談支援　相談対応回数 8 回 (2) 法人後見担い手育成研修【新規】 １日目 10/30　当日視聴 77 人、後日視聴 72 回 ２日目 11/15　当日視聴 73 人、後日視聴 55 回 (3) 成年後見制度利用促進協議会の開催 東部①10/15 ②9/24、賀茂 9/11、中部 9/6、西部 9/4 (4) 福祉関係者等を対象とする理解促進研修 基礎編 1/28　当日 65 人、後日視聴 209 回 実務編 3/4　当日 87 人、後日視聴 108 回 (5) 支援付き意思決定への理解促進研修 基礎演習編 5/31　56 人　ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ編 7/2　41 人 出前講座 4 団体 (6) 持続可能な権利擁護支援モデル事業 ・モデル事業企画運営会議の開催　2/28　11 人 ・家庭裁判所下田支部との意見交換 7/10　6 人 (7) 法人後見・市民後見実施社協担当者会議の開催 2/13 (8) 権利擁護事業あり方検討委員会 11/25、1/21 (9) 業務の適正化・効率化を図るためのシステム改修（適宜）	
３　福祉サービス運営適正化委員会事業の実施 (1) 運営適正化委員会（全体会）の開催　2 回 5/17 事業報告、事業計画の承認、情報共有等 12/5 正副委員長の選任及び合議体の委員指名、正副委員長の選任等 (2) 運営監視合議体の開催　4 回 5/17、8/5、12/5、3/10 (3) 市町社協等福祉サービス利用援助事業実施状況調査 基幹社協 2（政令市 2）、県社協委託市町社協 10 (4) 苦情解決合議体の開催　5 回 5/17、8/5、10/4、12/5、3/10 (5) 苦情相談等への対応（調査、あっせん、通知等） 苦情解決申出及び相談等件数　99 件（前年比△48） 苦情解決申出 80 件(前年度比△40)、相談等 19 件(同△8) (6) 事業所における苦情解決の巡回支援(2/4 県西部の施設) (7) 福祉サービス苦情解決研修会の開催 テーマ「苦情解決能力の向上を目指してⅡ(応用編)」 中部 11/12、東部 11/18、西部 11/28　合計 160 人 (8) 調査研究（調査分析・報告、各種協議会、連絡会、研修会） (9) 啓発活動の実施 福祉施設等へ掲示、利用者への配布等 配布:ポスター696 枚、リーフレット等 725 枚 印刷：ポスターB3 1,000 枚	・福祉サービス利用援助事業の適正な運営の確保と事業者自身の苦情解決体制の整備を促し、福祉サービス利用者の権利擁護と福祉サービスの質の向上に寄与した。

実施目標３　地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

推進事項１　市町社協相互の連絡調整及び基盤強化

市町社協の体制強化、基盤整備を図るとともに、地域福祉を協働して進めるための基礎調査及び個別ヒアリング等を行った。

また、各市町社協の事業運営における現状や課題、今後の取組について、市町社協連絡協議会及び各部会の実施により取組を支援した。

事業の実績	効果・評価
1　市町社協連絡協議会及び部会の開催 (1) 幹事会 6/17 (2) 介護保険部会 8/6、9/18　全体会　12/9 (3) 広報啓発部会 9/17　全体会　12/19 (4) 総務部会　10/16　全体会　11/20 2　市町社協の基盤強化と活動支援 (1) 市町社協活動実態調査の実施 (2) 市町社協役職員便覧の作成 (3) みんなで支える地域福祉促進事業 市町社協における小地域福祉活動に係る担い手づくりへの助成 (4) 市町社協経営基盤強化検討委員会の開催 8/19、11/18、2/27 (5) 市町社協経営改善の手引きの作成 3　地域福祉活動計画の策定支援（静岡市社協、函南町社協） 4　調査研究、政策提言の実施 県への地域福祉の提言 9/2 5　市町社協個別ヒアリングの実施（35 市町社協） 6　会計処理の適正化とコンプライアンスの徹底	・市町社協の経営基盤と広報力の強化、市町域を越えた課題や情報の共有が図られた。

推進事項２　人材確保と専門性向上の推進

地域福祉の担い手となる市町社協役職員の人材確保と専門性向上を目的とした体系的な研修を実施した。

事業の実績	効果・評価
1　階層別、分野別研修及び会議の実施 (1) 監事研修会　4/10～7/31 配信 (2) 新任職員研修　6/3、7/29　59 人 (3) 新任事務局長研修　4/26　6 人 (4) 事務局長会議　5/30　26 人 (5) 市町社協中間管理職研修 8/1　25 人 (6) 地域福祉担当者会議　8/3　64 人 (7) 市町社協会長セミナー　1/27　58 人 (8) 市町社協会計実務研修会　8/1～11/30　配信 (9) 市町社協決算実務研修会　2/26～6/30　配信	・適切な組織運営及び事業推進のための職員のスキルアップが図られた。 ・役員の組織を牽引する経営者としての認識が醸成された。
2　コミュニティワーク研修、コミュニティソーシャルワーク研修会の実施 (1) コミュニティワーク実践者研修（地域アセスメント力等の向上）	・新たな援助技法習得者の増加とコミュニティソーシャルワーク実践者のネットワーク構築によ

住民主体の地域づくりセミナー 10/11　31 人 地域アセスメント研修　12/17　34 人 ロジカルシンキング研修　2/21　16 人 (2) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修 7/5､6　2/7､8　23 人 (3) コミュニティソーシャルワークスキルアップ研修 東部 7/20、中部 7/24、西部 7/23　52 人	り､住民主体の地域福祉活動の活性化が期待される。
3　市町社協人事交流及び社会福祉法人と連携した福祉人材確保の取組 市町社協間人事交流事業の周知	・県社協と市町社協の人材交流により、派遣者の資質向上と組織風土の変化が期待される。

市町社協中間管理職研修会

令和６年度ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実践者養成研修会

推進事項３　社会福祉法人等と協働した地域公益活動の推進

市町社会福祉協議会が核となるネットワーク化の促進により、法人間連携による地域における公的な取組の推進と福祉人材確保の取組を支援した。

事業の実績	効果・評価
1　市町域のネットワーク構築支援 (1) 社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施 清水町社協が取り組む町内ネットワーク構築への支援 富士宮市社協による新たな社会福祉法人連絡会の立上げ (2) 施設経営法人・社会福祉協議会合同研修会の開催 9/30　73 名	・市町域での法人間連携による事業の実施に寄与した。
2　社会福祉法人等と連携した災害時要配慮者に対する支援体制の構築 法人間連携の取組のひとつとして、ＢＣＰ策定等の防災について取り組んでいる市町のネットワーク参画法人と市町社協を対象に、ＢＣＰに基づく訓練を開催	富士宮市社会福祉法人連絡会（令和６年度新規）

基本目標２　地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標１　社会福祉事業者等を支援します

推進事項１　自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人が良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

事業の実績	効果・評価
1　社会福祉法人経営者協議会の事務局運営 (1) 社会福祉法人経営者協議会の事務受託 ・正副会長会議 10/9、理事会 5/21 ・総会及び講演会 6/25　45 法人 54 人 講師　中央大学法学部教授 宮本太郎 氏 ・経営セミナー 前期 9/12 69 法人 54 人　後期 2/21 31 法人 44 人 (2) 県社会福祉協議会事業との連携強化 人材確保マッチング支援事業、外国人介護人材確保等	・社会福祉業界の最新動向の共有及び会員法人の課題把握により経営全般の質的向上に寄与している。
2　福祉施設経営指導事業による専門相談の実施 (1) 経営相談 236 件 会計 176 件、法律 3 件、施設サービス 4 件、 労務 53 件 (2) 福祉施設経営指導連絡協議会の開催 1/23	・施設経営の安定化とサービス向上につながった。
3 経理、労務、施設運営等に関するＷＥＢ研修の開催、借入金助成等の実施 (1) 社会福祉法人監事監査研修会　4/19～5/19　254 施設 (2) 社会福祉法人簿記入門講座　6/14～30　71 施設 (3) 社会福祉法人･施設事務職員経理基礎講座 7/12～8/4　78 施設 (4) 社会福祉法人･施設事務職員経理応用講座 8/16～9/8　114 施設 (5) 社会福祉施設人事･労務管理研修会　11/8～12/9 119 施設 (6) 社会福祉法人･予算管理基礎講座　9/13～29　102 施設 (7) 社会福祉法人･施設事務職員会計実務専門講座 10/19～11/4 98 施設 (8) 社会福祉施設運営管理研修会　12/23　89 人 (9) 社会福祉法人･施設職員税務実務講座 11/15～12/1 55 施設 (10)社会福祉法人財務管理講座　12/20～1/13 93 施設 (11)社会福祉法人決算実務講座　2/7～3/24　152 施設 (12)新設社会福祉法人等運営管理説明会(対象施設がなく中止) (13)施設借入金元金・利子助成事業 元金助成 110 件､285,522,619 円 利子助成 108 件､11,230,656 円 (14)社会福祉振興資金貸付事業 現在貸付中の法人なし。新規の貸付申込みなし。	・社会福祉法人・施設の適正な運営管理と経営基盤強化を図ることで、質の高い福祉サービスの提供につながっている。 ・受講希望者に配慮し、各講座とも前年度より配信期間を延長するとともに、初心者にも分かり易く、疑問点の解決につながる内容を心掛け、好評を得ている。 ・令和６年度から新たに３施設に元金助成を行い、社会福祉施設の整備促進に寄与した。

4　民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業の実施 助成実績 87 件（14,291 千円） ※内訳は附属明細書に記載	・社会福祉事業者の地域貢献や人材育成に向けた取組の推進に寄与した。
5　福祉サービス第三者評価事業及び社会的養護関係施設第三者評価事業の実施 (1) 福祉サービス第三者評価 受　審　数　９法人９施設 評価委員会　1/15、2/26 (2) 社会的養護関係施設第三者評価 ・令和６年度評価申込及び評価実績なし	・第三者評価の実施、公表により、法人・施設の適正な福祉サービスの提供が図られている。

推進事項２　地域における公益的な取組の推進

複数の社会福祉法人が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図るため、社会福祉法人や他法人(医療法人及びＮＰＯ法人等)の連携の中核として、特に広域及び市町域の連携を支援した。

事業の実績	効果・評価
1　県域、広域、市町域における法人間連携の推進 (1) 地域における公益的な取組等の推進 部会の開催(地域における公益的な取組、災害支援体制の構築、人材確保・育成・定着等) 11/8 6 名、2/4 5 人 (2) 連携・協働の実践事例のホームページ、広報紙等による情報発信 (3) 実践報告会の開催 2/17 57 人	・社会福祉法人間連携の事務局機能を市町社協に求める声がある中、報告会への市町社協の参加が増加しており、情報交換を通じた取組の展開につながっている。
2　法人単位における取組の強化 実践事例の収集、ホームページ、広報紙等による実践事例の情報発信	・地域の実情に合わせた公益的な取組を見出し、情報提供することにより、地域福祉の向上に寄与している。

推進事項３　社会福祉関係団体への支援

福祉関係団体が、民間性を発揮した活動を展開できるよう支援するとともに、各団体の課題や情報を共有し、お互いの強みや特性を活かし合うことができるよう、広域的な観点から「協働の場づくり」を推進した。

事業の実績	効果・評価
1　社会福祉団体等の連携強化 (1) 社会福祉団体連絡協議会 県に各団体の取組と課題を説明し情報を共有 8/20 33 団体 (2) 県障害者社会参加推進協議会への参画 10/11、3/5	・重要課題について、解決に向けて協働できる関係性の構築と県への状況説明により、地域福祉の向上につながっている。

2　社会福祉団体への財政支援 (1) 県民間社会福祉団体運営費の助成 (2) 県民間社会福祉活動促進事業費の助成 ア　運営費 18 団体　29,345,000 円 イ　促進費 18 団体　76,767,657 円	・団体の運営・活動基盤強化に寄与した。
2　ソーシャルアクションの実施 (1) 社会福祉に関する県への要望 7/24 29 団体 (2) 児童虐待防止静岡の集いへの参加 11/16 (3) 障害を理由とする差別解消推進県民会議への参画	・重要課題について、解決に向けて協働できる関係性の構築と県への状況説明により、地域福祉の向上につながっている。

実施目標２　福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

推進事項１　福祉サービスの担い手の確保と定着に向けた支援

静岡県社会福祉人材センターとして、無料職業紹介所及び保育、介護、障害の各福祉分野において人材確保と定着のための各種支援を実施した。

施設・事業所や行政、養成校、ハローワーク等の関係機関とネットワークを構築して、連携を強化し、福祉分野が一丸となって人材確保に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
1　社会福祉人材センターの運営及び利用促進 (1) 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） 就職者数 497 人　（目標 全県 1,000 人） ア　福祉分野の求人者や求職者からの相談、就労・就職あっせん イ　無期雇用者の離職状況の調査 福祉サービス事業所と期間の定めのない労働契約を締結した者が就職日から６か月以内に解雇以外の理由により離職した状況の調査 調査対象者 324 人　6 か月以内の離職者 65 人(20.1%) (2) 社会福祉人材センター運営委員会 人材センターの円滑かつ効果的に運営のための会議開催 7/18 (3) 福祉人材マッチング機能強化事業の実施 求職者のニーズに適した職場開拓や従事者が働きやすい職場環境作りのための事業者支援などを実施 ア　キャリア支援専門員の設置　5 人 ハローワークや他機関の就職フェア等での出張相談、施設・事業所訪問、求職者・求人者への個別のマッチング支援等を実施 ・訪問施設 207 か所 ・マッチング支援の実施者数 804 人 ・マッチングによる就職者数 268 人 ＜ハローワーク出張相談会の開催＞ 開催場所 県内 14 か所のハローワーク　開催回数 122 回 求人相談 3 件、求職相談 432 件、求職票受理 167 件、採用人数 53 人	・求職者が希望する福祉職場への就職に結びつけた。 ・人材センターの運営に反映できた。 ・就職氷河期世代、シニア、ＵＩＪターン希望者を含めた求人、求職者の開拓に寄与した。 ・ミスマッチの解消に結びついた。 ・個別支援により人材確保を推進した。

＜福祉の仕事ガイダンスの実施＞

・静岡県立短期大学（1 回 参加 37 人）
・静岡英和学院大学（1 回 参加 20 人）
・星槎国際高等学校（1 回 参加 15 人）
・駿河総合高等学校（1 回 参加 204 人）
・ハローワークの求人者向け（122 回 参加 1,707 人）
・介護職員実務者研修受講者（1 回 参加 50 人）
・ニチイ学館沼津初任者研修（2 回 参加 15 人）
・静岡市初任者研修（2 回 参加 36 人）

＜合同説明会（その他の相談会）の開催＞

・浜松市老施協 福祉のお仕事相談会（1 回 参加 4 人）

イ　専門アドバイザーの設置

人事・労務管理及び経理事務等に関する専門的な相談会の実施

・公認会計士、社会保険労務士に委嘱

＜相談件数＞　（単位：件）

区　分		東部	中部	西部	計
公認会計士	事業所	40	116	20	176
社会保険労務士(3 名)	事業所	9	45	7	61
	従事者	2	2	0	4
計		51	163	27	241

・公認会計士相談　　月 1 回（中部地区のみ）　　計 12 回
・社会保険労務士相談　東・西部隔月 1 回、中部月 1 回　計 24 回

・人事・労務、経理事務の正しい理解と職場環境の整備と改善の促進をした。

ウ　社会福祉人材センター情報発信事業の実施

市町社会福祉協議会等の協力を得て、地域の就職相談会等に出向き、人材センターの紹介や福祉の仕事の相談等を行い、人材センターの認知度を高めるとともに、きめ細かな求人・求職者のマッチングを実施

◎ 中山間地域

市町名	開催名称	開催日	参加者数(人)
伊豆の国市	令和６年度福祉・保育のおしごとフェア	6/22	20
御殿場市	御殿場市合同企業ガイダンス 2024 夏	7/6	180
小山町	小山町合同就職フェア	7/20	100
御殿場市	シニア面接会	9/26	25
富士宮市	富士宮市シニア向け仕事セミナー・就職相談会	10/29	51
清水町	第 44 回清水町ふれあい広場	11/16	561
御殿場市	御殿場市合同企業ガイダンス 2025 春	3/1	255
裾野市	裾野市就職相談会	3/8	198

・人材センターの周知と求職者の確保に寄与した。
・きめ細かな求人・求職者支援、マッチングが実施できた。

伊豆の国市福祉・保育のおしごとフェア
(6/22)

エ　ミニ就職相談会の開催

小規模な相談会を開催し、求職者が求めている詳細な労働条件や施設・事業所の雰囲気を伝え、求人・求職のマッチングを実施

地区	開催回数	参加法人数	求職者数(人)	延相談数(件)	採用者数(人)
中部	7	48	203	247	37
東部	4	54	139	144	30
計	14	102	342	391	67

ミニ就職相談会の様子
(6/20)

オ　求職者向けの施設見学(オンライン)の実施

事業所の主体的な求人活動を支援するため、求人者と連携して、求職登録者を対象としたZOOMや動画による施設見学等を企画・実施

・12回 125名（東部4回38人、中部7回75人、西部1回12人）

パワーポイントやZOOMを利用した見学会（8/27）

カ　県主催移住フェアや小規模就活イベントへの参加

・ハローワーク等の主催するイベントへの参加

介護の未来ナビゲーター等と協力して相談ブースを出展し、福祉系以外の大学生等に福祉の仕事の魅力や人材センターの取組を周知

内容	主催	参加人数
しずおか就職フェア	静岡労働局	150
大学生等就職フェア（オンライン）	静岡労働局	27
医療・福祉の就職相談会	静岡労働局	30
熱海市シニア向け仕事相談会	静岡県・熱海市	16
若年者のための地元就職フェア	静岡労働局	209
高校生JOBフェア	静岡労働局	166
若年者就職フェア	静岡労働局	48

・福祉人材確保に寄与している。

(4) 福祉の就職相談会の開催

【他業種からの転職者や学生等幅広いターゲット向け】

ア　就職相談会

・8回実施(対面式) 565人参加

東部3回196人、中部3回285人、西部2回84人

イ　求人ＰＲサイトの運営(通年)

ウ　合同企業説明会(2回)への参加

内容	主催	人数
就活ケーキバイキング	静岡新聞社	39
体育会系　就活準備セミナー	静岡新聞社	80
保護者向け　就活準備セミナー	静岡新聞社	35

福祉の就職相談会
(3/9)

【福祉系大学向け】

大学等と連携し、学生の福祉職への関心を増嵩するような内容の出前講座（ゲスト講師派遣）を開催

静岡県立大学経営情報学部　(3年生80人　1回)

静岡県立大学短期大学部　(2年生16人　2回)

常葉大学法学部　(2年生20人　2回)

静岡英和学院大学　（1 年生 90 人　2 回）
聖隷ｸﾘｽﾄﾌｧｰ大学社会福祉学部　（1 年生 18 人　3 回）
聖隷ｸﾘｽﾄﾌｧｰ大学介護福祉専門学校（2 年生 19 人　1 回）
中央歯科衛生士専門学校　（1 年生 30 人　1 回）
小田原短期大学　（1 年生 38 人　1 回）

(5) 福祉の職場体験事業の実施（目標　1,000 人）

介護等福祉の職場に就職を希望・検討する求職者や福祉系学校に進学希望・関心のある中学生以上の学生を対象にした職場体験

地　　区	東部	中部	西部	合計
体験人数（実人数）	123	144	366	633
延体験日数（人日）	250	344	459	1,053

・離職介護経験者の復職支援による介護職員の確保に繋がった。

(6) 介護職員復職支援事業

ア　介護経験者の掘り起こし及び復職支援

・介護職経験者の掘り起こしのための広報
・介護職復職者の事例動画の作成
・介護福祉士等の届出システムへの登録促進
・復職前研修の開催
・復職希望者の希望に沿った事業所との個別マッチング
・復職後のサポート（早期離職防止）

リーフレット等による制度の周知

・セミナー周知用チラシの作成、配布 15,000 枚
・事業周知用リーフレットの作成、配布 6,000 枚
・テレビＣＭ放映　9/14～10/14
・事業周知用ＷＥＢ広告の作成　10～11 月
・むるぶ広告掲載（令和６年 11 月号）
・情報誌アイデムへの掲載（セミナー周知）

9/22 発行　　90,000 部　静岡市葵区・駿河区・清水区
9/29 発行 各 90,000 部　浜松市、湖西市、沼津市、三島市、御殿場市、伊豆地域

復職前研修の様子
（9/5）

イ　復職前研修

「介護のシゴト復職応援セミナー」の開催　年間 30 回
東部 5～3 月 13 回、中部 5～3 月 13 回、西部 7～3 月 4 回

・新規採用職員のモチベーションを高め、仲間づくりに寄与した。

ウ　マッチングの実施と復職後のサポート

・支援実施者 1,264 人、採用者 107 人、復職者 105 人

(7) 静岡県福祉職合同入職式『入職者のための合同研修会』等の開催

ア　合同入職式：令和７年 2～3 月開催

対象　県内福祉施設に令和７年４月に採用される新規入職者
東部 3/3　プラサヴェルデ
中部 3/4　グランディエールブケトーカイ
西部 2/28 ホテルクラウンパレス浜松

福祉職合同入職式
（3/4　中部地区）

イ　フォローアップセミナー（入職３年目までの職員対象）

・将来的な福祉人材確保

令和４年から６年に開催した合同入職式参加者を対象としたフォローアップセミナーの開催

東部 11/18 三島商工会議所

中部 11/19 もくせい会館

西部 11/20 浜松市福祉交流センター

２　事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施

(1) 事業所の採用担当者等との会議の開催

県内大学（養成校）と福祉施設をネットワーク化し、今後の福祉人材確保に向けた連携協働体制を構築

ア　静岡福祉大学と福祉施設等の意見交換会（8/7）

イ　静岡県立大学短期大学部と福祉施設等の意見交換会（8/23）

ウ　静岡英和学院大学と福祉施設等の意見交換会（12/20）

(2) 課題解決に向けた実践

静岡県社協が社会福祉人材センターを担う意義・価値を再検討し、求職者や事業所から見つけやすい WEB サイトを構築

ア　調査研究の実施　（養成校進路調査）

イ　福祉人材確保・定着事例集の作成　【新規】

ウ　ランディングページの作成　【新規】

（「静岡県社協が人材センターを担う意義・価値」をブランディングすることを念頭に構築）

(3) 福祉人材確保実践セミナーの開催

ア　福祉施設の採用力向上研修（6/6）

イ　福祉施設の人材定着研修（7/23）

ウ　研修担当者意見交換会（10/11）

３　他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援

静岡県国際介護人材サポートセンター事業【拡大】

外国人介護人材の「受入」「定着」「連携」に係るワンストップ窓口、推進機関を設置した。

(1) 静岡県国際介護人材サポートセンター開所（7/24）

(2) 事業所個別訪問・専門アドバイザーの派遣

受入準備支援 21 回、定着支援 21 回

(3) 受入準備セミナーの開催

対面 10/15、17、30　オンライン 1/28 及び録画配信

(4) 研修交流会の開催（9 月 7 回、2 月 8 回）

(5) 支援・教育担当者会議の開催（9/5、25、26　2/10、18、19）

(6) センター運営定例会議（毎月）

４　保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進

(1) 保育士・保育所支援センターの運営

就職支援コーディネーターの配置　３人

ア　事業所の保育士募集、求人に関する相談対応

イ　訪問による保育所等の方針や求人の把握　訪問 80 件

に寄与した。

・福祉施設の採用、定着に関するスキル向上に寄与した。

外国人介護職員研修交流会　インドネシア(9/3)

・保育士・保育所支援センターの周知と新たな求人及び求職者の開拓につながった。

ウ　潜在保育士の就労相談、情報発信　　SNS(LINE)情報発信 52 回
エ　求職者のニーズに合った就職先の紹介、あっせん　　126 件
オ　保育士資格の取得等に関する相談対応　　5 件
カ　求人者、求職者のマッチングの強化
キ　保育補助者の人材確保支援
ク　現職保育士に対する、就労継続に向けた相談支援の実施

	求人相談	求職相談	新規求人 求人人数(登録件数)	新規求職登録者数	採用者数
保育士	763 件	720 件	2,480 人(800 件)	800	96
保育補助	―	―	125 人(71 件)	183	29

ケ　現役保育士に対する就労継続に向けたＳＮＳを活用した社労士等による相談支援の実施

①ＳＮＳによる相談窓口の設置、情報発信（９月末現在）

LINE のアカウントを求職・求人の相談窓口とし、必要に応じて社会保険労務士などの専門家が助言

登録者に保育に関する制度や資格、就労等の情報を発信

・登録者数 412 人　・相談件数 170 件(内、専門家対応 6 件)

・情報発信 52 件

②Instagram アカウントの設置、情報発信

インスタグラムでイベントや訪問施設の情報を発信

・登録者数 150 人　・情報発信 36 件　・再生回数 14,291 回

(2) 保育就職説明会の開催(保育のお仕事フェア)

求職者(保育士)と雇用者(保育施設)の面会機会の提供

対面式またはＷＥＢ　５回　合計 413 名

東部　プラサ・ヴェルデ 11/20、ＷＥＢ 11/20　　計 126 名

中部　常葉大草薙 7/6、静岡理工科大静岡駅前 11/27　　計 259 名

西部　浜松未来総合専門学校 11/8　　28 名

(3) 潜在保育士職場復帰支援研修の開催

潜在保育士等を対象に、復職への不安を緩和し再就職への意欲を高めるための研修

※保育就職説明会と同時開催２回　　計 136 名

東部　プラサ・ヴェルデ　　1/18　　84 名

中部　常葉大学静岡草薙キャンパス　7/6　　52 名

(4) 出張相談会の開催

ハローワークや行政等が実施する就職相談会への出張相談会とミニセミナーを実施した。

・講師　各地の保育施設の園長

・開催実績　県８回、静岡市８回　　参加者合計 151 名

県	東部	ハローワーク	6～12 月	27 名
	中部	ハローワーク、Bivi 藤枝外	6～1 月	23 名
	西部	ｉプラザ磐田	10/24	6 名
静岡市		ハローワーク、区役所、シズウエル	5～2 月	95 名

・養成校、法人、センターの連携が推進された。
・保育事情、学生の動向を把握できた。
・学生、求職者が様々な保育施設を知る機会となった。

保育のお仕事フェア

・事業所と直接話ができ、活発な就職活動につながった。採用 20 人

出張相談会（牧之原市）

(5) 保育現場体験事業

保育士及び資格取得見込者を対象に、保育所等での現場体験を実施した。(4～2 月)

対象者　大学生以上(静岡市のみ高校生以上)

地　　区	東部	中部	西部	合計
体験人数（実人数）	36	60	2	98
延体験日数（日）	50	131	7	188

※この他見学者 1 名(2 日間)あり

(6) 保育士・保育所支援センター登録システム及びホームページの管理運営、離職保育士届出制度を周知した。

しずおか保育士・保育所支援センターホームページ　登録者 294 人

http://shizuoka-hoiku.jp/

(7) 放課後児童支援員の人材確保支援

保育士資格を有する放課後児童支援員の人材確保を図るため、求職者・求人者の相談対応及び勤務条件等のマッチングを実施

求職相談　26 件　　新規求職登録　11 名　　就職者　7 名

求人相談　24 件　　新規求人登録　147 名

(8) 保育士養成施設連絡会の開催

保育士の就労と職場定着を目的とした保育士養成施設の意見交換、情報共有会議を実施した。(3/17)

(9) その他

他団体主催の就職相談会や就職フェア、ラジオ番組を通して、中高生等の若年層を中心に保育士・保育所支援センターを周知

6/7 ＦＭ清水『ひるラジ！』等 13 件

・学校種別ごとに実施し活発に意見交換され、問題、情報共有に役立った。

5　静岡県障害福祉人材サポートセンターの運営及び利用促進

障害のある方の地域での安心した暮らしを支えるため、障害福祉サービスを担う人材の確保、定着が図られるよう、人材サポートセンターとして障害福祉サービス事業所を支援

(1) 処遇改善加算取得推進事業及び事業所サポート事業

専門アドバイザーによる無料相談会の実施（年 10 回）

・処遇改善加算に関すること（全 6 日間）

・報酬改定を含めた制度改正に関すること（全 4 日間）

・研修会（年 2 回）　制度改正に関する研修会　12/4　68 名

処遇改善加算攻略セミナー 2/5　64 名

(2) 障害福祉ナビゲーター派遣事業

就職ガイダンス、相談会、大学等への障害福祉ナビゲーター派遣

・大学等への出前講座（全 4 回　8 名派遣）

・就職相談会等の各種イベント（全 10 回　20 名派遣）

(3) 新人職員職場定着促進事業

新人職員職場定着促進のための研修会

東部 12/19 10 名、中部 12/13 12 名、西部 12/16 14 名

・個別相談後、4 事業所が新たに加算の取得手続きを実施

６　保育士、介護福祉士等の資金貸付事業の実施

(1) 介護福祉士修学資金貸付事業

ア　介護福祉士修学資金(修学資金 月５万円以内、入学・就職準備金各 20 万円以内、実務者 20 万円以内)

介護福祉士養成施設に在学する者及び実務者研修受講者に対し、授業料等の貸付けを実施

イ　再就職準備金(40 万円以内)

離職した介護職員が介護職員として勤務する際に、再就職準備金の貸付けを実施

ウ　障害福祉分野就職支援金(20 万円以内)

研修終了後障害福祉職員として就職する際に、就職支援金の貸付を実施

エ　福祉系高校修学資金(修学準備金３万円、介護実習費３万円、受験対策費４万円、就職準備金 20 万円)

福祉系高校に在学する者に対し、介護実習費等の貸付を実施

オ　所在不明者の調査(住民票調査)の実施(21 件)

	R6 貸付実績	累計	償還免除(累計)	返還(累計)
修学資金	104 人 79,521 千円	1,446 人 1,102,473 千円	485,341 千円	94,566 千円
実務者研修	73 人 12,927 千円	489 人 83,207 千円	30,231 千円	3,323 千円
再就職準備金	50 人 20,000 千円	369 人 147,020 千円	74,586 千円	6,909 千円
障害分野	2 人 400 千円	11 人 2,200 千円	200 千円	0 円
福祉系高校	38 人 5,900 千円	186 人 35,470 千円	472 千円	2,227 千円
返還充当	0 人 0 千円	7 人 1,890 千円	0 円	0 円

(2) 保育士修学資金等貸付事業

ア 保育士修学資金(修学資金 月５万円以内、入学・就職準備金各 20 万円以内)

保育士養成施設に通う学生に対し、授業料等の貸付けを実施

イ 保育補助者雇上費(年 2,953 千円以内)

保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の一部について貸付けを実施

ウ 保育料の一部(月 27 千円以内の実費)

未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の保育施設利用料の一部について貸付けを実施

エ 就職準備金(20 万円以内)

潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際の就職準備金の貸付けを実施

オ　子どもの預かり支援事業利用料金の一部(年 123 千円以内)

未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の預かり支援に関する事業所を利用した場合の利用料金の一部について貸付けを実施

カ　所在不明者の調査(住民票調査)の実施(6 件)

・県内の介護施設等への有資格者の就職促進と定着に寄与した。

・保育人材の確保及び保育士の処遇や労働環境の改善に寄与した。

・施設入所児童等の自立に寄与した。

・施設退所者等の退所後の安定した生活基盤の確立に寄与した。

	R6 貸付 実績	累計	償還免除 (累計)	返還 (累計)
修学 資金	394 人 270,952 千円	3,784 人 2,697,386 千円	204,768 千円	180,520 千円
保育 補助者	1 人 2,592 千円	61 人 140,293 千円	126,045 千円	8,703 千円
保育料 の一部	34 人 5,264 千円	436 人 64,317 千円	50,313 千円	663 千円
就職 準備金	24 人 9,600 千円	458 人 175,585 千円	151,557 千円	5,628 千円
預かり 保育	0 人 0 千円	9 人 262 千円	233 千円	0 千円

・ひとり親家庭の経済的自立や看護師等の人材確保に寄与した。

(3)　児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

児童養護施設等を退所し、就職または進学した児童等に対する家賃相当額や生活費や資格取得費の貸付

ア　生活支援費（月５万円以内）

イ　家賃支援費（１月当たりの家賃相当額）

ウ　資格取得支援費(25 万円以内)

エ　所在不明者の調査(住民票調査)の実施(7 件)

	R6 貸付 実績	累計	償還免除 (累計)	返還 (累計)
生活支援費	9 人 5,000 千円	44 人 23,380 千円	1,100 千円	550 千円
家賃支援費	8 人 3,168 千円	50 人 11,109 千円	1,742 千円	552 千円
資格取得	3 人 750 千円	23 人 5,683 千円	2,210 千円	0 円

・訪問介護職員の資質向上につながった。

(4) ひとり親家庭訓練促進資金貸付事業

ア　入学準備金(50 万円以内)・就職準備金(20 万円以内)

高等職業訓練促進給付金を活用し、看護師等の就職に有利な資格を取得するため養成機関に入学し卒業後その資格を利用し就労自立を目指すひとり親について、入学準備金・就職準備金の貸付けを実施

イ　住宅支援資金(月４万円以内の実費)

母子父子自立支援プログラムを策定し、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、住宅支援資金の貸付けを実施

	R6 貸付 実績	累計	償還免除 (累計)	返還 (累計)
入学 準備金	3 人 1,500 千円	118 人 59,000 千円	15,100 千円	3,540 千円
就職 準備金	9 人 1,800 千円	101 人 20,200 千円	9,360 千円	40 千円
住宅 支援	14 人 5,812 千円	128 人 55,394 千円	35,195 千円	1,503 千円

7　県ホームヘルパー連絡協議会の事務受託 (1)　全体研修会の開催 ・第９期介護保険制度改正　介護報酬改定の概要と訪問介護事業の展開　7/29～8/18 配信　40 人 (2) 一般研修会の開催 ア　サービス提供上の留意点と苦情対応のポイント 8/26～9/16 配信　35 人 イ　口腔を健康に保つケアの基本と歯科医療専門職との連携 9/24～10/14 配信　25 人 ウ　障がいの特性と対応　11/8（シズウエル）16 人 エ　体に優しい介護技術　12/9（シグマカレッジ静岡校）14 人 (3) サービス提供責任者研修会の開催 ア　訪問介護事業所における BCP 作成後の検証等の仕方 6/21～7/15 配信　54 人 イ　訪問介護計画の作成技法とモニタリングの方法 12/16～1/13 配信　34 人	 第４回一般研修会 （12/9）
8　福利厚生センターの事務受託 ア　業務推進委員会の開催　3/12 イ　会員交流事業及び地域開発メニューの実施（51 事業） ウ　会員加入等促進活動の実施	・施設職員の職務に対する意欲向上と職場定着率の向上に寄与した。

推進事項２　福祉業界・仕事の魅力発信

将来の福祉・介護従事者の確保を目的として、小、中、高校生を対象に福祉・介護職のイメージアップを図るための出前講座（セミナー）や体験ツアーを実施するとともに、一般的に持たれている福祉・介護の仕事に対する漠然とした不安やイメージを払拭できるよう、ＷＥＢ広告・ＳＮＳ等を利用した広報により福祉・介護職の魅力発信を行い、効果的に福祉人材の確保につなげた。

事業の実績	効果・評価
1　福祉・介護の仕事への若年層や教員、保護者等への理解促進 (1)　福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施 ア　福祉・介護の仕事への興味や関心、理解を深める学校出前講座 186 回　（小学校 94 回、中学校 63 回、高校 29 回）	・介護等の福祉人材の安定的な確保に寄与した。 ・保護者の福祉の仕事に対するネガティブなイメージの払拭に寄与した。 ・ 福祉・介護職場のイメージアップにつながった。

校種別	種別	申込数		実施数		ｷｬﾝｾﾙ	
		校数	回数	校数	回数	校数	回数
小学校	公立	51	94	51	94	0	0
	私立	0	0	0	0	0	0
	計	51	94	51	94	0	0
中学校	公立	27	61	26	59	1	2
	私立	2	4	2	4	0	0
	計	29	65	28	63	1	2
高　等 学　校	公立	6	21	6	21	0	0
	私立	3	8	3	8	0	0

磐田市立南部中学校
（令和６年７月４日）

<table>
<tr><td>
<table>
<tr><td></td><td>計</td><td>9</td><td>29</td><td>9</td><td>29</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>89</td><td>188</td><td>88</td><td>186</td><td>1</td><td>2</td></tr>
</table>
イ　セミナーの内容向上のための講師意見交換会（2/25）
(2)　保護者向け啓発資料の作成、配付
保護者向け啓発パンフレット「人の暮らしを支える福祉の仕事」10,000 部作成
</td><td>

保護者向け啓発パンフレット
</td></tr>
<tr><td>
2　福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施
福祉のしごと学び体験ツアー
施設見学や職員講話、利用者との交流を通じて福祉の仕事の魅力とやりがいを発信
方法　バスツアー型　各地区２法人を訪問
内容　施設見学や福祉体験を実施した。
対象　中学生・高校生・保護者・教員等　50 人
会場　沼津　8/2　14 人(福)あしたか太陽の丘、(福)駿河厚生会
静岡　7/31 21 人　(医)博恵会　(福)まごころ
浜松　8/7　15 人　(福)ほなみ会　(福)七恵会
</td><td>
・参加者の福祉や福祉の仕事に対するイメージがポジティブなものとなった。
</td></tr>
<tr><td>
3　ＷＥＢサイトやＳＮＳによる広報・啓発の推進
(1)　広報（新聞、テレビ等）の実施
(2)　リーフレット(Job-note)の発行 5000 部
(3)　社会福祉アクセスガイドの発行 2000 部
(4)　利用の手引きの発行　2000 部
(5)　求人の手引きの発行　800 部
(6)　社会福祉人材センター年報の発行　200 部
(7)　福祉・介護の仕事イメージアップ冊子の発行　6000 部
(8)　ホームページの充実
(9)　ＷＥＢ広告の実施
</td><td>

福祉・介護の仕事イメージアップ冊子「みんなのふくし」
</td></tr>
</table>

推進事項３　質の高い人材の育成支援

福祉職場の人手不足が深刻化している中、福祉サービスの担い手の確保と定着を図るため、現に福祉職場に従事する方の資質向上と併せ、就労環境の改善が急務となっている。そこで、福祉・介護職員を対象とした外部研修実施機関として、階層別・テーマ別の研修会を、研修内容に適した方法（集合開催、オンライン（ライブ配信・録画配信）開催）で開催するとともに、人材育成の基本となる事業所内での充実した職員研修の実施を支援した。

事業の実績	効果・評価
1　研修の体系化及び効率性の向上 福祉・介護職員に必要とされる組織力・専門技術力・人間力の習得のため、研修を開催	・福祉サービスの質向上や職員の職場定着に寄与した。 ・オンライン研修により、遠方事

(1)　研修体系に基づいた研修 ア　62 種 96 本の研修　受講者 3,463 人 ・集合 47 本 1,827 人、ライブ配信 32 本 1,012 人 録画配信 17 本、624 人 ・満足度 99.1%（満足 81.8%、やや満足 17.3%） イ　積極的な研修広報の展開 ・研修情報を希望する社会福祉施設等へ毎月電子メールで情報提供　1,470 施設等以上 ウ　ＬＩＮＥ公式アカウントの運用 ・個人あてに研修情報を提供　380 人以上	業所職員や変則勤務職員等の受講の機会を創出した。
(2)　事業所内の人財育成の支援 ア　他の事業所の研修担当者との情報共有の場「研修担当者意見交換会」を無料研修として開催 イ　施設・事業所のニーズに応じた講師の紹介	・効果的な職場内研修の企画・実施研修につながる。
(3)　研修体系の見直し 研修ニーズ調査 ・事業所等に対し、研修参加の状況・ニーズの聞き取り調査を実施	・研修内容の更なる充実を図り、受講しやすい開催方法の検討・見直しに結びついた。
 研修風景（集合研修・実技）	 研修風景（オンライン研修）

基本目標３　災害福祉支援体制づくり

実施目標１　災害に備えた支援体制を構築します

推進事項１　静岡県災害ボランティア本部・情報センターの機能強化

県内全域を対象にボランティア活動の支援を行う広域拠点として、市町災害ボランティア本部が円滑に機能するよう、人材育成、活動資機材の整備、情報発信拠点及び県行政等関係機関・団体との連携体制の強化を図った。

事業の実績	効果・評価
１　本会職員の人材育成 (1)　職員向け研修動画の作成 (2)　ＳＮＳ等を使った情報発信トレーニングの実施 (3)　県社協災害対応マニュアルに基づく初動訓練実施	・本会職員が本部運営のイメージを共有でき、迅速な初動対応が期待できる。
２　活動用機器（資機材）の配備と保守点検 (1)　設置資機材を活用した稼働訓練と保守点検 (2)　社会福祉法人慶成会（浜松市中央区）への設置及び新規設置拠点の検討（赤い羽根助成金事業）	・災害応急対応力の向上に寄与した。

3　県本部・情報センターの体制整備 (1)　支援協定に基づく平時の取組の実施 (2)　支援協定の年次確認の実施 (3)　県本部・情報センターHP 内の市町別サイトの随時更新 (4)　災害福祉支援センターに関する情報収集 (5)　災害支援活動を行う県域団体との情報交換会開催(2/18)	・災害応急対応力の向上に寄与した。
4　県本部マニュアルの更新 ア　県災害ボランティア本部・情報センターの機能を考える会議の開催（12/26） イ　マニュアルの更新	・マニュアルの実行性を向上の寄与している。

県災害 VC 本部・情報センター
HP・市町別サイト

災害ボランティア活動用
機器整備事業【浜松市中央区】
（赤い羽根助成事業）

推進事項２　静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化及び社会福祉事業者の防災対策支援

県・市町の災害対策本部と連携し、地域の要配慮者を支援する「静岡県災害福祉広域支援ネットワーク」の強化を図るため、「静岡ＤＷＡＴ」登録員のスキルアップ、事務局体制の強化、受援体制の構築及び他の専門職チームとの連携体制の構築を図った。

事業の実績	効果・評価
1　災害派遣福祉チームの体制強化 (1) ネットワーク構成団体による会議の開催（3/17 20 人） (2) 静岡 DWAT 登録員養成研修の開催（8/27、9/13 修了 5 人） (3) スキルアップ研修の開催（12/17 68 人） (4) 支部別勉強会の開催 東部 1/9 23 人、中部 1/10 17 人、西部 1/20 21 人 (5) 能登半島地震における静岡ＤＷＡＴ派遣者振り返りの会 6/17　19 名人、6/24　18 人 (6) 医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会の開催等 ・連絡会 10/11 14 人 ・県総合防災訓練における福祉避難所開設・移送支援訓練 11/2 8 人	・出前講座の依頼が急増し、ＤＷＡＴの周知と登録員のモチベーション向上につながった。 ・各支部からの提案によるイベント出展等、支部活動が展開された。 ・多くの職種に災害派遣福祉チームが周知された。

(7) 県内３地域における支部活動(外部団体訓練参加等)の推進
・西部支部(西部圏域)：浜松防災フェア出展 6/16
・東部支部(富士圏域)：段ボールベッド組立訓練 7/29
・中部支部(静岡圏域)：机上訓練(派遣要請対応外) 8/22
・西部支部(中東遠圏域)：福祉避難所開設訓練、呼吸器電源確保等 (10/29)
・東部支部(富士圏域)：ふじ bousai への出展 11/16
・中部支部(静岡圏域)：福祉避難スペース設営、アセスメント訓練 12/14
(8) 広域相互支援ネットワークの構築
全国会議への参加 11/13
２ 要配慮者支援の理解促進
(1) 静岡 DWAT 出前講座の実施 46 回
(2) 職能団体、種別協等との合同研修会の開催
外部団体訓練への参加等 ６回 ※再掲
(3) 静岡 DWAT 啓発用展示パネル貸し出し事業の実施 ５回

３ 令和６年能登半島地震における登録員派遣
・1.5 次避難所(金沢市)への登録員派遣
R6/3/31(移動日)～5/2 延べ 17 法人 18 名(90 人日)
※令和５年度からの通算派遣実績
期間 R6/1/8～3/1 及び 3/31～5/2
派遣先 七尾市・志賀町・金沢市(1.5 次避難所)
派遣数 延 59 法人、80 名(337 人日)(実数：37 法人 69 人)

４ 個別避難計画(災害時ケアプラン)作成事業
(1) 市町における計画作成支援
・前期意見交換会の開催 7/3(東部①)、7/9(東部②)、7/10(西部)、7/30(中部)、8/2(賀茂)
・市町個別ヒアリングの実施 9～10 月、計 13 日間 26 市町
(2) 市町行政(福祉部局、防災部局)向け研修会の開催
・兵庫県社会福祉士会主催研修のオンライン受講 70 人
(3) 福祉専門職(ケアマネ、相談支援員等)向け研修会の開催
・兵庫県社会福祉士会主催研修のオンライン受講 36 人
(4) 相談・講師対応及び専門家派遣事業の実施【新規】
・牧之原市、湖西市、御前崎市、森町等に派遣 計 10 回
(5) 個別避難計画取組報告会の開催 2/25 97 人
・全体会講師 (一社)兵庫県社会福祉士会事務局長
・全体会事例報告 牧之原市、湖西市
・分科会事例報告 小山町、掛川市、西伊豆町
(6) 広報ツールの作成
・実践事例映像制作(牧之原市)
・住民向けチラシ(5,000 部)及び作成の手引き(500 部)
・令和６年度 35 市町取組報告書(300 部)

登録員養成研修(静岡県立大学短期大学部)

・計画作成方法等の理解が進み、計画作成数が増加した。

個別避難計画取組報告会(静岡市・グランシップ)

実施目標２　災害時の市町社協を支援します

推進事項１　市町社協運営支援

「被災地に対する社協ネットワークの役割と支援の提案」（全社協作成）を進め、災害時の連絡体制の整備や社協間のネットワークを活かした効果的な支援のあり方を検討するとともに、ＢＣＰ（事業継続計画）の策定など、提案に沿った体制づくりを支援した。

災害時には社協ネットワークを駆使し、災害支援活動に専念できるよう、スーパーバイズ機能、コーディネート機能、代替機能を発揮した支援活動を行った。

事業の実績	効果・評価
１　災害時相互支援協定に基づく職員派遣の円滑化 (1)　6 月 18 日の大雨による沼津市災害ボランティアセンターへの職員派遣【再掲】（赤い羽根助成金事業） 派遣人員：県社協 4 人(5 人日)、市町社協 4 社協 8 人(11 人日) (2)　令和６年能登半島地震に対する石川県内市町災害ボランティアセンターへの職員派遣【再掲】 派遣地域：七尾市、能登町、珠洲市 派遣人員：県社協 11 人(65 人日)、市町社協 23 社協 67 人(467 人日) (3)　県本部立上げ、市町災害ＶＣと連携した訓練の実施	・被災地支援を円滑に実施した。 ・円滑な被災者支援の実施に資する。 ・市町支援チームの体制強化と運営財源の確保に寄与した。
２　県災害ボランティア本部・情報センターの体制整備 (1)　県本部立上げ訓練と連動した実践的な訓練の実施 (2)　外部からの受援に対する検討 (3)　運営財源確保に関する要望の継続 (4)　県、県ボランティア協会との検討会の実施 ３　市町社協災害ボランティア担当者研修・会議の実施 (1)　災害対応研修会の実施（11/7） (2)　災害ボランティア担当者会議の開催（11/25） (3)　県下社会福祉協議会被災者中心の支援力強化研修【新規】 第１回 7/10 72 名、第２回 1/14 31 名（赤い羽根助成金事業） ４　市町社協ＢＣＰ策定支援研修会の実施 オンライン開催（1/17）及び後日配信（１か月間）	・災害支援力の向上につながっている。 第 2 回県下社会福祉協議会被災者中心の支援力強化研修（赤い羽根助成事業）

推進事項２　被災者への生活支援

市町社協とともに、日常生活自立支援事業や生活福祉資金貸付事業、介護保険事業等において、大規模災害発生時に支援が必要な被災者に対する支援方策を検討し、被災者の生活支援活動の核となる市町社協の体制整備を図った。

事業の実績	効果・評価
１　円滑な生活福祉資金(特例貸付)の実施 災害時等の貸付けの特例措置に関する協定に基づく協定機関連絡会の実施及び実施体制・方法の検討	・全市町社協で災害時の事業運営が円滑に展開できる体制を構築につながってい

２　日常生活自立支援事業の利用者への支援の検討 (1)　運営マニュアルに基づいた訓練の実施（1 回） (2)　災害ＶＣと他事業との連携検証（随時） ３ 介護保険サービス利用者への支援の検討 サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備の検討	る。

基本目標４　地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標１　組織・経営強化を図ります

推進事項１　組織体制の強化

会員向けセミナーを開催するとともに、県社協ホームページや広報誌等により会員募集の広報を行い、加入促進を図った。

決算分析をもとに職員が経営課題を共有するとともに、債券及び大口定期預金の効果的な運用による収益の確保に努め、経営基盤の安定化を図るともに、職員によるシステム構築、AI ツールの活用などによる経費削減・業務効率化の推進を図った。

静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理・運営については、静岡県から、静岡ビル保善株式会社との共同事業体として、令和６年度から５年間の指定管理を受け、入居団体や利用者の安心と満足を提供できる管理と運営に努めた。

事業の実績	効果・評価
１　会員サービスの充実 (1)　会員向け研修「新時代の働き方改革応援セミナー」10/23 テーマ「働き方改革や育児・介護休業法改正への対応」 講師 社会保険労務士　参加 39 人及び後日配信 (2)　会費納付方法の改善 ア　金融機関の振込手数料値上げに伴い、手数料が相対的に安価なインターネットバンキングやＡＴＭによる納付を会員に周知し、会費納付振込依頼書の送付を中止 イ　会費納付の利便性向上を図るため、従前１行１店であった収納金融機関を５行５店に拡大	・会員への労務情報の提供及び会費納入の利便性向上に寄与した。
２　未加入事業所、賛助会員の加入促進 (1)　県社協 HP トップページへの会員募集バナーの設置、広報誌への掲載による募集 (2) 企画戦略会議（組織経営強化委員会）における検討	・会費収入の増加が期待できる。
３　連絡協議会、部会、委員会活動の充実 (1) 市町社協連絡協議会、社会福祉団体連絡協議会の運営（再掲） (2) 部会（介護保険・広報啓発・総務部会）、事業別委員会の開催（再掲） ・総務部会：幹事会（10/16　５名）、全体会（11/20　43 名）を実施 総務部門の課題と対応状況をグループワーク形式で協議・検討 外部講師による「電子帳簿保存法への対応」に係る講義 (3) 企画調査委員会の開催　第１回　9/27、第２回　1/24 第六次活動推進計画についての骨子及び構成、推進体系等の協議。	・意見の中期計画、年度計画に反映できた。 ・電子帳簿保存法対応の徹底が図られた。

4　事務組織体制、ガバナンスの強化 (1) 組織体制の在り方についての職員アンケートの実施 (2) 日常的な事務処理の効率化を図るためのDX化の推進 ・県社協・市町社協間の福祉クラウドシステム構築 ・AI議事録作成サービスの導入 ・電子取引書類の保存システムの構築 ・企画戦略会議の開催 目的:県社協の組織の在り方検討、プロパー職員の将来に対する自覚と責任感の涵養　(隔月開催)	・法令順守の徹底、事務の効率化、事業の可視化に寄与した。
5　理事会・評議員会の運営 【理事会の開催】 第229回 6/7 1　議題 (1) 理事候補者選定 (2) 評議員候補者選定 (3) 評議員選定委員会委員選任 (4) 重要な役割を担う職員の選任及び解任 (5) 令和５年度事業報告 (6) 令和５年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支決算 (7) 令和６年度６月一般会計資金収支補正予算 (8) 第187回評議員会の招集 2　報告事項 (1) 外部監査の実施結果 (2) 令和５年度会長及び常務理事の職務執行状況 (3) 令和５年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果 (4) 令和５年度静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等 (5) 生活福祉資金特例貸付の実施状況 (6) 生活福祉資金特例貸付に係る会計検査院実地検査 (7) 令和６年能登半島地震への本会対応 第230回 10/22 1　議題 (1) 令和６年度11月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 (2) 令和６年度第２回（第188回）評議員会の招集 2　報告事項 (1) 令和６年度上半期事業執行状況 (2) 令和６年度上半期会長及び常務理事の職務執行状況 (3) 生活福祉資金特例貸付の実施状況 (4) 令和６年能登半島地震及び令和６年奥能登豪雨に係る本会の対応 (5) 令和５年度決算分析 (6) 報道等で見る静岡県社協 書面　12/9 1　議題	・県社協や地域が抱える課題や重要事項等の審議による、県社協事業の円滑な遂行と的確な地域福祉施策の推進が図られた。

(1) 静岡県社会福祉協議会職員給与規程の一部改正 (2) 静岡県社会福祉協議会役員等報酬規程の一部改正 (3) 静岡県社会福祉協議会評議員会の招集 第 231 回　3/11 1　議題 (1) 令和６年度３月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 (2)　第六次活動推進計画 (3)　令和７年度事業計画 (4)　令和７年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算 (5)　諸規程の改正 (6)　評議員選定委員会委員の選任について (7)　令和６年度第３回(第 189 回)評議員会の招集 2　報告事項 (1)　第五次活動推進計画総括評価報告 (2)　生活福祉資金特例貸付の実施状況 (3)　令和７年度理事会・評議員会等の日程 【評議員会の開催】 第 187 回 6/24 1　議題 (1)　理事選任 (2)　令和５年度事業報告 (3)　令和５年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支決算 (4)　令和６年度６月一般会計資金収支補正予算 2　報告事項 (1)　評議員選任結果 (2)　外部監査の実施結果 (3)　令和５年度会長及び常務理事の職務執行状況 (4)　令和５年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果 (5)　令和５年度静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等 (6)　生活福祉資金特例貸付の実施状況 (7)　生活福祉資金特例貸付に係る会計検査院実地検査 (8)　令和６年能登半島地震への本会の対応 第 188 回 11/7 1　議題 (1)　令和６年度 11 月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 2　報告事項 (1)　令和６年度上半期事業執行状況 (2)　令和６年度上半期会長及び常務理事の職務執行状況 (3)　生活福祉資金特例貸付の実施状況 (4)　生活福祉資金特例貸付に係る会計検査院の意見表示 (5)　令和６年能登半島地震及び令和６年奥能登豪雨に係る本会の対応	

(6)　令和５年度決算分析 (7)　報道等で見る静岡県社協 書面 12/23 １　議題 (1)　静岡県社会福祉協議会役員等報酬規程の一部改正 第 189 回 3/26 １　議題 (1)　令和６年度３月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 (2)　第六次活動推進計画 (3)　令和７年度事業計画 (4)　令和７年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算 ２　報告事項 (1)　第五次活動推進計画総括評価報告 (2)　諸規程の改正について (3)　評議員選定委員会委員の選任結果 (4)　生活福祉資金特例貸付の実施状況 (5)　令和７年度理事会・評議員会等の日程 【評議員選定委員会の開催】 第１回 6/14 １　議題 (1) 評議員選任　１名 【監事監査の実施】　5/22	
６　任意監査の実施 (1) 決算書類等に関する任意監査（5/15､16） (2) 出納業務等に関する任意監査（11/11､12） (3) 予算執行等に関する任意監査（2/12､13）	・会計の適正な執行と事業運営の透明性が担保されている。
７　政策提言の実施 静岡県に対する提言活動 (1) 県知事との面談(9/2) 出席者　知事、健康福祉部長他　　会長及び副会長 内　容　地域福祉に関する提案 地域共生社会の実現、福祉人材の確保、災害対策支援の強化 (2) 県健康福祉部長との福祉団体との懇談会(8/20) 出席者　県健康福祉部長ほか、会長及び各県域福祉団体（33 団体） 内　容　県内各社会福祉団体から、取組・課題を説明	・地域福祉の現状と課題ついての認識共有に寄与した。
８　総合社会福祉会館防災訓練、県社協災害対策本部立ち上げ訓練の実施 (1) 情報伝達訓練　　4/22（県社協職員・会館入居団体職員） (2) 総合社会福祉会館防災訓練 第１回 8/29 149 人(一部 9/11 33 人)、第２回 2/17 147 人	・職員の防災意識高揚、避難経路の確認、防災設備操作の習熟に

①県社協職員・会館入居団体職員の実働避難 ②本部と本部隊各班長、各階隊班長のトランシーバー連絡 ③イーバックチェア操作、救助袋操作降下、消火栓操作、発電機操作等 ＊外壁工事のため、第２回は救助袋操作降下及び消火栓操作未実施 (3) 県社協災害対策本部の立ち上げ訓練の実施 ・8/29・2/17 防災訓練において実施、 ・県社協事業継続計画、各業務班の活動マニュアルを確認	効果があった。 ・県社協事業継続計画に基づく各業務班の活動内容の確認に寄与した。
９　県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理・運営 (1) 静岡ビル保善株式会社との共同事業体として、静岡県から令和６年度から５年間の指定管理を受け、会館の指定管理業務を実施 ア　指定管理業務 ①会館入居団体、利用者の調整 ②社会福祉に関する周知・啓発 ③防災対策及び災害発生時の危機管理体制構築 ④会議室等の使用承認等 ⑤利用料金の設定及び収受 ⑥会館の維持管理 イ　利用実績（７年３月末現在） ・有料会議室（10 室　うち１室は、展示ギャラリー兼用） 2,527 件利用、利用人数 74,565 名、利用料金収入　12,680,650 円 ・その他の施設（７施設、32 入居団体）累計 6,533 件、204,492 名利用 ウ　接遇研修 新任者等 6/17 13 名、受講経験者６/25 13 名　計 26 名 エ　普通救命研修（11/27）実施 心肺蘇生法、自動体外式除細動器の取扱等　受講者 12 名 オ　フェスタシズウエル 2024 開催（8/24）　来館者 708 名 目的　会館及び会館入居団団体(業務)の認知度向上 カ　会館指定管理評価委員会（8/28） 令和５年度の会館運営の評価を実施	・入居団体や利用者の安心と満足を提供できる管理と運営の推進に寄与した。

推進事項２　経営基盤の強化

限られた財源を有効活用するため、財政の効率化と改善を推進し、財政基盤の強化を図った。

事業の実績	効果・評価
１　新たな自主財源収入の検討・獲得 (1) 県共同募金会と連携した寄付金の活用 (2) 大口定期預金開設による利息収入確保	・収入の増加に寄与した。
２　経常経費の見直しによる支出削減 (1) 財務分析の実施 他都道府県社協との決算比較に基づく財務分析実施 理事会・評議員会で報告するとともに、職員が経営課題を共有 (2) 日常的な支出削減の取組	・計画的な財務執行の推進に寄与した。

振込から引落への変更、印刷・コピー部数の精査 等 (3) エコジョブ運動の実施による事務改善 クラウドサービス、AI ツールの活用、養成校での就職フェア開催、講師最寄り社協等からの Zoom による研修実施　等	
3　業務システムの構築及び運用改善の取組 (1) 会計、謝金、給与等の運用改善 (2) 旅費システムの全面的見直し作業	

推進事項３　広報力の強化

県内の地域共生づくりに向けた先駆的な取組や地域特性を反映した取組などの最新情報を収集し、職員一人一人が高い意識を持ち、福祉情報を届ける客体を認識しながら、様々な媒体を活用した広報・情報提供の取組を進めた。

また、本会の事業理念を積極的に広報し、本会の認知度を高めた。

事業の実績	効果・評価
1　福祉情報の発信強化するための取組 (1) ホームページの充実及び積極的な活用促進 (2) 広報力強化を検討する場の設置 (3) 県社協パンフレットによる広報 (4) 機関紙「むすぶつなぐ」（社会福祉しずおか）の発行 ・年間８回（奇数月、４月、10 月）　各 11,300 部 (5) 実用性の高い情報発信の研修実施	・県社協ホームページの地域共生社会づくりのポータルサイトとしての機能発揮につながった。 ・県社協の認知度向上に寄与した。

実施目標２　「人財」育成を図ります

推進事項１　安心して働ける職場づくり

安心して長く働くことのできる職場づくりのため、長時間労働の是正や年次有給休暇の取得推進のための取組を行った。

また、本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるよう働きやすい職場環境を整備した。併せて、県社協職員として目指すべき職員像や具体的な行動目標について、役職、階層、雇用形態ごとに明文化し、知識や技術の向上に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
1　働きやすい職場環境づくり (1) 長時間労働の是正や年次有給休暇・夏季休暇等の取得推進の取組 (2) 育児短時間勤務、時差出勤など、育児・介護等のライフスタイルに合わ　せた多様な働き方の推進 (3) ハラスメント相談員の配置 (4) 職員福利厚生事業 ・職員健康診断（年１回実施） ・人間ドック助成（35 歳以上 65 歳未満） ・県派遣職員人間ドック事業 ・インフルエンザ予防接種助成	・職員のワーク・ライフ・バランスの向上及び職場環境、労働環境の改善、ストレス軽減、健康保持に寄与した。

・衛生委員会（根拠：労働安全衛生法） ・ストレスチェックの実施・面接指導の実施 ・福利厚生事業者の利活用	
２　計画的な職員採用と人材育成の仕組みづくり (1) 計画的な職員採用 (2) 教育体制の充実 ・目指すべき職員像、行動目標を作成 ・正規職員の組織的な人材育成として、キャリアパス制度を構築中 ・新規採用職員向け研修の実施（4/2、4/5　6 人） ・生涯研修課程の計画的受講（初任者コース２名、中堅コース２人） ・スキルアップ研修制度の継続実施（3 分野 12 コース　延 32 人） 本会研修課で実施する研修のうち、社協職員として特に受講してほしい内容を推奨研修として指定し、一人１研修の受講を推奨 (3) 外部研修の受講管理（新採・中堅・管理職員等） ・職員研修計画に基づく研修の受講の一覧管理 (4) 専門研修（テーマ別）への参加 ・全社協会計実務講座受講(入門・初級コース 2 人、中級コース 1 人) (5) 外部からの依頼による講師の派遣 職員の説明力向上、人的ネットワーク構築の観点から、ＤＷＡＴ、災害ボランティアセンター運営等についての他県社協や県内外市町社協からの講師派遣要請に積極的に対応 〔派遣例〕 ・全国社会福祉協議会　都道府県・指定都市社会福祉協議会　部課長・所長会議 ・全国社会福祉協議会　都道府県・指定都市社会福祉協議会災害ボランティアセンター担当者連絡会議 ・北海道災害派遣福祉チーム(DWAT)リーダー研修 ・あいち災害ボランティアセンター運営システム研修 ・岩手県社会福祉協議会地域福祉推進トップセミナー ・安城市社会福祉協議会地域福祉活動者勉強会　　等	・安定的な人材の確保に寄与した。 ・新規採用職員等の資質向上に寄与した。

事業報告の附属明細書

役員・評議員・事務局職員・受託団体の状況

令和７年４月１日現在

１　役員、評議員　（単位：人）

理　事 （定数１６）	会　　長	１
	副 会 長	３
	常務理事	１
	その他理事	１１
	計	１６
監　事　（定数　３）		３
評議員　（定数２６）		２６

２　職員　（単位：人）

区　　分	令和５年度		令和６年度				令和７年度	
	年度末現在	年度末退任等	当初採用	年度当初現在	年度末現在	年度末退任等	当初採用	年度当初現在
職　　員	30 (1)	△2 (0)	＋２ (0)	30 (1)	30 (0)	△1 (0)	0 (0)	29 (0)
専任職員	12 (0)	△1 (0)	0 (0)	11 (0)	11 (0)	0 (0)	＋１ (0)	12 (0)
嘱　託　員	3 (0)	△2 (0)	＋１ (0)	2 (0)	2 (0)	△2 (0)	＋１ (0)	1 (0)
嘱託事務員	15 (0)	△3 (0)	＋２ (0)	14 (0)	15 (0)	△2 (0)	＋５ (0)	18 (0)
嘱託事務員 [再雇用]	4 (0)	0 (0)	＋１ (0)	5 (0)	5 (0)	△2 (0)	0 (0)	3 (0)
臨時事務員	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
合　計	66 (1)	△8 (0)	＋６ (0)	64 (1)	65 (0)	△7 (0)	＋７ (0)	65 (0)

※１　職員数は、本会が採用している実数（育児休業者を含み、市社協からの派遣職員除く）

※２　（　）は産休・育休者数で内数

※３　区分の項目における「職員」は、プロパー職員と県派遣職員の合計

事務受託団体一覧

団体名	担当課
静岡県社会福祉法人経営者協議会	経営支援課
福利厚生センター静岡事務局	経営支援課
静岡県里親連合会	経営支援課
静岡県肢体不自由児協会	経営支援課
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	経営支援課
静岡県民生委員児童委員協議会	地域福祉課

会員状況一覧（令和７年３月末現在）

分　類	種　　別	会員数	分　類	種　　別	会員数
生活保護施設	救護施設	7	障害者福祉施設	就労移行支援	3
	宿所提供施設	0		就労継続支援	115
	医療保護施設	1		障害者支援施設	68
	計	8		共同生活援助	35
児童福祉施設	児童発達支援事業所	8		計画相談支援	1
	放課後等デイサービス	31		地域活動支援センター	9
	保育所	284		福祉ホーム	2
	へき地保育所	2		身体障害者福祉センター	3
	小規模保育所	8		障害者就業・生活支援センター	1
	認定こども園	186			
	事業所内保育所	2		計	237
	乳児院	4	婦人保護施設	婦人保護施設	1
	母子生活支援施設	3		計	1
	児童養護施設	12	社会福祉一般施設	無料低額宿泊所	2
	児童心理治療施設	1		無料低額診療施設	0
	児童自立支援施設	1		計	2
	児童家庭支援センター	1	社会福祉協議会・団体	市町社会福祉協議会	35
	福祉型障害児入所支援	10		福祉関係団体等	92
	医療型障害児入所支援	4			
	福祉型児童発達支援センター	11		計	127
	児童相談所	2	介護保険等関係事業所	介護保険・障害福祉サービス	192
	計	570		計	192
老人福祉施設	老人デイサービスセンター	199	老健・療養病床	介護老人保健施設	60
	小規模多機能型居宅介護事業所	15		介護療養型医療施設	12
	複合型サービス事業所	7		介護医養院	3
	特別養護老人ホーム	237		病院	2
	養護老人ホーム	23		計	77
	軽費老人ホーム	37	個人会員	民生委員・児童委員等	6,939
	有料老人ホーム	32		計	6,939
	サービス付き高齢者向け住宅	2	賛助会員	首長・議長	44
	老人福祉センター	15		団体	5
	老人介護支援センター	5		企業	60
	認知症高齢者グループホーム	56		個人	26
	地域包括支援センター	8		計	135
	計	636	合　　計		8,924

令和６年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金

地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業

＜地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業＞

（単位：円）

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	磐田市	音訳ボランティアふきのとう	194,000	円滑で迅速な録音物作り
2	伊豆の国市	にほん語かいわ会	200,000	外国人と地域の共生事業
3	富士宮市	NPO 法人ぴくにっく	200,000	高齢ドライバー安全運転教室の開催
4	三島市	NPO 法人リベラヒューマンサポート	170,000	不登校児童生徒・障がい児・者のコラボキャンプ事業
5	静岡市	はぴしず（静岡 HSC の会）	200,000	ＨＳＣちゃん交流会
6	磐田市	自由造形ワークショップ　いたずら工房	155,000	親子表現活動事業
7	静岡市	NPO 法人静岡団塊創業塾	49,619	社会参加の準備の為の定年前講座
8	湖西市	ボランティア　里いもの会	130,000	ボランティア　里いもの会
9	長泉町	HANPO 隊	200,000	キャリアを活かした環境整備とやりがい発見
計			1,498,619	

＜地域福祉・ボランティア活動等推進助成（先駆的）事業＞

（単位：円）

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	三島市	NPO 法人森のようちえん･太陽と緑の風クラブ	500,000	みんなのれいぞうこｉｎみしま
計			500,000	

＜セルフヘルプ活動支援事業＞

（単位：円）

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	伊東市	筆談・要約筆記サークル「みかん」	161,000	筆談サロン
2	富士市	SCD･MSA 東部	127,000	医療講演会
3	静岡市及び県東部	静岡こども気切の会	200,000	静岡こども気切っ子をすくすく育てる事業
4	静岡市	Talk space	53,000	がん患者おしゃべりサロン開催と患者支援
5	静岡市	竹の子の会　静岡支部	187,000	令和６年度プラダー・ウィリ症候群勉強会
6	静岡市	静岡市肢体不自由児保護者家族のサロン　ハナソ	170,000	ヒュッゲな地域へ！ハナソ発共生社会づくり
7	島田市	ケア研究所	130,000	障害者のためのソーイングワークショップ
計			1,028,000	

＜しずおかの居場所助成事業＞

（単位：円）

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	三島市	居場所カフェ　カワバタ	97,000	生の音楽と笑いに満ちた参加型居場所の提供
2	沼津市	任意団体 space for children かけはし	150,000	未来を描くサポート事業
3	沼津市	寄り合い処・かぬき「暖だん」	150,000	寄り合い処・かぬき「暖だん」
4	御殿場市	居場所喫茶「みちくさ」	102,000	居場所喫茶「みちくさ」
5	富士宮市	かよう会	140,000	かよう会活動内容拡充事業
6	静岡市	NPO 法人しずおか共育ネット	87,762	定時制高校でのきゃりこみゅ食堂運営事業
7	牧之原市	休巣	150,000	休巣
8	袋井市	おもと会	135,000	笑顔のつながりひろめよう小野田

9	袋井市	茶ちゃ処	150,000	茶ちゃファーム活用拡大事業
10	磐田市	こどもカフェ　リリオ	94,155	こどもカフェ　リリオ
11	湖西市	居場所・あさひカフェ	150,000	居場所ブラッシュアップ
12	函南町	NPO 法人みやっち	150,000	農業体験を共感しこどもたちの未来をつくる
13	松崎町	石部さろん	150,000	いきいき石部さろん
14	袋井市	あそびば　もこ・あ・もこ	150,000	あそびは　もこ・あ・もこ
計			1,855,917	

＜広域的な防災活動推進助成事業＞

（単位：円）

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	菊川市	社会福祉法人菊川市社会福祉協議会	200,000	近隣市連携による大規模災害被災時対応訓練と災害ボランティアコーディネーター要請講座
2	西伊豆町	社会福祉法人西伊豆町社会福祉協議会	200,000	松崎町・西伊豆町合同災害対応研修会
3	吉田町	社会福祉法人吉田町社会福祉協議会	200,000	志太榛原地区社協災害時広域連携推進事業
4	裾野市	社会福祉法人裾野市社会福祉協議会	200,000	災害時近隣市町連携を目的とした災害ボランティアセンター運営訓練
計			800,000	

＜令和６年度ふじのくに「地域共生」大賞　受賞一覧＞

（単位：円）

ＮＯ	グループ・団体名	活動テーマ	受賞の内容	贈呈額
1	はちくぼ山麓つながプロジェクト実行委員会	農福連携・関係人口との協働から始まった中山間地域共生の邑（むら）づくり	最優秀賞	100,000 映像作成
2	西豊田学区地域支え合体制づくり実行委員会	要配慮者支援を主要テーマに平常時の地域支え合い体制に向け、福祉と防災が融合する住民主体のインクルーシブ防災活動をする。ワークショップやリア HUG の実施	優秀賞	100,000
3	しずおか自主夜間教室	不登校、引きこもり 、外国人、独居高齢者など様々な人々の学びを通じた 居場所づくり	優秀賞	100,000
4	特定非営利活動法人冀北の杜障がい者就労継続支援 B 型事業所きほくのもり★ペンタス	綿栽培の魅力を通じ手紡ぎから SDGs 学習へとつなぐ	優秀賞	100,000
計				400,000

令和６年度みんなで支える地域福祉促進事業一覧

事業区分	名称	事　業　名	事業費 （決算額）	県費補助額
県社協実施事業	県社協	小地域福祉活動等の担い手養成研修事業	円 2,250,000	円 1,117,000
	小計		2,250,000	1,117,000
市町社協実施事業	菊川市	孤立を防ぎ、多様な相談支援＋活躍の場づくり事業	1,350,000	625,000
	裾野市	QR コード見守りシステム事業	300,000	150,000
	函南町	地域における住民同士の交流および多様な活用のしくみづくり	1,429,901	625,000
	藤枝市	「地域でともに生きる」みんなで支えるまちづくり事業	623,144	300,000
	長泉町	地域福祉活動再生事業～after コロナの地域づくり～	1,310,921	625,000
	伊豆の国市	不登校児童・生徒の居場所事業	416,000	208,000
	伊豆市	地域ささえあい・みまもり推進事業	700,000	350,000
	裾野市	ひとり暮らし高齢者ふれあい事業	400,000	200,000
	小計		6,529,966	3,083,000
合計			8,779,966	4,200,000

令和６年度運営適正化委員会苦情受付合計、解決結果

（単位：件）

サービス種別	区分	苦情受付件数	苦情解決結果					
			助言	当事者間の話合解決推奨	専門機関等の紹介・伝達	あっせん	（うち行政への通知）	その他
高齢者福祉	① サービス内容（職員の接遇）	18	17	1				
	② サービス内容（サービスの質や量、説明・情報提供）	2	1	1				
	③ 利用料	1	1					
	④ 被害・損害、権利侵害	10	7	1	2			
	⑤ その他（介護保険料、職員の処遇）	3	2					1
	小計	34	28	3	2			1
障害者福祉	① サービス内容（職員の接遇）	18	15	3				
	② サービス内容（サービスの質や量、説明・情報提供）	2	2					
	③ 利用料							
	④ 被害・損害、権利侵害	9	5	2	1			1
	⑤ その他（事業報告の開示）							
	小計	29	22	5	1			1
児童福祉	① サービス内容（職員の接遇）	10	9	1				
	② サービス内容（サービスの質や量、説明・情報提供）	1	1					
	③ 利用料							
	④ 被害・損害、権利侵害	4	2	2				
	⑤ その他							
	小計	15	12	3				
その他	① サービス内容（職員の接遇）	2	1	1				
	② サービス内容（サービスの質や量、説明・情報提供）							
	③ 利用料							
	④ 被害・損害、権利侵害							
	⑤ その他							
	小計	2	1	1				
合計	① サービス内容（職員の接遇）	48（+15）	42	6				
	② サービス内容（サービスの質や量、説明・情報提供）	5（−41）	4	1				
	③ 利用料	1（−3）	1					
	④ 被害・損害、権利侵害	23（−4）	14	5	3			1
	⑤ その他	3（−7）	2					1
	合計	80（−40）	63	12	3			2

（注）苦情対応の分類は、（社福）全国社会福祉協議会の基準に準拠
合計欄の（　）は対前年増減件数

令和6年度福祉サービス･社会的養護関係施設第三者評価事業実施一覧

	経営主体	施設名	種別
1	（福）掛川市社会福祉協議会	養護老人ホームききょう荘	養護老人ホーム
2	（福）農協共済中伊豆リハビリテーションセンター	伊東の丘　いずみ	障害者支援施設
3	（福）遠州仏教積善会	慈照園	救護施設
4	（株）葵寮	葵寮	救護施設
5	（福）済生会	小鹿なでしこ苑	特別養護老人ホーム
6	（福）明和会	めいわ月見保育園	保育園
7	（福）ステップワン	ステップワン	就労継続支援Ｂ型
8	（福）愛育会	小百合キンダーホーム	保育所
9	（福）県民厚生会	きらら富士デイサービスセンター	デイサービス

令和6年度民間社会福祉団体運営費助成事業

No.	団　体　名	団体決算額	補助決算額	補助事業の内容
		円	円	
1	(福)静岡県社会福祉協議会	1,490,968	810,000	運営に要する経費
2	(福)静岡県身体障害者福祉会	3,840,000	3,735,000	〃
3	静岡県民生委員児童委員協議会	2,668,830	560,000	〃
4	静岡県社会福祉法人経営者協議会	4,702,578	3,160,000	〃
5	(一社)静岡県保育連合会	1,127,884	610,000	〃
6	静岡県里親連合会	2,292,781	2,070,000	〃
7	静岡県知的障害者福祉協会	1,180,857	410,000	〃
8	静岡県保育士会	826,347	290,000	〃
9	静岡県肢体不自由児協会	888,639	130,000	〃
10	(一社)静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	2,868,129	500,000	〃
11	(公社)静岡県ひとり親福祉連合会	3,360,473	390,000	〃
12	静岡県筋ジストロフィー協会	435,160	360,000	〃
13	静岡県手をつなぐ育成会	9,084,912	7,400,000	〃
14	静岡県自閉症協会	502,949	250,000	〃
15	(一社)静岡県子ども会連合会	6,022,933	3,340,000	〃
16	(一財)静岡県老人クラブ連合会	8,793,798	4,380,000	〃
17	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	1,030,775	540,000	〃
18	(N)静岡県作業所連合会・わ	806,702	410,000	〃
	計	51,924,715	29,345,000	

令和6年度静岡県民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業

区分	助成事業名	概要		件数	助成額
1	社会福祉事業振興のための助成	第三者評価受審助成事業	福祉サービス第三者評価事業において、良質かつ安心・安全なサービス提供実現のために推進する事業に対して助成する。	21	（千円） 3,059
2		地域との連携協働推進助成事業	地域との連携を図り、施設の有する資源を活用した地域課題の解決や、住民の福祉に対する理解を促進する取組に対して助成する。	7	1,098
3		職場内 OJT 助成事業	人材確保、定着のための法人内研修の実施に対して助成する。	21	3,095
4		法人間連携推進事業	複数法人間の連携による、住民の福祉に対する理解に向けた取り組みや、人材の育成を図る事業などに対して助成する。	15	2,240
5		法人の経営適正化のための助成事業	外部の専門家（公認会計士・社会保険労務士、社会福祉士等）の指導による法人経営の適正化に向けた取組に対して助成する。	6	961
6		防災減災対策・福祉避難所設置助成事業	福祉避難所に指定された事業所において、地域と連携した防災・減災の取組に対して助成する。	3	322
7		移動支援助成事業	地域のニーズに合わせた移動支援の取組に対して助成する。	3	518
8		法人後見立ち上げ支援事業	社会福祉法人の法人後見受任のための準備や実施体制整備に向けた研修に係る費用、法人後見実施初年度の活動報酬等を助成する。	0	0
9		人材確保・定着促進事業	施設・事業所の魅力を発信する採用ツールの開発（専用サイト、パンフレットの作成等）や職員のモチベーション向上・定着・成長につながる人事管理制度の整備の取組に対して助成する。	11	2,998
特		（特別助成） 先駆的・研究事業に対する助成	地域福祉や職員の資質向上等を目的とした先駆的な取組で、実施に２年を要する事業又は２年継続することで効果や成果が発揮される事業に対して助成する。ただし、プレゼンテーションによって、その成果や効果が他の模範となるような事業であると認められるものに限る。	0	0
小計				87	14,291
経	経営協への助成	各種別協への運営費、研修費助成			2,260
合計					17,317

令和６年度社会福祉活動促進費助成事業（民間団体育成強化事業／地域福祉促進事業）

（単位：円）

	団体名	区分	事業名	継/単	事業額	補助額
1	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	民	広報事業	継	6,717,591	1,042,000
		民	市町社会福祉協議会職員研修事業	継	1,671,125	428,000
		民	研修会（県社協団体助成）	継	315,000	315,000
		小計			8,703,716	1,785,000
		地	市町社会福祉協議会地域福祉等支援事業	継	2,027,515	1,550,000
		地	地域共生社会推進に係る啓発事業	継	1,030,000	545,000
		小計			3,057,515	2,095,000
		合計			11,761,231	3,880,000
2	社会福祉法人 静岡県身体障害者福祉会	民	身体障害者福祉事業推進費	継	1,600,000	1,600,000
		民	身体障害者相談活動事業費	継	1,125,000	900,000
		民	身体障害者機能回復促進事業	継	3,731,000	2,984,000
		民	身体障害者文化作品展開催事業	継	360,000	288,000
		民	心臓障害者相談指導事業	継	180,000	144,000
		民	静岡県身体障害者福祉大会開催事業	継	450,000	270,000
		小計			7,446,000	6,186,000
		地	身体障害者スポーツ活動等健康増進事業	継	2,250,000	1,800,000
		地	身体障害者地域ふれあい奉仕活動事業	継	900,000	720,000
		地	身体障害者地域防災対策連携強化事業	継	1,125,000	900,000
		地	障害者自立支援福祉機器普及促進事業	継	1,800,000	1,800,000
		小計			6,075,000	5,220,000
		合計			13,521,000	11,406,000
	静岡県視覚障害者協会	民	町づくり情報提供事業	継	620,000	620,000
		民	視覚障害者社会参加促進事業	継	1,080,000	1,080,000
		民	視覚障害者リーダー養成事業	継	250,000	150,000
		小計			1,950,000	1,850,000
		地	視覚障害者地域ふれあい促進事業	継	1,000,000	800,000

		小計			1,000,000	800,000
		合計			2,950,000	2,650,000
	静岡県聴覚障害者協会	民	聴覚障害者研修事業	継	400,000	228,000
		民	聴覚障害者スポーツ大会開催事業	継	1,053,000	828,000
		民	聴覚障害者健康増進事業	継	580,000	400,000
		民	聴力・言語障害者生活相談事業	継	400,000	320,000
		小計			2,433,000	1,776,000
		地	みみの日大会開催事業	継	1,100,000	600,000
		地	手話活動研究事業	継	840,000	640,000
		地	手話通訳者健康障害予防事業	継	1,450,000	1,450,000
		小計			3,390,000	2,690,000
		合計			5,823,000	4,466,000
2	静岡県盲ろう者友の会	民	盲ろう者社会参加理解啓発事業	新	400,000	320,000
		小計			400,000	320,000
		合計			400,000	320,000
	(3 団体合計)	総合計			22,694,000	18,842,000
3	静岡県民生委員児童委員協議会	民	単位民児協会長研修事業	継	1,941,887	1,440,000
		民	主任児童委員研修事業	継	619,977	400,000
		民	相談技法に関する研修事業	継	753,966	500,000
		民	関東ブロック民生委員児童委員活動研修会	継	7,900,400	300,000
		合計			11,216,230	2,640,000
4	静岡県社会福祉法人経営者協議会	民	児童福祉施設スポーツ交流開催事業	継	912,000	390,000
		民	施設利用者作品奨励事業	継	339,000	150,000
		合計			1,251,000	540,000
5	静岡県保育連合会	民	静岡県保育研究大会	継	3,707,473	900,000
		民	新規採用予定職員研修会	継	3,291,669	675,000
		合計			6,999,142	1,575,000
6	静岡県里親連合会	民	里親促進事業	継	608,561	486,848
		民	里親月間事業	継	578,599	575,000
		民	里親賠償責任保険事業	継	493,590	493,000
		民	里親研修事業	継	258,825	187,000
		小計			1,939,575	1,741,848
		地	里親専門サポート事業	継	825,000	660,000
		地	里親地区研修事業	継	488,481	340,000

		小計			1,313,481	1,000,000
		合計			3,253,056	2,741,848
7	静岡県知的障害者福祉協会	民	職員研究集会等開催事業	継	1,944,530	860,000
		民	職員研修所開設事業	継	1,160,437	550,000
		民	口腔衛生指導等委託事業	継	375,000	300,000
		小計			3,479,967	1,710,000
		地	障害者体力増進事業	継	1,000,007	800,000
		地	障害者創作作品展示事業	継	1,757,460	1,060,000
		小計			2,757,467	1,860,000
		合計			6,237,434	3,570,000
8	静岡県保育士会	民	保育実務研修事業	継	709,471	300,000
		民	委託研究事業	継	1,876,000	355,000
		民	実践研修事業	継	409,382	300,000
		民	地域保育啓発事業	継	695,330	180,000
		合計			3,690,183	1,135,000
9	静岡県肢体不自由児協会	民	療育図書等刊行事業	継	546,600	140,000
		民	肢体不自由児社会参加理解啓発事業	継	385,942	300,000
		民	肢体不自由児指導者講習会	継	731,144	400,000
		合計			1,663,686	840,000
10	一般社団法人静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	民	脳性マヒ児集団療育事業	継	2,318,929	1,210,000
		民	地域ケア育成事業指導事業	継	1,100,326	656,000
		民	肢体不自由児者集団療育事業	継	1,636,008	1,260,000
		小計			5,055,263	3,126,000
		地	肢体不自由児者ふれあい体験研修事業	継	1,686,022	1,200,000
		地	親と子の自立支援宿泊訓練事業	継	4,761,758	3,200,000
		小計			6,447,780	4,400,000
		合計			11,503,043	7,526,000
11	公益社団法人静岡県ひとり親寡婦福祉連合会	民	ひとり親家庭研修会	継	745,926	390,000
		民	ひとり親リーダー育成事業	継	576,672	461,337
		民	ひとり親家庭交流事業	継	253,619	132,000
		民	ひとり親家庭啓発事業	継	328,010	100,000
		小計			1,904,227	1,083,337
		地	親と子の心身健全育成推進事業	継	2,960,910	1,500,000
		地	地域ふれあい事業	継	1,192,417	800,000

		小計			4,153,327	2,300,000
		合計			6,057,554	3,383,337

12	静岡県筋ジストロフィー協会	民	集団検診・療育相談	継	362,909	290,327
		民	親子集団療育指導	継	1,187,108	949,686
		小計			1,550,017	1,240,013
		地	筋ジストロフィー介護者研修・訪問検診事業	継	1,979,872	1,583,897
		地	筋ジストロフィー相談窓口事業	継	914,993	731,994
		地	筋ジストロフィーアビリティ探索事業	継	400,717	320,000
		小計			3,295,582	2,635,891
		合計			4,845,599	3,875,904
13	静岡県手をつなぐ育成会	民	知的障害者相談員等研修事業	継	1,625,299	1,300,000
		民	心身障害児者地域活動促進事業	継	1,200,000	720,000
		民	重症心身障害児者療育指導事業	継	200,000	160,000
		小計			3,025,299	2,180,000
		地	知的障害者職業自立啓発事業	継	878,425	700,000
		地	地域交流・自立促進事業	継	3,187,500	2,550,000
		小計			4,065,925	3,250,000
		合計			7,091,224	5,430,000
14	静岡県自閉症協会	民	保護者指導者研修会	継	381,878	298,218
		民	自閉症児者療育訓練	継	1,353,291	1,082,632
		小計			1,735,169	1,380,850
		地	自閉症児者野外ワークショップ	継	1,570,389	1,195,889
		地	支援者育成事業	継	2,000,730	1,575,661
		小計			3,571,119	2,771,550
		合計			5,306,288	4,152,400
15	一般社団法人静岡県子ども会連合会	民	育成研修事業	継	1,472,175	736,087
		民	子ども会活動振興研究事業	継	442,163	221,081
		民	子ども会活動作文募集及び表彰事業	継	682,000	682,000
		小計			2,596,338	1,639,168
		地	チャレンジ冒険・遊び事業	継	3,775,000	3,020,000
		小計			3,775,000	3,020,000
		合計			6,371,338	4,659,168

16	一般財団法人静岡県老人クラブ連合会	民	地域福祉人材養成事業	継	2,185,620	1,309,000
		民	活動推進相談員育成指導事業	継	1,798,438	1,071,000
		民	地域クラブ活性化推進事業	継	3,240,637	1,942,000
		小計			7,224,695	4,322,000
		地	シニアスポーツ普及推進事業	継	1,314,330	1,050,000
		地	クラブ解散・休会等再興支援事業	継	1,322,054	1,050,000
		小計			2,636,384	2,100,000
		合計			9,861,079	6,422,000
17	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	民	ホームヘルパー研修事業	継	1,544,532	1,235,000
		民	サービス提供責任者研修事業	継	625,826	500,000
		合計			2,170,358	1,735,000
18	特定非営利活動法人静岡県作業所連合会・わ	民	事業所職員研修事業	継	1,372,304	840,000
		小計			1,372,304	840,000
		地	地域交流ふれあいスポーツ・レクリエーション事業	継	2,025,870	1,540,000
		地	障害者福祉普及啓発事業	継	1,927,218	1,440,000
		小計			3,953,088	2,980,000
		合計			5,325,392	3,820,000
	総合計		総合計		127,297,837	76,767,657

研修評価表

令和６年度研修評価表

分野		番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
組織力を高める	組織力強化	1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース（中部1）	35 43-40	6/18 7/2,3	3	シズウエル	・福祉職員の初任者が、サービス提供者･チームの一員としての基本を習得することを支援する。 ・自らのキャリアアップの道筋を描き、それぞれの段階に応じて求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援する。
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース（中部2）	35 23-23	1/30 2/13,14	3	シズウエル	
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース（東部）	35 17-17	8/22 9/11,12	3	三島商工会議所	
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース（西部）	35 18-18	10/23 11/7,8	3	浜松市福祉交流センター	
		2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース（中部1）	35 38-34	7/23 8/27,28	3	シズウエル	・「福祉サービスの中心的担い手」としての役割を遂行するための基本を習得することを支援する。 ・これからのキャリアアップの方向を考え、自身のキャリアデザインを描くことを支援する。
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース（中部2）	35 17-17	1/23 2/6,7	3	シズウエル	
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース（東部）	35 13-12	10/29 11/19,20	3	三島商工会議所	
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース（西部）	35 22-21	4/25 5/15,16	3	浜松市福祉交流センター	
		3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース （中部１）	35 17-14	4/17 5/9,10	3	シズウエル	・チームリーダーとしての役割を遂行するための共通スキル・テ クニック・マインドの基本を習得する。 ・これからのキャリアアップの方向を考え、自身のキャリアデザインを描くことを支援する。
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース（中部2）	35 17-16	12/2 12/23,24	3	シズウエル	
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース（東部）	35 25-24	6/21 7/11,12	3	三島商工会議所	
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース（西部）	35 30-28	9/20 10/7,8	3	浜松市市民協働センター	
		4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	35 14-14	12/11,12	2	シズウエル	・管理者としての役割を遂行するための基本を習得する。 ・管理者等が自身のキャリアデザインを描くことを支援する。
		5	人が育つ組織づくり講座 ～ 主任＆管理者のリーダーシップについて ～	120 84-83	5/8	1	ライブ配信	組織やチームの発展に貢献できるリーダーになるための心構えやスキル、実践的ポイントを学ぶ。
		6	セルフ･リーダーシップのススメ ～ 自分自身を良い方向に導こう！ ～	120 86-82	9/18	1	ライブ配信	信頼され、希望を与え、安心感を人の心にもたらすことができる職業人、さらには利用者本位サービスを推進するプロになるための具体的方法を学ぶ。
		7	イマドキ世代の育て方研修	90 57-57	5/2	1	ライブ配信	いまどきの若手世代が育ってきた時代背景や、どのようなことに影響を受けて自己形成されてきたのかを知ることで世代間の相互理解をし、適切で効果的な指導方法を身につける。
		8	ファシリテーション講座 ～ 話し合いの進め方を学び、 「自分事」の会議にしよう ～	60 66-61	5/29	1	シズウエル	話し合いを進めるプロから、「会議を“他人事”から“自分事”に変える」＆「相互作用を生み出す」ためのファシリテーションを学ぶ。
		9	福祉職員基礎セミナー ～ はじめて福祉の仕事に就くあなたへ ～	90 34-33	5/24	1	ライブ配信	福祉の基本的な考え方や姿勢、求められる役割等について、福祉の仕事の基本を一から学ぶ。
		10	コーチング研修 ～ 能力発揮サポートスキルを身につけよう ～	60 60-58	5/21	1	シズウエル	コーチングに対する意識を深め、後輩や部下の自発的意欲を引き出すための指導法を習得する。
		11	介護職が「働き続けたい」と思える 職場のつくり方 ～ 介護現場の心理的安全性 ～	60 40-39	11/1	1	ライブ配信	人材定着に不可欠な風通しのよい（心理的安全性の高い）環境づくりを、職場内研修を通して学ぶ。

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
社会福祉士事務所ひまわり 増田京子 氏 (福)誠信会 障害者支援施設 富士本学園 次長 小林拓 氏 (福)牧ノ原やまばと学園 特別養護老人ホーム 聖ルカホーム 介護主任 中邑愛 氏	初任者 ※新卒入職後3年以内の職員 ※他業界から福祉職場へ入職後3年以内の職員	1,500 テキスト代等	26 68.4%	11 28.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	研修課
(福)炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋博昭 氏 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 落合克能 氏 (福)牧ノ原やまばと学園 特別養護老人ホーム 聖ルカホーム 介護主任 中邑愛 氏			18 85.7%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
社会福祉士事務所ひまわり 増田京子 氏 (福)誠信会 障害者支援施設 富士本学園 次長 小林拓 氏 (福)炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋博昭 氏			14 87.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
社会福祉士事務所ひまわり 増田京子 氏 (福)天竜厚生会 障がい者支援施設 浜名 施設長 森川正志 氏 (福)あしたか太陽の丘 障害者支援施設 富士見学園 施設長 鶴田安弘 氏			15 83.3%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋博昭 氏 (福)天竜厚生会 障がい者支援施設 浜名 施設長 森川正志 氏 放課後等デイサービスといろ 施設長 栗原寛美 氏	中堅職員 ※担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員 ※入職後概ね3～5年の節目の職員	1,500 テキスト代等	20 71.4%	7 25.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏 (福)ほなみ会 特別養護老人ホーム 南風 施設長 川島理恵 氏 (福)牧ノ原やまばと学園 障がい者支援施設 やまばと希望寮 生活支援センターやまばと 施設長 大畑彰弘 氏			13 76.5%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋博昭 氏 (福)天竜厚生会 総務部人事課 中道毅 氏 (福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏			11 91.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏 (福)天竜厚生会 総務部総務課 課長 森川正志 氏 放課後等デイサービスといろ 施設長 栗原寛美 氏			18 90.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 所長 認定社会福祉士 古井慶治 氏 (福)牧ノ原やまばと学園 特別養護老人ホーム 聖ルカホーム 介護主任 中邑愛 氏 (福)あしたか太陽の丘 障害者支援施設 富士見学園 施設長 鶴田安弘 氏	チームリーダー ※現に主任、係長等のチームリーダーの役割を担っている職員 ※近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される職員	1,500 テキスト代等	13 92.9%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 所長 認定社会福祉士 古井慶治 氏 (福)牧ノ原やまばと学園 特別養護老人ホーム 聖ルカホーム 介護主任 中邑愛 氏 (福)あしたか太陽の丘 障害者支援施設 富士見学園 施設長 鶴田安弘 氏			14 93.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏 (福)天竜厚生会 総務部人事課 中道毅 氏 (福)あしたか太陽の丘 障害者支援施設 富士見学園 施設長 鶴田安弘 氏			24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 所長 認定社会福祉士 古井慶治 氏 (福)ほなみ会 特別養護老人ホーム 南風 施設長 川島理恵 氏 (福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏			21 80.8%	5 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)牧ノ原やまばと学園 障がい者支援施設 やまばと希望寮 生活支援センターやまばと 施設長 大畑彰弘 氏 (福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等の管理者等 ※現に管理者の役割を担っている職員 ※近い将来、管理者等の役割を担うことが想定される指導的立場の職員	1,500 テキスト代等	9 64.3%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 教授 久田則夫 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する中堅職員以上の方	5,000 (3,000)	51 82.3%	11 17.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 教授 久田則夫 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	50 83.3%	9 15.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)インソース 高橋百代 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	40 83.3%	8 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(特非)日本ファシリテーション協会 フェロー 鈴木まり子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する主に中堅職員以上の方	6,000 (4,000)	55 91.7%	5 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡福祉大学 社会福祉学部健康福祉学科 教授 木下寿恵 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	21 91.3%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
コーチングアカデミー静岡校 校長 酒井美保 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	47 85.5%	8 14.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
摂南大学 看護学部 教授 富永真己 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	17 56.7%	11 36.7%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	

分野		番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
組織力を高める	組織力強化	12	スーパービジョン実践講座 ～ 実践理論を活用した演習で学ぶ 具体的手法 ～	60 44-41	3/5	1	シズウエル	福祉専門職を養成する「スーパービジョン」を理論と体験型演習で学ぶ。
		13	職場内研修の組み立て方を学ぶ ～ 人材育成を考えた 研修プログラムとは～	40 37-37	12/9	1	シズウエル	人が辞めずに育つ職場を作るための“職場内研修”とは何かを学び、新年度の研修体制を見つめ直す。
		14	大人の発達障害・グレーゾーンの理解 ～ 全ての人がいきいき働ける職場づくり ～	90 15-15	10/18	1	ライブ配信	様々な発達障害の特性・対応策についての知識を学び、働きづらさを抱える職員との適切なコミュニケーションの取り方を学ぶ。
			大人の発達障害・グレーゾーンの理解 ～全ての人がいきいき働ける職場づくり～	90 47-46	11/8～ 11/22	－	録画配信	
		15	市町社協 トップセミナー （会長会議）	50 57-57	1/27	1	クーポール会館	社会福祉協議会に求められる職員像や専門性について学ぶ。
		16	市町社協 新任職員研修	70 59-58	6/3 7/29	2	あざれあ シズウエル	社協職員としての心構え、福祉サービスの実践、組織活動に必要な知識等を習得する。
		17	市町社協 ミドルマネジメント （中間管理職）研修会	50 26-24	8/1	1	あざれあ	中間管理職として求められるコーチング能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力等を習得する。
	運営・労務・人事	18	社会福祉法人 経営セミナー [前期] （県社会福祉法人経営者協議会）	100 75-69	9/12	1	静岡音楽館AOI	社会福祉法人の健全な経営や施設経営の基盤強化を図る。
		19	社会福祉法人 経営セミナー [後期] （県社会福祉法人経営者協議会）	100 46-44	2/21	1	静岡音楽館AOI	社会福祉法人の今日的課題と各種制度改革への対応について学ぶ。
		20	社会福祉法人 監事監査研修会	－ 254-254	4/19～5/19	－	録画配信	監事の役割や業務、会計監査のポイントを学ぶ。
		21	社会福祉法人 運営管理研修会	91 91-89	12/23	1	シズウエル	福祉・介護施設の運営に必要な情報や制度動向に関する知識について情報提供する（BCP研修・訓練）。
		22	新設社会福祉法人 運営管理説明会	－	中止	－	－	－
		23	社会福祉施設 人事・労務管理研修会	－ 184-184	11/8～12/9	－	録画配信	社会福祉施設における人事、労務管理の具体的なノウハウを学ぶ。
		24	福祉・介護人材確保実践セミナー	①②各100③90 44-44 70-70 63-63	①6/6 ②7/23 ③10/11	3	シズウエル	福祉・介護人材の確保・定着に向けた新たな知見を深める。 ①人材確保編 ②人材定着編 ③人材育成編
		128	障害福祉サービス事業所向け 報酬改定を含めた制度改正に関する研修会	80 81-68	12/4	1	シズウエル	障害福祉サービスの現状と課題、改正の経緯や展望を踏まえた令和6年度の報酬改定のポイント等の説明。
		129	障害福祉サービス事業所向け 処遇改善攻略セミナー	100 76-64	2/5	1	レイアップ御幸町ビル	福祉・介護職員等処遇改善加算（新加算）の一本化や新加算の取得に向けたポイント、関連する各種施策等について学ぶ。
		130	障害福祉新人職員職場定着促進研修	45 32-32	12/13 12/16 12/19	3	こころ彩 MARK'S CAFÉ THE BLUE WATER	障害分野の施設・事業所の若手職員が自身のこれからを考える、同じ障害分野で働く仲間とのつながりをつくる
	財務・経理	25	社会福祉法人 簿記入門講座	－ 71-71	6/14～6/30	－	録画配信	複式簿記の基本的仕組みや初歩的な仕分けの理解を深める。
		26	社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	－ 78-78	7/12～8/4	－	録画配信	帳簿組織と財務諸表、仕分の考え方、勘定科目、伝票起票に関する基本的知識を学ぶ。
		27	社会福祉法人・施設事務職員 経理応用講座	－ 114-114	8/16～9/8	－	録画配信	社会福祉法人の会計制度や施設・事業種別に即した、日々の応用的な会計処理を、実戦的事例を通じ、個別具体的に学ぶ。

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
静岡県立大学 短期大学部社会福祉学科 教授 鈴木俊文 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	35 87.5%	5 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
元気がでる介護研究所 代表 髙口光子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する主に研修企画に携わる方等	7,000 (5,000)	33 91.7%	3 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡市発達障害者支援センター きらり 副主任支援員 福田善通 氏 静岡市発達障害者支援センター きらり 支援員　村木明広 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	10 76.9%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	
			11 73.3%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 教授 渡辺裕一 氏 厚木市社会福祉協議会 事務局長 田中宏之 氏 、援護係 主査 土屋朋恵 氏	（市町社協） 会長・役員・事務局長等	無料	34 64.2%	19 35.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	地域福祉課
明治学院大学社会学部社会福祉学科 准教授 榊原美樹 氏 コーチングアカデミー静岡校 校長 酒井美保 氏 日本ファシリーテーション協会 フェロー 鈴木まり子 氏	（市町社協） 当該年度採用職員及び未受講の方	無料	43 74.1%	15 25.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(合)介護の未来 代表 阿部充宏 氏	（市町社協） 中間管理職員	無料	22 91.7%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)暘谷福祉会 理事長 柿本貴之 氏 ふくしDX推進特別委員会 専門委員 (株)ヤマグチ 代表取締役 山口純 氏	社会福祉法人の役職員等	5,000 (無料)	13 18.8%	33 47.8%	4 5.8%	0 0.0%	19 27.5%	経営支援課
(福)同愛会 理事長 菊地月香 氏 (福)全国社会福祉協議会 法人振興部 部長 吉村尚也 氏	社会福祉法人の経営者等（理事長・施設長・事務局長等）	5,000 (無料)	13 29.5%	16 36.4%	1 2.3%	0 0.0%	14 31.8%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏 他	社会福祉法人の監事、役職員等	10,000 (5,000)	30 11.8%	34 13.4%	0 0.0%	0 0.0%	190 74.8%	
渡嘉敷唯之 氏	社会福祉法人の役職員	5,000 (3,000)	40 44.9%	27 30.3%	8 9.0%	0 0.0%	14 15.7%	
－	－	－	－	－	－	－	－	
赤堀社会保険労務士事務所 赤堀久士 氏	社会福祉施設の役職員	5,000 (3,000)	38 20.7%	10 5.4%	1 0.5%	0 0.0%	135 73.4%	
①(一社)FACE to Fukushi ②(同)介護の未来 ③静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 鈴木俊文 氏 　介護老人保健施設ユニケア岡部 副施設長 小沼克典 氏	福祉・介護事業所経営者・管理者・採用担当者・研修担当者等	無料	144 80.0%	35 19.4%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	人材課
総合社会保障研究所 代表 福島敏之 氏	県内の障害福祉施設、 サービス事業所等の職員	無料	24 35.3%	32 47.1%	7 10.3%	1 1.5%	4 5.9%	
ふくしえん社会保険労務士法人 社会保険労務士 後藤功太 氏	県内の障害福祉施設、 サービス事業所等の職員	無料	42 65.6%	19 29.7%	1 1.6%	0 0.0%	2 3.1%	
(福)あしたか太陽の丘 富士見学園 施設長 鶴田安弘 氏 (福)誠信会 富士本学園 副施設長 小林拓 氏 (福)焼津福祉会 大井川寮 施設長 阿部典子 氏	県内の障害福祉施設、 サービス事業所等の概ね3年以内の若手職員	無料	30 93.8%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	新任会計実務担当者等	10,000 (5,000)	16 22.5%	10 14.1%	0 0.0%	0 0.0%	45 63.4%	経営支援課
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等 （簿記入門修了程度）	15,000 (10,000)	16 20.5%	7 9.0%	1 1.3%	0 0.0%	54 69.2%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等 （経理基礎修了程度）	15,000 (10,000)	8 7.0%	6 5.3%	1 0.9%	0 0.0%	99 86.8%	

分野		番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
組織力を高める	財務・経理	28	社会福祉法人 予算管理講座	－ 102-102	9/13～9/29	－	録画配信	社会福祉法人の制度上の予算や予算管理に関する知識、予算積算方法等について学ぶ。
		29	社会福祉法人・施設事務職員 会計実務専門講座	－ 98-98	10/19～ 11/4	－	録画配信	会計実務に関する特定テーマを必要に応じてとりあげ、会計実務に必要な専門的知識を深める。
		30	社会福祉法人・施設事務職員 税務実務講座 （消費税）	－ 55-55	11/15～ 12/1	－	録画配信	社会福祉法人の特性に応じた税務に必要な、実務的な税務知識を学ぶ。 ※消費税と所得税等を隔年で実施
		31	社会福祉法人 財務管理講座	－ 93-93	12/20～ 1/13	－	録画配信	経営状況を把握するための手法等、財務管理の基礎的知識を学ぶ。
		32	社会福祉法人 決算実務講座	－ 152-152	2/7～3/24	－	録画配信	各種決算整理事項や財務諸表の作成等に必要な知識を学ぶ。
		33	市町社協 会計実務研修会	－ 35-35	8/1～ 11/30	－	録画配信	社会福祉協議会における会計実務を学ぶ。
		34	市町社協 決算実務研修会	－ 35-35	2/26～6/30	－	録画配信	社会福祉協議会における決算実務処理等を学ぶ。
組織力を高める				2,311 2,855-2,783				
専門技術力を身につける	利用者の日常生活支援	35	褥瘡予防の基本 ～ 体圧分散管理とポジショニングを学ぼう ～	50 51-50	6/27	1	シズウエル	介護職員が実践に活かせるベッド上、坐位でのポジショニング、適切な除圧方法等について学ぶ。
		36	現場職員が知っておきたい 褥瘡・皮膚ケア講座	90 38-37	10/24	1	ライブ配信	高齢者の皮膚障害の早期発見と褥瘡予防のために、皮膚観察やケアについて知識と技術を習得する。
		37	子どものための 心と体を癒すタッチケア	90 6-5	5/27	1	ライブ配信	子どもとの愛着を育むスキンシップから、子どもの気持ちに寄り添う保育者として大切にするべきことを学ぶ。
			子どものための 心と体を癒すタッチケア	90 39-36	6/10～6/24	－	録画配信	
		38	高齢者・障害者施設のための 感染症講座（初級編）	90 25-24	5/23	1	ライブ配信	主に高齢者や障がいのある方を支援する職員に必要な感染症の基礎的知識と標準・経路別予防策、個人防護具の着脱方法、感染発生時の対応の仕方などを学ぶ。
			高齢者・障害者施設のための 感染症講座（初級編）	90 59-59	6/6～6/20	－	録画配信	
			高齢者・障害者施設のための 感染症講座（初級編）【録画2回目】	90 8-8	12/6～ 12/20	－	録画配信	
		39	高齢者・障害者施設のための 感染症講座（中級編）	90 23-23	8/23	1	ライブ配信	主に高齢者や障がいのある方を支援する職員に必要な感染症の実践的知識と予防方法の習得、発生時の対応の仕方を学ぶ。
			高齢者・障害者施設のための 感染症講座（中級編）	90 53-52	9/6～9/20	－	録画配信	
			高齢者・障害者施設のための 感染症講座（中級編）【録画2回目】	90 19-18	2/12～2/26	－	録画配信	
		40	子どもがいる現場のための 感染症講座	90 14-14	6/24	1	ライブ配信	児童によく見られる感染症の知識と予防方法、家庭や医療機関との連携等について学ぶ。
			子どもがいる現場のための 感染症講座	90 46-44	7/8～7/22	－	録画配信	
			子どもがいる現場のための 感染症講座【録画2回目】	90 19-19	1/16～1/30	－	録画配信	

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	予算管理担当者等	10,000 (5,000)	12 11.8%	6 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	84 82.4%	経営支援課
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等	10,000 (5,000)	9 9.2%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	88 89.8%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	税務実務担当者等	10,000 (5,000)	6 10.9%	7 12.7%	0 0.0%	0 0.0%	42 76.4%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	社会福祉法人の役職員等	10,000 (5,000)	16 17.2%	5 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	72 77.4%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等	15,000 (10,000)	16 10.5%	7 4.6%	1 0.7%	0 0.0%	128 84.2%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	（市町社協） 総務・会計担当者	無料	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	地域福祉課
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	（市町社協） 総務・会計責任者	無料	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			1,162 44.8%	409 15.8%	31 1.2%	1 0.0%	991 38.2%	
島田市立総合医療センター 看護部 看護師長 皮膚排泄ケア特定認定看護師 奈木志津子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方等	8,000 (6,000)	44 89.8%	5 10.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
島田市立総合医療センター 看護部 看護師長 皮膚排泄ケア認定看護師 奈木志津子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	29 90.6%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授 山口創 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			17 73.9%	6 26.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する主に高齢者や障がい者へのケアに携わる方	5,000 (3,000)	18 90.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			26 76.5%	8 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方で本講座の「初級編」を受講した方などの「標準予防策」について基礎知識のある方	5,000 (3,000)	12 85.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			18 72.0%	7 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			18 85.7%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

分野		番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
専門技術力を身につける	利用者の日常生活支援	125	高齢者・障害者施設のための感染症講座 （実践編）	60 56-53	11/28	1	シズウエル	主に高齢者や障害のある方を支援する職員に必要な感染症の実践的知識と予防方法の習得、発生時の対応の仕方を学ぶ。
		41	おむつを外すための排泄ケアセミナー ～ 排泄自立ケアで人間らしさを取り戻す ～	40 32-31	7/26	1	シズウエル	「人の体（排泄のメカニズム）」について正しく理解を深め、おむつに頼らないケアや尿失禁改善方法について学ぶ。
		42	快適なおむつの使い方講座	－	中止	－	－	－
		43	「動き出しは本人から」の介護実践 ～ 利用者の思いに近づく、力を活かす ～	90 47-46	7/29	1	ライブ配信	利用者主体の関りとは何か、それがいかに大切で効果のあるものかについて、具体的な実践方法を学ぶ。
		44	福祉施設で役立つフットケア講座 ～ 爪と足は全身の情報の宝庫 ～	50 44-41	6/26	1	シズウエル	「たかが爪、されど爪」足の指や爪のケアは運動機能の低下予防や健康増進にも役立つ。足のケアの大切さを認識し、足の病気やトラブルの対処方法等、フットケアの基礎知識を習得する。
		45	【新規】 介護職のためのすぐに役立つ医学知識	90 54-52	8/26	1	ライブ配信	介護職員が実務に役立てる、高齢者に多い疾患や薬の基礎知識を学ぶ。
		46	介護現場でのターミナルケア ～ 生き抜く人を見届ける ～	90 13-12	10/9	1	ライブ配信	ターミナルケアの実際を理解し、終末期の対応や、家族へのケア方法を学ぶ。
			介護現場でのターミナルケア ～生き抜く人を見届ける～	90 36-36	10/23～ 11/5	－	録画配信	
		47	福祉職員が知っておきたい 権利擁護と成年後見	60 22-21	2/19	1	ライブ配信	権利擁護を支える成年後見制度の概要や活用の視点について事例を交えて学ぶ。
		48	保育者自らが自分らしく輝けるために	90 5-5	12/11	1	ライブ配信	保育者一人ひとりの魅力的な生き方を示していくことで、子どもにとっての「生きる憧れのモデル」になっていくことを目指す。
			保育者自らが自分らしく輝けるために	90 22-22	1/10～1/24	－	録画配信	
		49	【新規】 “ほんとうの自立支援”がわかる講座 ～誰のため？何のため？～	60 48-44	10/16	1	シズウエル	普段の支援を見直し、利用者の立場に立った“ほんとうの”自立支援を学び、支援に生かす。様々な場面での利用者との関わりを、事例を通して学ぶ。
		50	急変を見逃さないための救急講座	90 29-28	11/27	1	ライブ配信	施設利用者の急変を見逃さず、救急対応するために必要な基本的な医療の知識と技術を習得する。
			急変を見逃さないための救急講座	90 44-42	12/11～ 12/25	－	録画配信	
		51	介護職員が知っておきたい 利用者の身体観察のポイント講座	90 19-18	3/6	1	ライブ配信	高齢者の特徴を理解し、食事・排泄・入浴・睡眠などそれぞれの生活場面に応じた利用者の観察ポイントや緊急時の対策を学ぶ。
		52	精神疾患の理解 ～ 基礎知識を学ぶ ～	90 36-35	1/22	1	ライブ配信	こころの病気の基礎的知識と対処方法支援を学ぶ。
		53	【新規】 行動障害支援に役立つ『基本のコツ』講座	90 23-21	9/26	1	ライブ配信	支援初心者が現場でスムーズに支援を行うための『コツ』を習得し、利用者の自立と自尊心を守る支援を学ぶ。
			【新規】 行動障害支援に役立つ『基本のコツ』講座	90 51-50	10/10～ 10/24	－	録画配信	
		54	子どもの発達障害支援セミナー	90 32-32	2/3～2/24	－	録画配信	子どもに「何が起きているのか」を知り、解決のために「必要な環境や取り組みは何か」を学ぶ。
		55	口腔のケア講座	60 46-44	3/12	1	シズウエル	高齢者や障害のある方への口腔のケアに必要な知識・技術を習得する。
		56	成年後見制度 市町長申立研修 【基礎編、実務編】	－ 84-84 86-86	5/15 6/5	2	ライブ配信 録画配信	成年後見制度 市町長申立に係る実務を学ぶ。

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	46 86.8%	7 13.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
順天堂大学 保健看護学部 教授 藤尾祐子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	27 87.1%	4 12.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
－	－	－	－	－	－	－	－	
(株)Start movement 代表 大堀具視 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	31 88.6%	4 11.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
SANUA 湯河原接骨院グループ 代表 青柳博 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	7,000 (5,000)	37 90.2%	4 9.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日本社会事業大学専門職大学院 教授 鶴岡浩樹 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	25 59.5%	16 38.1%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	
元気がでる介護研究所 代表 髙口光子 氏	介護保険施設・事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			17 85.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
RISSHO KID'S きらり 岡本 園長 坂本喜一郎 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)NGU 代表取締役 山出貴宏 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する主に高齢者や障がい者へのケアに携わる方	6,000 (4,000)	30 69.8%	13 30.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
水戸済生会総合病院 救命センター ICU所属 特定看護師 高木優樹 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	12 60.0%	8 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			17 81.0%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(医)宝美会 訪問看護ステーションはまな 所長 前田幸代 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(公社)公益財団法人 復康会 社会復帰事業部 澤野文彦 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	24 85.7%	4 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)大府福祉会 たくと大府 施設長 林大輔 氏	社会福祉施設・障害福祉サービス事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			22 84.6%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	
浜松市発達相談支援センター ルピロ 心理相談員 柴野愛 氏	保育所・児童福祉施設・社会福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	17 73.9%	6 26.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
デンタルサポート藍 代表 認定歯科衛生士 小宮山ひろみ 氏 さくらばし歯科医院 認定歯科衛生士 中央医療健康大学校 非常勤講師 佐藤美紀 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	35 79.5%	7 15.9%	2 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 所長 古井慶治 氏	市町行政担当職員、 地域包括支援センター職員、 市町社協職員	無料	24 60.0%	16 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	権利擁護課

分野		番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
専門技術力を身につける	利用者の日常生活支援	57	成年後見制度等に関わる職員のための 意思決定支援研修	- 85-85 68-68	前期:6/25 後期:9/27	2	ライブ配信 録画配信	意思決定支援の基礎と実務を学ぶ。
		124	トーキングマット研修	50 56-56	5/31	1	レイアップ御幸町ビル	意思決定支援の基礎と実務とトーキングマットの手法を学ぶ。
		58	直伝！現役OT安藤祐介の 車イスシーティング講座	60 61-58	6/13	1	シズウエル	お金や時間や人手を掛けずに、現場ですぐに取り組める、車イスのシーティングの工夫を学ぶ。
	認知症ケア	59	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー	60 66-63	6/4	1	シズウエル	″認知症ケア″の基本的考え方を整理し、現場での間違ったケアをわかりやすく指摘する力をつけ、チームで取り組む認知症ケアとは何かを学ぶ。
		60	認知症の人のためのレク作りのポイント講座	80 37-35	1/15	1	シズウエル	レクリエーションの役割と可能性を理解し、効果的で楽しいレクの作り方を習得する。
		61	三好春樹の人間学に基づく認知症介護講座	90 17-16	12/6	1	ライブ配信	認知症の方の行動や心理症状を理解し、利用者へのより良い関わり方について考える。
			三好春樹の人間学に基づく認知症介護講座	90 27-27	12/20～ 1/10	-	録画配信	
		62	認知症介護実践研修（実践者研修）	60 57-56	6/5,19 7/4,18 8/29	5	三島商工会議所	施設・在宅に関わらず認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族のQOL向上を図る対応や、技術を修得する。（全5日+実習）
			認知症介護実践研修（実践者研修）	60 59-59	7/26 8/20 9/4,19 10/30	5	ふじさんめっせ	
			認知症介護実践研修（実践者研修）	60 59-59	6/25 7/10,24 8/8 9/27	5	シズウエル	
			認知症介護実践研修（実践者研修）	60 56-56	8/2,21 9/5,18 10/31	5	掛川市生涯学習センター	
			認知症介護実践研修（実践者研修）	60 59-59	6/6,20 7/5,19 8/28	5	浜松市福祉交流センター	
		63	認知症介護実践研修（実践リーダー研修）	50 45-43	11/6,22 12/3,19,20 1/9,2/28	7	シズウエル	ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する。（全7日+実習）
			認知症介護実践研修（実践リーダー研修）	50 27-27	10/21 11/11,27 12/12,25 1/16,3/5	7	浜松市福祉交流センター	
		64	認知症対応型サービス事業 管理者研修	60 39-36	2/20,21	2	浜松市福祉交流センター	小規模多機能型居宅介護等を行う事業所の計画作成担当者が、利用者及び事業の特性を踏まえた小規模多機能型居宅介護計画等を作成するために必要な知識及び技術を学ぶ。 （行政からの受託研修、募集・申込先は行政）
			認知症対応型サービス事業 管理者研修	60 23-21	3/13,14	2	三島商工会議所	
			認知症対応型サービス事業 管理者研修	60 40-39	3/6,7	2	シズウエル	
		65	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	35 39-39	1/28,29	2	シズウエル	認知症対応型デイサービス、小規模多機能型居宅介護事業所（看護を含む）、グループホームの事業管理者（予定者）に求められる「地域密着型サービスの取組み」や「介護従事者に対する労務管理」、「適切なサービス提供のあり方」等の知識・技術を学ぶ。 （行政からの受託研修、募集・申込先は行政）
			小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	35 15-14	1/23,24	2	浜松市福祉交流センター	
		66	認知症対応型サービス事業 開設者研修	45 20-19	11/29	1	シズウエル	事業所を運営していく上で必要な「認知症高齢者の基本的な理解」や「認知症高齢者ケアのあり方」、「適切なサービス提供のあり方」等の必要な知識や技術を習得する。 （行政からの受託研修、募集・申込先は行政）

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
西川司法書士事務所 西川浩之 氏 社会福祉士事務所ひまわり 増田京子 氏	市町行政担当職員、 地域包括支援センター職員、 市町社協職員、福祉職員	無料	27 16.6%	14 8.6%	1 0.6%	0 0.0%	121 74.2%	権利擁護課
(一社)日本意思決定支援ネットワーク 副代表 水島俊彦 氏	市町行政担当職員、 地域包括支援センター職員、 市町社協職員	無料	22 88.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
介護老人保健施設 ケアセンターゆうゆう 認知症フロア専属 作業療法士 安藤祐介 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	48 85.7%	8 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
元気がでる介護研究所 代表 髙口光子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	57 93.4%	4 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(医)中村会 老健あさひな 認知症介護レクリエーション実践研究会 尾渡順子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	7,000 (5,000)	31 88.6%	4 11.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
生活とリハビリ研究所 代表 三好春樹 氏	社会福祉施設等に勤務する方	6,000 (4,000)	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			12 92.3%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会	高齢者介護の実務経験が2年以上の方	41,000	41 77.4%	12 22.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			52 89.7%	5 8.6%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	
			44 75.9%	13 22.4%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	
			50 89.3%	6 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			48 81.4%	11 18.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会	高齢者介護の実務経験が5年以上で、認知症介護実践者研修修了後1年経過している者	72,000	30 78.9%	7 18.4%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	
			16 61.5%	10 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会（櫻田、安形、宮本） 浜松市介護保険課 ふるい後見事務所 所長 古井慶治 氏	認知症対応型通所介護事業所・(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の管理者であって認知症介護実践者研修修了者	5,000	29 80.6%	6 16.7%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会（杉森、安形、宮本） 伊東市介護保険課 ふるい後見事務所 所長 古井慶治 氏			15 75.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会（杉森、安形、宮本） 静岡市介護保険課 ふるい後見事務所 所長 古井慶治 氏			30 81.1%	7 18.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会（杉森、小野） (特非)全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 事務局長 山越孝浩 氏	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当・その他者であって認知症介護実践者研修修了者	6,000	34 87.2%	5 12.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			12 85.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会（川口、宮本） 静岡市介護保険課	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の代表者	5,000	15 78.9%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	

分野		番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
専門技術力を身につける	リスク管理	67	身体拘束は廃止できます ～ 具体的実践例とその取り組み ～	90 27-26	8/6	1	ライブ配信	身体拘束について理解を深め、責任の所在やチームケアのあり方を学ぶ。
			身体拘束は廃止できます ～具体的実践例とその取り組み～	90 68-67	8/20～9/3	－	録画配信	
		68	介護施設・事業所における 高齢者虐待の予防と対応	60 19-19	11/15	1	ライブ配信	虐待防止への取り組みと発生時の対応方法等、施設管理者等に必要な知識を習得する。
			介護施設・事業所における 高齢者虐待の予防と対応	60 43-43	11/29～ 12/13	－	録画配信	
		69	子どもがいる現場のリスクマネジメント講座	60 32-32	2/5	1	ライブ配信	保育・支援の質の向上につながる重要な実践であるリスクマネジメントについて、効果的な事故予防や危機対応の取り組みについて学ぶ。
		70	高齢者施設のリスクマネジメント講座	90 36-32	2/14	1	ライブ配信	実際に起こった介護現場での事故やヒヤリハットを基に「防ぐべき事故とは何か」「起こった事故にはどう対応すべきなのか」等を学ぶ。
		71	災害時のリスクマネジメント講座	90 38-36	2/14	1	ライブ配信	福祉施設における大規模災害対策について、介護と福祉のリスクコンサルタントから実践的な講義で学ぶ。
		72	高齢者の転倒予防講座	60 36-35	9/10	1	シズウエル	高齢者の転倒のメカニズム・傾向・対策等、必要な知識・技術を習得する。
		73	書くべきことがよくわかる！ 介護記録の書き方講座	90 32-32	11/7	1	ライブ配信	「介護記録」はより良いサービス提供を行うために、とても重要な役割を持っている。記録の目的や書き方の基本等を学び、「何を書けばいいのかわからない」からの脱却を目指す。
		74	【新規】 福祉職場のカスタマーハラスメント対応講座	90 69-65	5/17	1	ライブ配信	福祉職場におけるカスタマーハラスメントの実際その対応策を学び、職員の心的負担の軽減につなげる。
		75	福祉サービス苦情解決研修会	各50 165-160	東部11/18 中部11/12 西部11/28	3	沼津商工会議所 静岡音楽館AOI アクトシティ浜松 コングレスセンター	福祉サービスを提供する施設等における利用者からの苦情対応及び解決能力の向上にむけたスキルを身に着けるとともに、日頃からの苦情の未然防止に向けた取組を学ぶ。
	職種別研修	76	全体研修会 （県ホームヘルパー連絡協議会）	－ 40-40	7/29～ 8/18	－	録画配信	講義「第9期介護保険制度改正　介護報酬改定の概要と訪問介護事業の展開」
		77	ホームヘルパー一般研修① （県ホームヘルパー連絡協議会）	35 16-16	11/8	1	シズウエル	講義「障がいの特性と対応について」 グループワーク「訪問介護の現場で対応に苦慮していることなどについて」
			〃　②	20 15-14	12/9	1	シグマカレッジ静岡校	講義と実技「体に優しい介護技術」
			〃　③	－ 35-35	8/26～9/16	－	録画配信	講義「サービス提供上の留意点と苦情対応のポイント」
			〃　④	－ 25-25	9/24～ 10/14	－	録画配信	講義と実技「口腔を健康に保つケアの基本と歯科医療専門職との連携」
		78	サービス提供責任者研修① （県ホームヘルパー連絡協議会）	－ 54-54	6/21～7/15	－	録画配信	講義「訪問介護事業所におけるBCP作成後の検証等の仕方」
			〃　②	－ 34-34	12/16～ 1/13	－	録画配信	講義「訪問介護計画の作成技法とモニタリングの方法」
		79	肢体不自由児療育指導者講習①－１ （県肢体不自由児協会）	30 13-13	7/26	1	シズウエル	肢体不自由児の総論
			〃　①－２	30 13-13	7/27	1	静岡済生会療育センター 令和	実技

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
元気がでる介護研究所 代表 髙口光子 氏	介護保険施設・事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	15 83.3%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
			32 74.4%	11 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日本虐待防止研究・研修センター 代表 梶川義人 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等の管理者等	5,000 (3,000)	12 70.6%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	
			14 60.9%	8 34.8%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)八越会 ちどり保育園 園長 吉岡敦志 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	22 95.7%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)安全な介護 代表取締役 山田滋 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	26 96.3%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)安全な介護 代表取締役 山田滋 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	14 77.8%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部理学療法科 理学療法士 近藤吏 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	26 74.3%	9 25.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)ベストウェイ代表取締役社長 ベストウェイケアアカデミー 学校長 馬淵敦士 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	22 81.5%	4 14.8%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)安全な介護 代表取締役 山田滋 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	39 73.6%	14 26.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
コミュニケーションサポーター 喜山志津香 氏	苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員等	6,000 (4,000)	74 46.5%	83 52.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.3%	運営適正化委員会
(株)ケアファクトリー 代表取締役 能本守康 氏	ヘルパー協会員	5,000 (2,000)	22 73.3%	8 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	経営支援課
浜松市障がい者基幹相談支援センター 主任相談支援専門員 玉木祐次郎 氏	ヘルパー協会員	5,000 (2,000)	13 81.3%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)東海道シグマ 地域福祉支援事業部 小澤喜美江 氏 、安部洋充 氏	ヘルパー協会員	5,000 (2,000)	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)ねこの手 代表取締役 伊藤亜記 氏	ヘルパー協会員	5,000 (2,000)	17 65.4%	7 26.9%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	
(特非)静岡県歯科衛生士会 歯科衛生士 矢部高子氏 、西藤美穂 氏	ヘルパー協会員	5,000 (2,000)	14 82.4%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
びわこ学院大学教育福祉学部 教授 烏野猛 氏	ヘルパー協会員 （主にサービス提供責任者）	5,000 (2,000)	24 92.3%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)ケアファクトリー 代表取締役 能本守康 氏	ヘルパー協会員 （主にサービス提供責任者）	5,000 (2,000)	21 87.5%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県立こども病院 医師 滝川一晴 氏 静岡県教育委員会 相談員 渡邊浩喜 氏 静岡大学教育学部 教授 香野毅 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	11 84.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	
静岡県立こども病院 医師 藤本陽 氏 静岡済生会療育センター令和理学療法士 橋本尚幸 氏 静岡済生会療育センター令和言語聴覚士 橋本潤子 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	10 83.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	

分野		番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
専門技術力を身につける	職種別研修	80	肢体不自由児療育指導者講習②－１ （県肢体不自由児協会）	30 9-9	8/9	1	シズウエル	脳性まひの概論
			〃　②－２	30 9-9	8/10	1	静岡済生会療育センター 令和	脳性まひの訓練
		81	肢体不自由児療育指導者講習③－１ （県肢体不自由児協会）	－	中止	－	－	－
			〃　③－２	－	中止	－	－	－
		82	肢体不自由児療育指導者講習④－１ （県肢体不自由児協会）	30 10-10	9/27	1	シズウエル	成人脳性麻痺
			〃　④－２	30 11-11	9/28	1	静岡済生会療育センター 令和	成人脳性麻痺者のリハビリテーション
		83	看護職員研修 ～ 施設看護師に求められる役割とは ～	90 15-14	12/18	1	ライブ配信	福祉施設における看護職の役割を理解し、介護職員など多職種との円滑なコミュニケーション法や、ケアの質向上や現場での力を高めるための知識・技術を学ぶ。
			看護職員研修 ～施設看護師に求められる役割とは～	90 23-23	1/8～1/22	－	録画配信	
		84	相談員のための支援力アップ講座	90 32-30	11/13	1	ライブ配信	相談員の役割と業務の基本について適切に理解し、主体的に業務と向き合う姿勢を身に付けることで、更なる支援力アップを目指す。
		85	日常生活自立支援事業 新任専門員研修会	20 29-29	5/13	1	ライブ配信	専門員としての心構え、基礎的知識を習得する。
		86	日常生活自立支援事業 専門員研修会	33 18-18 12-12	11/15 11/22	2	沼津市民文化センター プラザけやき	専門員としての知識、相談援助技法の向上を図る。
		87	日常生活自立支援事業 新任生活支援員研修会	各100 57-57 92-92	11/15 11/22	2	沼津市民文化センター プラザけやき	日常生活自立支援事業の業務について学ぶ。
		88	日常生活自立支援事業 現任生活支援員研修会	各100 57-57 92-92	11/15 11/22	2	沼津市民文化センター プラザけやき	日常生活自立支援事業における相談援助技法について学ぶ。
		89	生活困窮者自立支援制度 従事者養成研修	各50 55-55 43-43 51-51 83-83 43-43 20-20	4/19 5/17 6/21 7/10 8/23 1/31	6	ライブ配信 静岡商工会議所 ライブ配信 ライブ配信 ライブ配信 あざれあ	生活困窮者自立支援法の理念、業務理解を深める。 （ケース検討、グループワーク等）
		90	生活福祉資金新任担当者研修会	－ 64-64	5/31	1	ライブ配信	生活福祉資金貸付制度の概要(「業務運営の手引き」)や生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度の連携について学ぶ。
		91	コミュニティワーク研修会 【テーマ別に3回開催】	各30 75-75	10/11 12/17 2/21	3	①あざれあ ②シズウエル ③シズウエル	①住民主体の地域づくりセミナー ②地域アセスメント研修 ③住民主体の地域支援プロセスを学ぶ
		92	ボランティア担当者研修	50 22-25	2/28	1	シズウエル	市町社協のボランティアセンターに向けて、必要な知識と技術の習得を図るとともに、ボランティアセンターの在り方を考え、ボランティア活動団体のつながりの強化を目指す。
		93	生活支援コーディネーター養成研修	120 78-72	8/2	1	ライブ配信	地域支援事業における生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターに必要な知識と技術の習得を図る。
		94	生活支援コーディネータースキルアップ研修	各50 104-94	10/29 11/21 12/20	3	シズウエル 浜松市福祉交流センター プラサヴェルデ	生活支援コーディネーターのスキルアップを図るために必要な知識と技術の習得を図る。
		95	市町社協 監事研修	－ －	4/10～7/31	－	録画配信	監事の役割と必要な知識について学ぶ。

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
つばさ静岡 医師 山倉慎二 氏 つばさ静岡 医師 浅野一恵 氏 静岡てんかん神経医療センター 医師 山崎悦子 氏 井出商会 社会福祉士 井出容敬 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	経営支援課
うんどう発達Laboすくすく 理学療法士 山内一之 氏 静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本尚幸 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	
静岡済生会療育センター令和 医師 渡邊完 静岡てんかん神経医療センター 医師 山崎悦子 静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本尚幸	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	8 80.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
うんどう発達Laboすくすく 理学療法士 山内一之 氏 静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本尚幸 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	9 81.8%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	
ブルーベル 代表 看護師・介護支援専門員 市村幸美 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する看護職員	5,000 (3,000)	10 71.4%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
			9 75.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
生活と福祉マインド研究室 主宰 梅沢佳裕 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方（相談員）	5,000 (3,000)	11 68.8%	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県社会福祉協議会権利擁護課職員	市町社協専門員	無料	11 44.0%	14 56.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	権利擁護課
駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上富雄 氏	市町社協専門員	無料	21 77.8%	6 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県社会福祉協議会職員	市町社協新任生活支援員	無料	15 75.0%	5 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上富雄 氏	市町社協現任生活支援員	無料	111 74.5%	33 22.1%	5 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県主任相談支援員連絡会 構成員 (一社)静岡市清水医師会 総合相談部長 安藤千晶 氏 (有)SNOW DREAM 取締役 山口久美 氏 厚生労働省地域福祉課生活困窮者自立支援室 鈴木由美 氏 (一社)くらしサポート・ウィズ 専務理事 中根裕 氏 他	自立相談支援員、 市町行政担当職員	無料	121 41.0%	40 13.6%	4 1.4%	0 0.0%	130 44.1%	
静岡県社会福祉協議会職員	市町社協担当職員	無料	55 85.9%	9 14.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	生活支援課
①(福)堺市社会福祉協議会 事務局次長兼地域福祉課長 所正文 氏 ②里山くらしLABO 池田水穂子 氏 、河村将雄 氏 ③医療経済研究機構 中村美那子 氏	市町社協職員,市町行政職員、 生活支援コーディネーター	無料	31 58.5%	22 41.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	地域福祉課
オフィス園崎 園崎秀治 氏	（市町社協） ボランティア担当者	無料	22 88.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	
(一社)コミュニティネットハピネス 代表理事 土屋幸己 氏	市町社協職員、市町行政職員、 地域包括支援センター職員	無料	68 68.0%	32 32.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日本社会福祉事業大学大学院福祉マネジメント研究科 講師 北川進 氏 行政・社協・地域包括支援センター職員	市町社協職員、市町行政職員、地域包括支援センター職員、第1層及び第2層を活動対象とする生活支援コーディネーターとその候補者	無料	82 82.0%	18 18.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	市町社協監事	無料	－	－	－	－	－	

分野		番号	研修名	定員 申込−受講	実施日	日数	会場	内容
専門技術力を身につける	職種別研修	96	市町社協 新任事務局長研修	10 6−6	4/26	1	静岡県社会福祉協議会 相談室	社協組織の特性、基本理念、法的な位置付け（設立経過）等について学ぶ。
		97	社協災害対応研修会	50 15−15	11/7	1	曹洞宗 洞慶院	社協における災害対応力の向上を図る。 被災の状況に応じた応急処置や応急処理における創意工夫事例を学ぶ。
		98	CSW実践者養成研修 ＜地域福祉コーディネーター＞	30 23−23	前期 7/5・6 後期 2/7・8	4	静岡市民文化会館	具体的な事例を通して、コミュニティソーシャルワーク技法を講義と演習形式により習得する。
		99	CSW実践者スキルアップ研修	50 52−52	東部7/20 中部7/23 西部7/24	3	三島市民文化会館 シズウエル クリエート浜松	コミュニティソーシャルワーカーの実践に必要な理論・アプローチをテーマ別に学ぶ。
専門技術力を身につける				6,493 4,194−4,102				
人間力（社会・対人関係力）を高める		100	接遇・マナー・コミュニケーション講座 ～ 対人支援の仕事は、職員一人ひとりの適切な接遇・マナーから ～	60 39−38	4/24	1	シズウエル	利用者や家族との協力的な関係と職場内のより良い人間関係のための接遇・マナーの基本的なポイントを学ぶ。
			接遇・マナー・コミュニケーション講座 ～ 対人支援の仕事は、職員一人ひとりの適切な接遇・マナーから ～	60 79−73	5/28	1	シズウエル	
		101	福祉職が知っておきたいコンプライアンス講座	60 41−40	6/12	1	シズウエル	「コンプライアンス（法令等の順守=法令の文言のみならずその背後にある精神まで守り実践すること）」の基本的視点と考え方を学ぶ。
		102	「言いにくいことを伝える技術」 ～ アサーティブ・コミュニケーションを学び合う ～	72 77−71	6/11	1	シズウエル	自分も相手も尊重しなから「対話」していく考え方とスキルを学ぶことで、より良い人間関係を構築し、風通しのいい職場づくりを目指す。
		103	共感を得る「ことば」講座	60 70−60	10/10	1	シズウエル	放送界のカリスマ講師に学ぶ、DJポリスも学んだスピーチロックとは⁉「相手を制限する言葉」から「相手を受け入れる言葉」へ。サービス業・対人援助のプロとして、重要な「ことば選び」を学ぶ。
		104	アンガーマネジメントを学ぶ講座	60 63−57	3/4	1	シズウエル	介護の現場等で怒りの感情を上手にコントロールしながら相手と接するためのスキルを学ぶ。
		105	福祉職のためのストレスマネジメント講座	90 31−29	12/5	1	ライブ配信	介護職・福祉職が抱えがちなストレスについて認識し、ストレスを上手にコントロールする方法を学び、心身共に安定した状態になることで、サービスの質の向上を図る。
		106	主任・管理職のためのメンタルヘルス講座	90 31−31	7/12	1	ライブ配信	メンタルヘルス不調を防止し、職員が活き活きと働ける活気ある職場づくりのための手法や主任・管理職に求められる役割について学ぶ。
		107	【新規】 利用者家族とのより良い関係づくり講座	60 32−32	9/9	1	シズウエル	利用者家族が抱く迷いや罪悪感などの思いを理解するとともに、より良い関係づくりのポイントやアプローチを方法を学ぶ。
人間力（社会・対人関係力）を高める				612 463−431				
地域福祉を支える力を身につける		108	静岡DWAT登録員養成研修	50 64−53	8/27 9/13	2	ライブ配信 静岡県立大学短期大学部	静岡県災害派遣福祉チーム（静岡DWAT）として活動するための基礎知識を学ぶ。
		109	静岡DWAT登録員スキルアップ研修	100 72−68	12/17	1	グランシップ	静岡県災害派遣福祉チーム（静岡DWAT）として活動するために必要な知識やスキルを学ぶ。
		110	静岡DWAT登録員エリア別情報交換会	各30 64−61	1/9 1/10 1/20	3	さつき園 愛華の郷 浜松中央長上苑	静岡DWAT登録員どうしの顔の見える関係づくりを進めるとともに、平時の取組の活性化を図る。
		111	社会福祉法人の地域における公益的な取組実践報告会	100 65−57	2/17	1	シズウエル	社会福祉法に基づく地域における公益的な取組への理解を深める。
		112	福祉・介護の職場体験	1,000 1,230−1,053	4月～ 2月	1,000	県内福祉施設	福祉・介護現場での体験機会を提供し、福祉・介護の仕事の「魅力」や「やりがい」の理解を図る。
		113	介護のシゴト復職応援セミナー	各20～30 970−961	4月～ 3月	30	県内 30か所	・介護に関する基本的な知識や技術の再確認及び、最新の知識及び技術を習得する。 ・介護現場の現状 など

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
静岡県社会福祉協議会職員	市町社協新任事務局長	無料	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	地域福祉課
災害対応NPOMFP代表 松山文紀 氏	市町社協職員	無料	11 73.3%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日本社会事業大学 教授 菱沼幹男 氏 他	地域福祉関係職員、 地域包括支援センター関係職員	15,000	15 65.2%	8 34.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日本社会事業大学 教授 菱沼幹男 氏	CSW養成研修受講者	無料	42 85.7%	6 12.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	
			2,365 71.6%	651 19.7%	27 0.8%	0 0.0%	259 7.8%	
コミュニケーションハウス 代表 坂倉裕子 氏	社会福祉施設等に勤務する主に新任・中堅クラスの方	6,000 (4,000)	33 89.2%	4 10.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
			54 88.5%	7 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 所長 認定社会福祉士 古井慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	33 82.5%	7 17.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
NPO法人アサーティブジャパン 認定講師 谷澤久美子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する3年目以上の方	6,000 (4,000)	55 79.7%	14 20.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)はあもにい 代表取締役 大野晴己 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	37 62.7%	19 32.2%	2 3.4%	0 0.0%	1 1.7%	
横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺有理子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	47 83.9%	8 14.3%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	
産業カウンセラー キャリアカウンセラー 心理相談員 横山美弥子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	10 71.4%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	
産業カウンセラー キャリアカウンセラー 心理相談員 横山美弥子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する主任・管理職等の方	5,000 (3,000)	20 80.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
大妻女子大学 教授 井上修一 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	23 76.7%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			312 79.8%	74 18.9%	4 1.0%	0 0.0%	1 0.3%	
静岡県立大学短期大学部 教授 鈴木俊文 氏 他	静岡DWAT登録員支援協力申出書を提出している法人・施設の所属職員	無料	33 68.8%	14 29.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	経営支援課
静岡県立大学短期大学部 教授 鈴木俊文 氏 他	静岡DWAT登録員	無料	38 64.4%	18 30.5%	1 1.7%	0 0.0%	2 3.4%	
静岡県社会福祉協議会経営支援課職員	静岡DWAT登録員	無料	45 73.8%	12 19.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.6%	
(一社)兵庫県社会福祉士会 事務局長 西野佳名子 氏 他	社会福祉法人福祉施設職員・社会福祉協議会職員	無料	21 36.8%	17 29.8%	0 0.0%	0 0.0%	19 33.3%	
－	福祉職に関心のある方、 福祉職場に就労を希望する方	無料	548 84.3%	86 13.2%	10 1.5%	4 0.6%	2 0.3%	人材課
介護現場の実践者等	介護施設等の離職者で介護職に復帰を希望する方	無料	673 70.0%	208 21.6%	15 1.6%	1 0.1%	64 6.7%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
地域福祉を支える力を身につける	114	保育の現場体験	- 125-107	4月下旬～ 2月末	3	県内保育所	保育士資格を有しながら、保育士として就労していない方や、資格取得見込みの方などに保育所等への就業を促すために保育現場での体験を通して保育の仕事の「やりがい」や「魅力」の理解を図る。
	115	静岡市立こども園見学・実習	- 27-26	4月下旬～ 2月末	3	静岡市立こども園	保育士資格を有しながら、保育士として就労していない方や、資格取得見込みの方などに保育所等への就業を促すために保育現場での体験を通して保育の仕事の「やりがい」や「魅力」の理解を図る。
	116	保育士さん就職応援セミナー	各50程度 155-111	7/6 1/18	2	常葉大学 静岡草薙キャンパス プラサヴェルデ	保育所等での働き方や現状等を理解するとともに、就業に役立つ知識を習得する。 ・現役保育士から学ぶ！手遊び、歌遊びのポイント講座 ・こどもとたのしむ絵本の世界～絵本の世界を広げる知識と技術～
	117	フォローアップセミナー （入職3年目までの職員対象）	各20～30 62-59	東部11/18 中部11/19 西部11/20	3	三島商工会議所 もくせい会館 浜松市福祉交流センター	仕事のやりがいや魅力を再確認すると共に、事業所を越えた仲間づくりを支援し、職場への定着を図る。
	118	外国人介護職員研修交流会	各30 157-150	9月 2月	15	シズウエル ライブ配信	外国人介護職員（同国人同士）の研修交流を通じて、事業所を越えた仲間づくりを支援し、職場への定着を図る。
	119	法定地区民児協会長研修会 （県民生委員児童委員協議会）	164 151-151	9/25	1	ホテルアソシア静岡	単位民児協会長の基本的資質の向上、並びに民児協リーダーとしての自覚と地域福祉の充実を図る。
	120	主任児童委員研修会 （県民生委員児童委員協議会）	各80 111-111	東部 1/21 中・西部 1/22	2	東部： プラサヴェルデ 中・西部： 掛川グランドホテル	主任児童委員の役割について協議し、地域における児童委員活動の推進を図る。
	121	民生委員・児童委員のための 相談技法に関する研修会 （県民生委員児童委員協議会）	各80 122-122	東部 8/21 中・西部 8/23	2	東部： プラサヴェルデ 中・西部： 掛川グランドホテル	民生委員活動の基本となる相談面接スキル等の習得を図る。
	122	地域福祉教育推進セミナー	50 52-52	8/22	1	ライブ配信	実践事例から福祉教育の実践方法や福祉教育の在り方を学ぶ。
	123	包括的相談支援体制構築事業人材養成研修	前期 35 58-58 後期 各35 21-21 31-31 46-46	前期 8/1～9/30 後期 10/1 11/1 12/3	3	前期 録画配信 後期 シズウエル	包括的支援体制やその意義を学び、実践を踏まえた事例検討等を行う。
	126	外国人介護職員支援教育担当者会議	各50 133-122	9月 1月	6	三島商工会議所 プラサヴェルデ シズウエル 浜松市福祉交流センター	外国人介護職員への支援・教育方法を学ぶ。
	127	外国人介護職員受入準備セミナー	各50 165-156	10月 2月	4	三島商工会議所 シズウエル 浜松市福祉交流センター ライブ配信	外国人介護職員の受入ルール・配属前教育を学ぶ。
地域福祉を支える力を身につける			4,054 3,881-3,576				
合計			13,470 11,393-10,892				

講師	対象	受講料（会員）	満足度（上段：件数(人)、下段：率(%)）					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
－	保育士資格または幼稚園教諭免許をお持ちの方、資格取得見込みの方、取得に向けて勉強されている方、高校生（体験は静岡市内のみ）	無料	105 98.1%	0 0.0%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	人材課
－	保育士資格または幼稚園教諭免許をお持ちの方、資格取得見込みの方、取得に向けて勉強されている方	無料	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
保育のお仕事フェア出展法人の保育士 駿河こどものとも社 東海こども文化セミナー 講師 高林信作 氏	保育所等への就業を希望している方	無料	128 82.6%	24 15.5%	2 1.3%	0 0.0%	1 0.6%	
あそびの工房 もくもく屋 事務局長 田川雅規 氏	令和3年・令和4年及び令和5年開催の合同入職式参加者	無料	58 98.3%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
大学教員 介護現場の外国人教育担当者	県内の外国人介護職員、留学生	無料	109 86.5%	17 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(有)タイキなくらし ファシリテーション事業部 代表 鈴木まり子 氏	県民児協会員 （法定地区民児協会長）	無料	55 45.1%	57 46.7%	7 5.7%	0 0.0%	3 2.5%	地域福祉課
KT福祉研究所 代表 松藤和生 氏	県民児協会員 （主任児童委員）	無料	58 58.0%	37 37.0%	2 2.0%	0 0.0%	3 3.0%	
まちづくり協働ファシリテーター Musubi 代表 原口佐知子 氏	県民児協会員	無料	72 63.7%	35 31.0%	4 3.5%	0 0.0%	2 1.8%	
静岡福祉大学 学長 増田樹郎 氏 伊豆の国市立長岡中学校 教諭 山下佳伸 氏 御殿場市社会福祉協議会 主事 長山太亮 氏	学校教諭、教育委員会職員、 地区社協役員・関係者、 社会福祉施職員、社協職員	無料	16 31.4%	16 31.4%	2 3.9%	0 0.0%	17 33.3%	
(一社)静岡市清水医師会 安藤千晶 氏 静岡県立大学 栗田真由美 氏 (一社)コミュニティーネットハピネス 土屋幸己 氏 静岡福祉大学 楢木博之 氏 静岡県立大学 東野定律 氏 他	市町行政担当、社協職員等	無料	32 68.1%	6 12.8%	1 2.1%	0 0.0%	8 17.0%	権利擁護課
<9月> 学校法人静岡理工科大学 沼津日本語学院 村松佑紀 氏 浜松日本語学院 小宮山一徳 氏 <1月> (福)小田原福祉会 理事 特別養護老人ホーム潤生園 施設長 井口健一郎 氏 静岡県立大学経営情報学部 講師 天野ゆかり 氏	外国人介護職員を既に受け入れている事業所の職員	無料	74 77.9%	20 21.1%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	人材課
(株)ウィ・キャン代表取締役、アジアヒューマンリレーション(株) 社長 濱川博招 氏 (医)一穂会 専務理事 アジアヒューマンリレーション(株) 会長 石岡晃 氏 (福)三幸会 理事長 竹村寿文 氏 (医)一穂会 外国人教育責任者 齋藤加奈江 氏 (福)聖隷福祉事業団 理事 鎌田裕子 氏	外国人介護職員の受入をこれから検討している事業所の職員	無料	69 82.1%	14 16.7%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	
			2,160 73.9%	582 19.9%	48 1.6%	5 0.2%	126 4.3%	
			5,999 65.1%	1,716 18.6%	110 1.2%	6 0.1%	1377 15.0%	

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670

静岡市葵区駿府町 1-70

TEL　054-254-5248　　FAX　054-251-7508

令和７年６月